

Medical Markup Language (MML)

Specification Version 2.3 Type C

***MM L Version 2.3* 制作者**

(敬称略)

MedXML コンソーシアム制作担当委員会

技術委員会

委員長	中島 裕生 (テクマトリックス・株)
副委員長	高橋 究 (佐藤病院)
副委員長	鈴木 利明 (株・日本ダイナシステム)

診療録技術専門委員会

委員長	中島 裕生 (テクマトリックス・株)
副委員長	荒木 賢二 (宮崎医科大学)
副委員長	鈴木 利明 (株・日本ダイナシステム)

分担制作者

有田 憲司	(株・富士通南九州システムエンジニアリン)
大橋 克洋	(大橋産科/婦人科医院)
甲斐 徳裕	(株・コア・クリエイト)
甲斐 利幸	(株・コア・クリエイト)
郭 錦秋	(熊本大学)
倉橋 徹	(CAI システム・株)
佐藤 純三	(熊本大学)
高橋 究	(佐藤病院)
田中 亨治	(熊本大学)
田中 久淳	(株・アボック西村)
札内 俊二	(株・富士通南九州システムエンジニアリング)
三谷 正信	(札幌医科大学)
皆川 和史	(株・デジタルグローブ)
吉原 博幸	(熊本大学)

はじめに

日本医療情報学会課題研究会「電子カルテ研究会」[8]では、1994年頃から、診療データを異なる施設間で電子的に相互に交換するための方法について研究を行ってきた。

1995年に、データに属性をつけて交換するというアイデアが生まれ、Standard Generalized Markup Language (SGML)を用いて具体化が進められた。この規格は Medical Markup Language(MML)と命名された。折しも1995年に発足した厚生省電子カルテ研究開発事業に研究会メンバーが参加し、以後3年間研究開発に従事し、この過程で交換規格が実用可能なレベルまでブラッシュアップされた。また、MMLでは表現不可能な情報(画像など)の取り扱いのため、浜松医大の木村教授を班長とする作業班(DICOM, MML, HL7などをどのように組み合わせるかという医療情報交換のための運用指針の策定を目的とした厚生省作業班)との協調作業を行い、MMLインスタンスからDICOMなどの外部ファイルを参照するという方式を確立し、同時にMMLを実装可能なレベルまで詳細化する作業が行われた[2, 3]。

MML実装の具体的な動きが出るに伴い、様々な診療分野に特化した構造が必要となってきたが、本グループで全ての診療分野をカバーすることは事実上不可能であり、頻繁に起ると予想される部分構造の新設/変更が全体構造におよぼす影響を考えると、バージョン管理等の点で効率的でない。そこで、1999年3月にW3C勧告案となったXML Namespaceを用いて、MMLをモジュール化し、必要に応じてモジュールを組み合わせる方法に変更した。これにより、各診療分野特有の記述形式が提案可能となり、論理構造策定作業の分業化が可能となった。本仕様や関連データは、MedXMLのサイト[1]で公開/管理される。

Version2.3 改訂版によせて

MML Version2.21 は，1999 年 11 月 1 日に正式に発表され，本格的な実装の試みや，専門分野における SIG (Special Interest Group) 発足と規格の開発が行われてきた．実装が進むにつれて，Version2.21 で不足する情報や機能の存在が指摘された．これらを踏まえて，今回 MML Version2.3 をリリースする運びとなった．以下，改訂の概略を示す．

アクセス権定義改訂

MML Version2.21 における文書アクセス権定義構造の見直しを行った．具体的には，文書ごとに参照できる施設，科，職種，個人 ID を設定可能とした．追加・修正したエレメントは次のものである．

accessRight

アクセス権エレメント．設定するアクセス権の数だけ繰り返す．少なくとも，記載者が参照できないことがないように，記載者のアクセス権設定は必須とする．属性として，permit (参照の権利) を持つ．permit 属性には，none (すべてのアクセスを不許可)，read (参照を許可)，write (参照，修正を許可)，delete (参照，削除を許可)，all (参照，修正，削除を許可) の値を持つことができる．また，属性として mmlSc:startDate (開始日) と mmlSc:endDate (終了日) を持つ．

このエレメントの下位に，次の 4 つのエレメントをおく．

mmlSc:facility

施設単位でのアクセス権を設定する．

mmlSc:department

診療科単位でアクセス権を設定する．

mmlSc:licence

職種単位でアクセス権を設定する．

mmlSc:person

個人単位でアクセス権を設定する．

グループ ID の新設

複数のモジュールを組み合わせ，要約や紹介状等を構築するためのグループ ID の新設を行った．Version2.21 では，モジュール間の関連付けのために，関連親文書 ID (parentId) タグが用意されており，文書修正時の修正前文書の関連付け等に用いられてきた．しかし，MML 実装において，モジュール単位で情報を管理する場合には，全く対等でまとまりのあるモジュール群は，同じ文書 ID で管理されていた方が，検索抽出が容易であるとの指摘がなされた．このような背景を踏まえて，文書としてまとめる必要のある複

数モジュールには、文書 ID とは別個に、同じ ID (すなわち groupId) を設定可能とした。

具体的には、MML 文書ヘッダ (docInfo) 内の docId の下位エレメントとして、uid (文書ユニーク ID)、parentId (関連親文書 ID) に続いて、groupId エレメントを追加する。さらに、属性として、groupClass を置き、モジュール群の文書の種別 (例えば紹介状) を設定可能とする。

健康保険モジュールの改訂

MML 健康保険モジュールは、電子カルテ-医事システム連携にも用いられ、より詳細な情報項目の追加が求められた。被保険者の氏名等の個人識別情報は、Version2.21 では患者情報モジュールにより記載していたが、患者が保険本人ではない場合に、保険本人の情報を記載する必要が生じ、健康保険モジュールに被保険者情報を追加した。また、患者負担率は、入院・外来で異なることがあるため、両者を区別した。他に、健康保険種別 (法別のコードと名称)、保険者情報 (事業所名等)、公費詳細情報が追加されている。

紹介状モジュール

紹介状は、既存の臨床サマリー情報モジュールを用いることが検討されたが、紹介目的等の不足情報項目が存在するため、新たに紹介状モジュールの新設を行った。

報告書モジュール

放射線に限定しない汎用的な報告書記述のためのモジュールを追加した。対象としたのは放射線学的検査、生理検査、病理細胞診検査であるが、個別の検査の詳細な構造化は行わず、単純な構造とした。

具体的な構造としては、モジュールとしてのルートエレメント (mmlRp:ReportModule) 下に、報告書ヘッダ情報 (検査実施日時、報告日時、報告状態、報告書種別、報告書詳細種別、臓器、依頼者情報、実施者情報) と報告書本文 (主訴、検査目的、検査診断、検査所見記載、外部参照、検査コメント、検査コメント名称、検査フリーコメント) が置かれる。

検歴情報モジュール

検体検査結果を構造化したモジュールの追加を行った。対象検査としては、検体検査であり、内分泌負荷試験、尿沈渣を含む。細菌培養検査、病理組織検査、細胞診は対象外とする。一モジュールは、通常の運用では、一依頼伝票 (もしくは一検査セット) にあたる。検査項目コードは、施設固有コードと JLAC10 コード (日本臨床検査医学会) の併記を可能とする。

具体的な構造としては、モジュールとしてのルートエレメント (mmlLb:TestModule) 下に、検歴ヘッダ情報 (mmlLb:information) と検体単位の繰り返しとなる検体検査結果

情報 (mmlLb:laboTest) を置く。検歴ヘッダ情報には、依頼 ID、採取日時、受付日時、報告日時、報告状態、セット名、依頼施設、依頼診療科、依頼病棟、依頼者、検査実施施設、検査実施者、報告コメント、報告コメント名称、報告フリーコメントが入る。さらに、検体検査結果情報には、検体情報 (検体材料、検体コメント、検体コメント名称、検体フリーコメント) および、項目情報 (項目名、施設固有コード、施設固有コード体系名、分析物コード、識別コード、材料コード、測定法コード、結果識別コード、値、値「数値」、上限値、下限値、基準値「文字」、異常値フラグ、単位、外部参照情報、外部参照、項目コメント、項目コメント名称、項目フリーコメント) が入る。項目情報は、項目の数だけ繰り返す。

テーブルの追加

上記モジュールの改訂、追加およびアクセス権定義の修正に伴い、以下のテーブルが追加された。

MML0031	Insurance Class (保健種別)
MML0032	Pay Ratio Type (負担方法コード)
MML0033	Medical Role
MML0034	アクセス許可区分
MML0035	施設アクセス権定義
MML0036	個人アクセス権定義

Overview

診療情報の交換のためには2つの大きな共通規定が必要である。第1はデータの記述方法、第2はデータの交換方法である。当初、MMLでは、データ交換方法に関しては特に規定せず、データフォーマットのみを規定して来た。作成されたMMLインスタンスをフロッピーディスクで送っても良いし、メール、FTP等で送っても良い。しかし、実装段階で問題となったのは、交換方法の規定が無いと、データを相互に自動化して交換することが困難であるという点である。アプリケーションベンダーごとに、さまざまなデータの送方式などが作成された場合、そのベンダーの定めた形式でのデータリクエストを起こさない限り、データを取得することができない。複数の病院、医療情報プロバイダ等での情報交換を想定した場合、MMLに基づくデータのリクエスト・返答・削除などの方式を規定することが必要である(ただし、可搬媒体を用いた交換の場合はこれらの規定を使う必要がないことは言うまでもない)。

これらを考慮して、本仕様は2つの部分に分けて作成した。

Medical Markup Language Part I Data Format Specification

Medical Markup Language Part II Data Exchange Specification

本仕様は、W3Cにおいて勧告されたXML Version 1.0を交換用メタデータ記述言語として採用した。

また以下の4つの規約を設けている。

1. 各医療アプリケーションに特有な情報は、XML Namespace を使用して記述しなければならない。
2. Presentation Data(表示用のデータを含む形式)としてXHTMLを採用する。ただし、すべての表示用タグを実装することは、困難であり不必要との判断で、MMLとして実装すべきタグを指定する(“XHTMLの取り扱い”を参照)。
3. date, time, dateTime, timePeriod のフォーマットはISO 8601の仕様[7]を採用する。
4. MMLで使用する、XML NamespaceのPrefix文字列は本仕様書で使用されている

Prefix 文字列を使うことを推奨する。アプリケーションの実装上は、XML Namespace の規約に従って動作するものとする。

この文書は、MML の規格を解説しているが、XML の一般的な知識を持っていることを前提に書かれている。XML については、参考文献[5, 6, 7]を参照されたい。

【最新版規格のWWWでの入手について】

現時点でのバージョンを掲載するが、最新版は常に WWW[1]を参照すること。

MedXML Home Page <http://www.medxml.net/>

知的所有権について

本仕様のすべての著作権は、MedXML に帰属する。よって、以下の MedXML 定款に従うものとする。

MedXML 定款

1.5 成果物の取り扱い

本会によって作成された成果物は、原則としてインターネット上に公開し、パブリックドメインとして取り扱う。従って、会員、非会員にかかわらず成果物を利用し、営利、学術活動に利用することが出来る。ただし、その利用にあたっては著作権、優先権に配慮し、製品、論文などで本会の成果物を利用したことを明記し、本会への報告を義務付けるものとする。

参考文献

- [1] MedXML コンソーシアム : <http://www.medxml.net/>
- [2] 吉原博幸, 大江和彦, 大橋克洋, 山本隆一, 山崎俊司, 廣瀬康行, 松井くにお, 日紫喜光良, 山下芳範, 皆川和史, 小山博史: 医療情報の交換手順の標準化に関する研究報告書, 1997. ,
<http://www.miyazaki-med.ac.jp/medinfo/SGmeeting/document/mml9702/techcore.html>
- [3] Hiroyuki Yoshihara, Kazuhiko Ohe, Katsuhiko Ohashi, Ryuichi Yamamoto, Shunji Yamazaki, Yasuyuki Hirose, Kunio Matsui, Teruyoshi Hishiki, Yoshinori Yamashita, Kazush Minagawa: Studies on the standardization of exchange procedures of medical information,
http://www.miyazaki-med.ac.jp/medinfo/SGmeeting/document/mml9702/techcore_E.html
- [4] MML/DTD 管理ライブラリ : <http://www.medxml.net/mml/>
- [5] Extensible Markup Language (XML) 1.0 W3C Recommendation 10-February-1998,
<http://www.w3.org/TR/1998/REC-xml-19980210>
- [6] Namespaces in XML World Wide Web Consortium 14-January-1999,
<http://www.w3.org/TR/1999/REC-xml-names-19990114/>
- [7] Date elements and interchange formats- Information interchange - Representation of dates and times, <http://www.iso.ch/markete/8601.pdf>

brief overview of the ISO 8601 standard
<http://www.cl.cam.ac.uk/~mgk25/iso-time.html>
- [8] Seagaia Meeting ホームページ : <http://www.seagaia.org/>
- [9] Kenji Araki, Katsuhiko Ohashi, Shunji Yamazaki, Yasuyuki Hirose, Yoshinori Yamashita, Ryuichi Yamamoto, Kazushi Minagawa, Norihiro Sakamoto, and Hiroyuki Yoshihara: Medical Markup Language (MML) for XML-based Hospital Information

Interchange, Journal of Medical Systems; Vol.24, No3, 2000

- [10] 荒木賢二, 大橋克洋, 山崎俊司, 廣瀬康行, 山下芳範, 山本隆一, 皆川和史, 坂本憲
広, 吉原博幸: Medical Markup Language (MML) バージョン 2.21 - XML を用いた医療
情報交換規約 - , 医療情報学; Vol.20(2): 79-85, 2000

Medical Markup Language Part I

Data Format Specification

Contents

Overview

基本方針

- MML における時刻の種類と定義
- エレメント粒度
- 文書の粒度
- parentId による文書間の関連付け
- groupId による文書間の関連付け
- データ型
- アクセス権と暗号化
- モジュール等のバージョン管理
- XHTML の取り扱い

MML 共通形式

- 住所表現形式
- 電話番号表現形式
- Id 形式
- 外部参照形式
- 人名表現形式
- 施設情報形式
- 診療科情報形式
- 個人情報形式
- 作成者情報形式

MML 基本構造

MML モジュール

- 患者情報モジュール
- 健康保険情報モジュール
- 診断履歴情報モジュール

生活習慣情報モジュール
基礎的診療情報モジュール
初診時特有情報モジュール
経過記録情報モジュール
手術記録情報モジュール
臨床サマリー情報モジュール
検歴情報モジュール
報告書情報モジュール
紹介状モジュール

DTD 一覧

MML 共通形式

住所表現形式
電話番号表現形式
Id 形式，外部参照形式および E-mail
人名表現形式
施設情報形式
診療科情報形式
個人情報形式
作成者情報形式

MML 基本構造

MML モジュール

患者情報モジュール
健康保険情報モジュール
診断履歴情報モジュール
生活習慣情報モジュール
基礎的診療情報モジュール
初診時特有情報モジュール
経過記録情報モジュール
手術記録情報モジュール
臨床サマリー情報モジュール
検歴情報モジュール
報告書情報モジュール
紹介状モジュール

MML テーブル一覧

MML0001	Check digit schema (チェックディジット方式)
MML0002	Address Type
MML0003	Telecommunication Equipment Type
MML0004	Extraction policy (抽出基準)
MML0005	Content module type (記載内容モジュールの種別)
MML0006	Access (アクセス権者)
MML0007	Generation purpose(文書詳細種別)
MML0008	Document relation (関連文書との関係)
MML0009	Other ID type (その他の ID 種別)
MML0010	Sex (性別)
MML0011	Marital Status (婚姻状態)
MML0012	Diagnosis category 1
MML0013	Diagnosis category 2
MML0014	Diagnosis category 3
MML0015	Diagnosis category 4
MML0016	Outcome (転帰)
MML0017	Allergy Severity (アレルギー反応程度)
MML0018	ABO blood type (ABO 式血液型)
MML0019	Rho(D) blood type (Rho(D)式血液型)
MML0020	Relative code (続柄コード)
MML0021	Type of surgery (手術区分)
MML0022	Classification of surgical staffs (手術スタッフ区分)
MML0023	Classification of anesthesiologists (麻酔医区分)
MML0024	ID type (ID 区分)
MML0025	Name representation code (表記コード)
MML0026	Creator license code (記録者分類および医療資格コード)
MML0027	Facility ID type (施設 ID 区分)
MML0028	Medical Department ID type (医科診療科コード)
MML0029	Department ID type
MML0030	Dental Department ID type (歯科診療科コード)
MML0031	Insurance Class (保健種別)
MML0032	Pay Ratio Type (負担方法コード)
MML0033	Medical Role
MML0034	アクセス許可区分
MML0035	施設アクセス権定義

MML0036 個人アクセス権定義

Overview

MML は大きく 2 つのブロックで作成されている。また、再利用性の高い情報群は、共通形式として定義されている。なお、エレメント名称に付けられた番号は、各エレメント解説の番号に一致している。

MML header ブロック (MML 基本構造 1.1.MmlHeader)

header ブロックは「MML 作成者情報 (1.1.1.mmlCi:CreatorInfo)」、「患者 ID (1.1.2.masterId)」, [toc (1.1.3.toc)] などから成っている。「toc」(table of contents の略) は body ブロックに含まれる情報の URI のリストが入っている。実装システムは、この URI の情報のリストで扱えない URI の情報ブロックが body 内に出現する場合に、データ全部を拒否するか、もしくは一部を受け入れることが可能である。

header 内の「toc」のチェックをシステムで行うことで body を見なくてもどのようなデータが入っているかを認識することができる。

MML body ブロック (MML 基本構造 1.2.MmlBody)

body ブロックは、複数の item ブロック(1.2.1.MmlModuleItem)から成っており、各 item ブロックは、個々の文書のヘッダー (1.2.1.1.docInfo) と、その内容 (1.2.1.2.content) から成る。docInfo には、記載日 (1.2.1.1.4.confirmDate)、記載者 (1.2.1.1.5.mmlCi:CreatorInfo)、文書種別、タイトル (1.2.1.1.2.title)、文書 ID (1.2.1.1.3.1.uid)、親文書 ID (1.2.1.1.3.2.parentId)、グループ ID (1.2.1.1.3.3.groupId)、アクセス権 (1.2.1.1.1.securityLevel)、外部参照リスト (1.2.1.1.6.extRefs) から成っている。「extRefs」には「content」で参照される mmlCm:extRef のリストが収められる。外部参照のリストとしてこの内容をチェックすることが可能である。また、各 item ブロックの content は、下記の 12 個のデータ構造のいずれか一つの情報となっている。

患者情報

健康保険情報

診断履歴情報

生活習慣情報

基礎的診療情報

初診時特有情報

経過記録情報

手術記録情報

臨床サマリー情報

検歴情報

報告書情報

紹介状

MML 共通形式

再利用性の高い情報群は、MML 共通形式としてまとめられている。共通形式には次のようなものがある。

住所表現形式

電話番号表現形式

Id 形式

外部参照形式

人名表現形式

施設情報形式

診療科情報形式

個人情報形式

作成者情報形式

ただし、実際に使われる際には、上位エレメントの違いにより使用するテーブルが異なることがあるので、詳細はエレメント解説で確認しなければならない。

基本方針

MML における時刻の種類と定義

MML では情報の粒度と性質に応じて、様々な時刻が定義されている。これらを、正しく認識し、運用する必要がある。MML で扱う時刻のうち、主なものをあげる。

(1) createDate (MML 基本構造 1.Mml の属性)

MML インスタンスの生成時刻である。MML の生成処理を行う MML プロセッサが入力することを想定している。文書記載内容の時刻とは、原則として無関係である。すなわち、文書内容が 10 年前のものであっても、今日の時刻で MML インスタンス化することもあり得る。

(2) start (MML 基本構造 1.1.4.scopePeriod の属性)

MML インスタンス全体の記載内容が、意味論的に対象としている期間の開始日である。MmlModuleItem (MML 基本構造 1.2.1.) が複数繰り返しているときは、すべての MmlModuleItem を対象とする。

(3) end (MML 基本構造 - 1.1.4.scopePeriod の属性)

MML インスタンス全体の記載内容が、意味論的に対象としている期間の終了日である。MmlModuleItem (MML 基本構造 1.2.1.) が複数繰り返しているときは、すべての MmlModuleItem を対象とする。

(4) confirmDate (MML 基本構造 1.2.1.1.4.)

一つの content (MML 基本構造 1.2.1.2.) の記載内容が確定された日付である。通常は、診療録電子保存の記載確定日に相当する。記載確定日は、文書の記載日に一致することが運用上好ましい。注意を要するのは、イベントの発生日とは必ずしも一致しないことである。数日前のイベントを、今日記載した場合は、confirmDate に今日の日付を記載する。MML では、正確なイベントの発生日は、文書内容を解析しないと得られない。文書内にエレメントとして明示的にイベント発生日時が記載されていることもあるが、文脈から判断するしかないこともある。これは、現実的な診療録の運用上、やむを得ないことである。

(5) start (MML 基本構造 1.2.1.1.4.confirmDate の属性)

content (MML 基本構造 1.2.1.2.) の記載内容が複数の日付にまたがる情報（例えばサマリー）である場合には、記載内容が対象とする期間の開始日を入れる。上記(2)の ScopePeriod (MML 基本構造 1.1.4.) が MML 文書全体の対象期間であるのに対し、こちらは、一つの MmlModuleItem の期間を表していることに注意を要する。

(6) end (MML 基本構造 1.2.1.1.4.confirmDate の属性)

上記同様に、content (MML 基本構造 1.2.1.2.) の記載内容が複数の日付にまたがる情報

である場合には、記載内容が対象とする期間の終了日を入れる。

(7) mmlHi:startDate (健康保険情報 1.7.)

健康保険の交付年月日である。この日付は、上記(2)(3)(5)(6)の対象に含めることは、医学的に意味がないので、対象外とする。

(8) mmlHi:expiredDate (健康保険情報 1.8.)

健康保険の有効期限である。この日付は、上記(2)(3)(5)(6)の対象に含めることは、医学的に意味がないので、対象外とする。

(9) mmlRd:startDate (診断履歴情報 1.4.)

疾患開始日である。この日付は、上記(2)(3)(5)(6)の対象に含めることは、医学的に意味がないので、対象外とする。

(10) mmlRd:endDate (診断履歴情報 1.5.)

疾患終了日である。この日付は、上記(2)(3)(5)(6)の対象に含めることは、医学的に意味がないので、対象外とする。

(11) mmlRd:firstEncounterDate (診断履歴情報 1.7.)

疾患の初診日である。開始日が医学的に疾患の生じた日であるのに対し、初診日は、最初に医療行為の対象となった日である。この日付は、上記(2)(3)(5)(6)の対象に含めることは、医学的に意味がないので、対象外とする。

(12) mmlSg:date (手術記録情報 1.1.1.1.)

手術施行日(イベント発生日)であり、記載日ではない。記載日は、上記のごとく confirmDate (MML 基本構造 1.2.1.1.4.) に記載する。両者は必ずしも一致しないことに注意を要する。

(13) mmlSm:start (臨床サマリー情報 1.1.mmlSm:serviceHistory の属性)

サマリー対象期間の開始日である。通常は、start (MML 基本構造 1.2.1.1.4.confirmDate の属性)と同じ値をとる。

(14) mmlSm:end (臨床サマリー情報 1.1.mmlSm:serviceHistory の属性)

サマリー対象期間の終了日である。通常は、end (MML 基本構造 1.2.1.1.4.confirmDate の属性)と同じ値をとる。

エレメント粒度

姓名を一つのエレメントとするか、姓と名の二つのエレメントに分けるか、といったエレメント粒度の問題が、多くの情報で発生する。変換を正確に行うためには、ローカルデータベースの情報粒度と、MML におけるエレメント粒度が一致していることが理想的であるが、現実には困難である。ローカルデータベースから MML インスタンスへの変換時の情報粒度ミスマッチをなるべく抑えるために、MML では、いくつかのエレメントにお

いて、異なるエレメント粒度を選択できるように配慮されている。具体的には、次のものが挙げられる。

- (1) 住所表現形式における一連住所(1.1.mmlAd:full)と分割住所(1.2.mmlAd:prefecture , 1.3.mmlAd:city , 1.4.mmlAd:town , 1.5.mmlAd:homeNumber)
- (2) 人名表現形式におけるフルネーム (5.4.mmlNm:fullname) と分割名前 (5.1.mmlNm:family , 5.2.mmlNm:given , 5.3.mmlNm:middle)
- (3) 診断履歴情報における一連病名 (1.1.mmlRd:diagnosis) と分割病名 (1.2.mmlRd:diagnosisContents)
- (4) 初診時特有情報における自由文章表現 (1.3.1.mmlFcl:freeNotes) と時間表現併用型記載 (1.3.2.mmlFcl:pastHistoryItem)
- (5) 経過記録情報における自由記載 (1.1.mmlPc:FreeExpression) と構造化記載 (1.2.mmlPc:structuredExpression)
- (6) 経過記録情報 - S b j 情報における自由記載 (1.2.1.2.1.mmlPc:freeNotes) と時間表現併用型記載 (1.2.1.2.2.mmlPc:subjectiveItem)
- (7) 手術記録情報における手術法一連表記 (1.1.3.1.1.mmlSg:operation) と要素分割表記 (1.1.3.1.2.mmlSg:operationElement)

ただし、MML インスタンスへ正確に変換できても、MML インスタンスからローカルデータベースへの変換は、ローカルデータベースの情報粒度に大きく依存するため、情報粒度のミスマッチが生じている場合は、情報の損失が起きないように配慮する必要がある。相対的に、MML 側の粒度が荒い(分割されていない)場合は、正確な変換は困難である。相対的に MML 側の粒度が細かい(分割されている)場合は、情報量を落とさないために、タグをつけたままローカルデータベースに落とすことも、一つの方法として考えられる。

文書の粒度

一つのモジュールアイテム(MML 基本構造 1.2.1.MmlModuleItem)には、一つの content (MML 基本構造 1.2.1.2.) しか出現できない。さらに、一つの content には、一つの MML モジュールしか挿入できない。よって、一つのモジュールアイテムが、一つの文書と見なすことができる。しかし、一つの文書が意味する文書粒度は、文書の種別ごとに定義しておく必要がある。

(1) 患者情報

患者情報は、蓄積型の情報であり、最新の情報のみが意味を持つ場合が多いので、複数の患者情報文書が意味を持って同時に出現することは考えにくく、文書粒度が問題になることはない。

(2) 健康保険情報

一つの使用可能保険・公費の組合せを一文書とする．詳細はエレメント解説を参照．

(3) 診断履歴情報

一つの病名を一文書とする．主たる病名に対する合併症や続発症は、別の文書に記載する．病名を、幹病名と修飾語に分けた場合は、合わせて一文書とする．詳細はエレメント解説を参照．

(4) 生活習慣情報

患者情報とほぼ同じで、複数の生活習慣情報文書が意味を持って同時に出現することは考えにくく、文書粒度が問題になることはない．

(5) 基礎的診療情報

患者情報と同様である．

(6) 初診時特有情報

一回の初診（入院）で取得した一連の情報を一文書とする．ただし、情報の取得が段階的に行われて、複数のインスタンスに分かれることはありうる．複数の初診（入院）で取得した情報をまとめて一文書にしてはならない．

(7) 経過記録情報

プログレスノートに相当する文書であり、一回の記述を一文書とする．よって、記載者が複数存在することはない．また、通常は記載日が複数日にまたがることもない．

(8) 手術記録情報

手術室に入室し、退室するまでの一連の情報を一文書とする．一旦手術室を退室し、時間をあけずに再び入室して再手術を施行した場合は、二文書とするべきである．逆に、手術途中で術者や担当診療科が変わったり、術創が変わっても、一文書とすべきである．

(9) 臨床サマリー情報

ユーザーが定義する対象期間のサマリーを一文書とする．通常、退院時サマリーの場合は、一回の入院で一文書と考えられる．入院途中で転科し、複数診療科にまたがった場合に、サマリーを分けるか、一つにするかは、ユーザーによって定義される．

parentId による文書間の関連付け

一つのモジュールアイテム（MML 基本構造 1.2.1.MmlModuleItem）には、一つのユニークな文書 ID（1.2.1.1.3.1.uid）が割り付けられる．uid は UUID とする．uid は必須エレメントであり、MML プロセッサは、MML インスタンス生成時に必ず uid を附番しなければならない．また、MML プロセッサは、MML インスタンスを受け取った時に、何らかの手段で uid をローカルに保存しておくことを強く推奨する．

MML では、関連親文書 ID（MML 基本構造 1.2.1.1.3.2.parentId）を記載し、文書をポイントすることにより、文書間の関連付けを行うことができる．

親文書 ID によるポイントは、次のような利用法が考えられる。

(1) 文書の訂正 (テーブル MML0008 oldEdition)

すでに生成した文書を訂正, 更新したい時に, 前文書の uid をポイントする。ただし, 前文書を物理的に消去する必要はなく, ユーザーインターフェイス上見えなくするに留めておくことが望ましい。

(2) オーダーとその結果の関連付け (テーブル MML0008 order)

一つのオーダー文書を, 複数の結果文書 (通常どちらも経過記録情報モジュールを用いる) からポイントすることにより, 検査結果のグルーピングが可能である。

(3) 質問とその返答の関連付け (テーブル MML0008 consult)

電子メールのスレッド管理と同じ機能が可能である。

(4) 病名の変遷 (テーブル MML0008 originalDiagnosis)

病名の時系列的な変遷を表すことが可能である。病名の終了 (前病名文書と同じ病名で転記を終了とした新病名文書を生成) 変化 (前病名文書と異なる病名の病名文書を生成), 分離 (前病名文書に対して, 病名の異なる複数の新病名文書を生成), 併合 (複数の前病名文書に対して, 一つの新病名文書を生成) を表すことができる。

(5) 病名に対する適用健康保険 (テーブル MML0008 healthInsurance)

医事会計上必要である場合に, 対応可能である。

補足: MML インスタンスを受け取る MML プロセッサは, 受け取った MML インスタンスの関連親文書 ID から 該当する文書を検索できることが望ましい。しかし, 受信側 MML プロセッサが検索できる保証がない場合は, 送信側 MML プロセッサは, 過去にすでに送った文書に対してのみ, 親文書 ID によるポイントを行うべきである。

groupId による文書間の関連付け

複数のモジュールを組み合わせて, 要約や紹介状等を構築するためには, グループ ID (1.2.1.1.3.3. groupId) を用いる。モジュール単位で情報を管理する場合には, 全く対等でまとまりのあるモジュール群は, 同じ文書 ID で管理されていた方が, 検索抽出が容易であり, 文書としてまとめる必要のある複数モジュールには, 文書 ID とは別個に, 同じ ID (すなわち groupId) を設定可能とする。

具体的には, MML 文書ヘッダ (docInfo) 内の docId の下位エレメントとして, uid (文書ユニーク ID), parentId (関連親文書 ID) に続いて, groupId エレメントを追加する。さらに, 属性として, groupClass を置き, モジュール群の文書の種別 (例えば紹介状) を設定可能とする。

データ型

MML のデータ型は、以下の型が用いられている。

string	文字列
integer	整数
decimal	小数
boolean	真偽値 . true , false のオプション値を用いる .
date	日付 書式 : CCYY-MM-DD 例 : 1999-09-01
time	時刻 書式 : hh:mm:ss 例 : 12:54:30
dateTime	日時 書式 : CCYY-MM-DDThh:mm:ss 例 : 1999-09-01T12:54:30
timePeriod	書式 : PnYnMnDTnHnMnS 例 : P65Y (65 歳) もしくは 書式 : PnW 例 : P12W (分娩後 12 週)

date, time ,dateTime, timePeriod のフォーマットは ISO 8601 の仕様[7] ,とくに Complete representation形式を採用する .さらに ,date,time ,dateTimeのフォーマットはExtended format を採用する . timePeriod のフォーマットは Basic format とする .省略可能な範囲は個々のエレメントにより異なるため ,個々のエレメント ,属性の書式は ,エレメント詳説を参照すること .

将来 ,XML Schema の仕様が ,W3C において勧告された場合は ,MML のデータ型は ,XML Schema-Datatypes を仕様として採用する .

アクセス権と暗号化

MML インスタンス生成者の判断により ,一文書ごとにアクセス権を記載することができる (MML 基本構造 1.2.1.1.1.1.accessRight) .ただし ,このアクセス権は ,インスタンス生成時において ,インスタンス生成者の判断により記載されるものであり ,インスタンスを受ける側が ,記載されたアクセス権をどのように利用するかは ,MML では定義されない .すなわち ,実際のアクセスコントロールは ,ユーザーのアプリケーションに委ねられる .

MML では ,インスタンスの暗号化を規定しない .暗号化の具体的な方法はユーザーに

よって選択される。しかし、暗号化情報エレメント (MML 基本構造 1.1.5.encryptInfo) に、暗号化に関する情報を記載することは可能である。記載方法は規定しない。

暗号化の想定される一つの方法として、MML インスタンスの本文 (MML 基本構造 1.2.MmlBody) のみを公開鍵方式により暗号化し、暗号化に関する情報 (用いた暗号化方法) を暗号化情報エレメントに記載することが考えられる。生成者情報 (MML 基本構造 1.1.1.mmlCi:CreatorInfo) の生成者 ID から生成者の公開鍵を取得し、復号化できれば、電子署名となる。

MML インスタンスの一部またはすべてを暗号化したものは、厳密には MML の規格外であり、復号化されたもののみに対し、MML の規格は適用される。

モジュールのバージョン管理と namespaces 宣言

モジュールのバージョンは、namespaces 宣言の末尾の整数によって表される。

例えば、検歴情報の namespaces 宣言が

```
xmlns:mmlLb="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0"
```

であれば、この検歴情報モジュールのバージョンは、1.0 である。

MML においては、文書のデータフォーマットをモジュールとして、部品化して取り扱っている。そのため、作成日や作成者の異なる複数のモジュールを組み合わせると、一つの MML インスタンスが生成される可能性がある。そのため、MML インスタンスの全体のフォーマットバージョンだけでなく、使用されているモジュールのバージョン管理も必要である。

インスタンス全体に適用される namespaces 宣言は、MML ルートタグ (MML 基本構造 1.Mml) の属性とする。一つの MML インスタンスが、同種でかつ、異なるバージョンのモジュールを含んでいるときは、モジュールの namespaces 宣言は、それぞれのモジュールのルートタグの属性とする。

MML バージョン 2.3 では、文書ヘッダ (1.2.1.1.docInfo) を参照するだけで、そのモジュールアイテム (MML 基本構造 1.2.1.MmlModuleItem) に用いられているモジュールのバージョンが分かるように、文書ヘッダの属性に、モジュールバージョン (moduleVersion) を記載可能とした。一つの MML インスタンスが、同種でかつ、異なるバージョンのモジュールを含んでいるときは、それぞれの文書ヘッダにモジュールバージョンを設定しなければならない。

MML バージョン 2.3 規格書に記載されているモジュールと namespaces 宣言をまとめると以下の通りである。

患者情報モジュール	xmlns:mmlPi ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/PatientInfo/1.0"
-----------	---

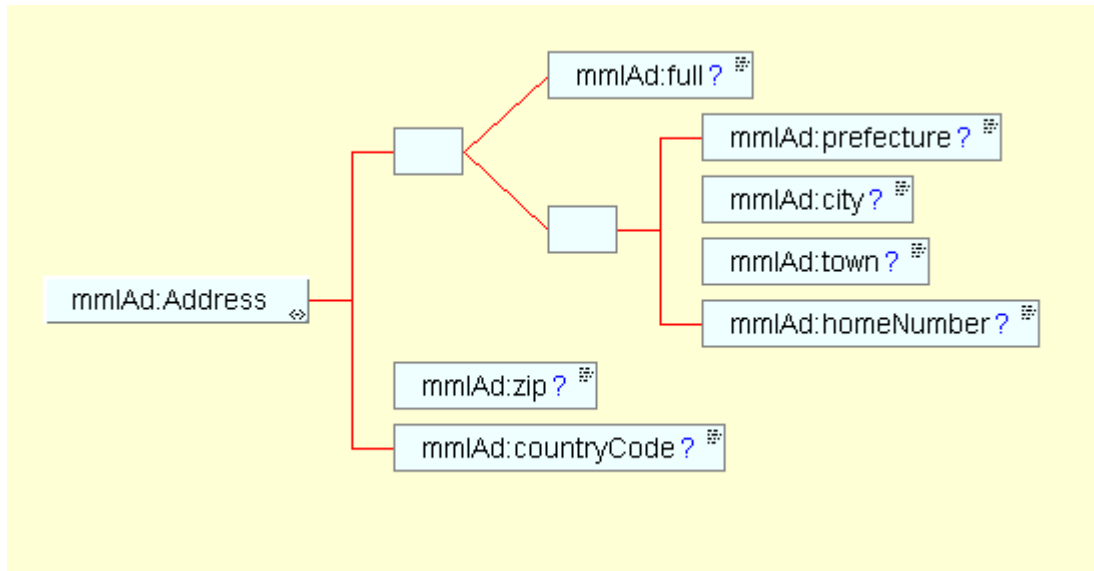
健康保険情報モジュール	xmlns:mmlHi ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/HealthInsurance/1.1"
診断履歴情報モジュール	xmlns:mmlRd ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/RegisteredDiagnosis/1.0"
生活習慣情報モジュール	xmlns:mmlLs ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Lifestyle/1.0"
基礎的診療情報モジュール	xmlns:mmlBc ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/BaseClinic/1.0"
初診時特有情報モジュール	xmlns:mmlFcl ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0"
経過記録情報モジュール	xmlns:mmlPc ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0"
手術記録情報モジュール	xmlns:mmlSg ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Surgery/1.0"
臨床サマリー情報モジュール	xmlns:mmlSm ="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Summary/1.0"
検歴情報モジュール	xmlns:mmlLb="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0"
報告書情報モジュール	xmlns:mmlRp="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/report/1.0"
紹介状モジュール	xmlns:mmlRe="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Referral/1.0"

XHTML の取り扱い

MML では、文章として記述すべき情報を多く含んでいるため、書式情報を交換しなければ、正確に意味が伝わらないことがある。よって、データ型が string である要素のいくつかには、XHTML が使用できることを定義している。ただし、XHTML で定義されるすべての書式情報を実装することは、困難であり不必要との判断で、MMLversion2.3 では、改行書式 ”
 ” のみを必須の書式とする。すなわち、受信側 MML プロセッサは、
タグを無視してはならない。ただし、必須の書式は、今後増える可能性がある。

MML 共通形式 住所表現形式

エレメント構造図



エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlAd:Address	mmlAd:repCode	string	#REQUIRED	optional
		mmlAd:addressClass	string	#IMPLIED	MML0002
		mmlAd:tableId	string	#IMPLIED	
1.1.	mmlAd:full		string	?	
1.2.	mmlAd:prefecture		string	?	
1.3.	mmlAd:city		string	?	
1.4.	mmlAd:town		string	?	
1.5.	mmlAd:homeNumber		string	?	
1.6.	mmlAd:zip		string	?	
1.7.	mmlAd:countryCode		string	?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?: 0 回もしくは 1 回出現，+: 1 回以上出現，*: 0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlAd:Address(住所表現形式)

【内容】住所を表現する共通形式．一連住所もしくはその直下の 4 エレメント (1.2.から 1.5.) のどちらかを選択．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlAd:repCode	string	#REQUIRED	optional	表記法
mmlAd:addressClass	string	#IMPLIED	MML0002	住所の種類コード
mmlAd:tableId	string	#IMPLIED		上記の表記法を規定するテーブル名

【例】アルファベット表記，職場住所の場合

```
<mmlAd:Address mmlAd:repCode = "A" mmlAd:addressClass = "business" mmlAd:tableId = "MML0025">
```

1.1.mmlAd:full

【内容】一連住所．

【データ型】string

【省略】省略可

1.2.mmlAd:prefecture

【内容】都道府県

【データ型】string

【省略】省略可

1.3.mmlAd:city

【内容】市，区，郡

【データ型】string

【省略】省略可

1.4.mmlAd:town

【内容】町，村

【データ型】string

【省略】省略可

1.5.mmlAd:homeNumber

【内容】番地，丁目，マンション名，部屋番号など残りすべて．

【データ型】string

【省略】省略可

1.6.mmlAd:zip

【内容】郵便番号

【データ型】string

【省略】省略可

1.7.mmlAd:countryCode

【内容】国コード . ISO 3166 A3 コード使用 .

【データ型】string

【省略】省略可

mmlAd:Address(住所表現形式)サンプルインスタンス

一連住所の場合

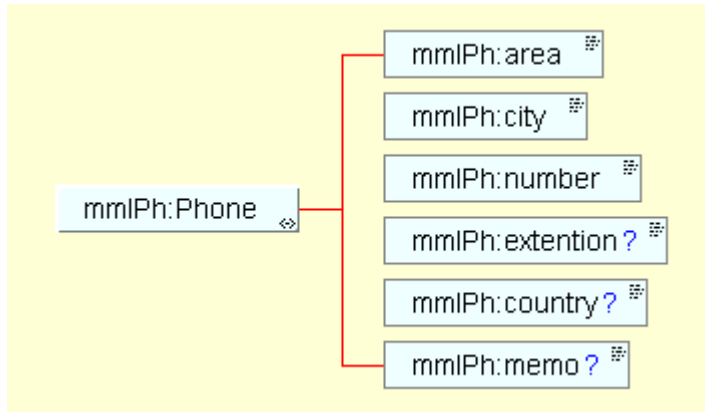
```
<mmlAd:Address mmlAd:repCode = "A" mmlAd:addressClass = "business" mmlAd:tableId = "MML0025">
  <mmlAd:full>5200 Kihara, Kiyotake-cho, Miyazaki-gun, Miyazaki-prefecture</mmlAd:full>
  <mmlAd:zip>889-1692</mmlAd:zip>
  <mmlAd:countryCode>JPN</mmlAd:countryCode>
</mmlAd:Address>
```

分割して表記する場合

```
<mmlAd:Address mmlAd:repCode = "A" mmlAd:addressClass = "business" mmlAd:tableId = "MML0025">
  <mmlAd:prefecture>Miyazaki</mmlAd:prefecture>
  <mmlAd:city>Miyazaki</mmlAd:city>
  <mmlAd:town>Kiyotake</mmlAd:town>
  <mmlAd:homeNumber>5200 Kihara</mmlAd:homeNumber>
  <mmlAd:zip>889-1692</mmlAd:zip>
  <mmlAd:countryCode>JPN</mmlAd:countryCode>
</mmlAd:Address>
```

MML 共通形式 電話番号表現形式

エレメント構造図



エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
2.	mmlPh:Phone				
		mmlPh:telEquipType	string	#IMPLIED	MML0003
2.1.	mmlPh:area		string		
2.2.	mmlPh:city		string		
2.3.	mmlPh:number		string		
2.4.	mmlPh:extension		string	?	
2.5.	mmlPh:country		string	?	
2.6.	mmlPh:memo		string	?	

Occurrence なし：必ず1回出現，?：0回もしくは1回出現，+：1回以上出現，*：0回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

2.mmlPh:Phone(電話番号表現形式)

【内容】電話番号を表現する共通形式。

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
-----	------	----	--------	----

mmlPh:telEquipType	string	#IMPLIED	MML0003	装置の種類コード
--------------------	--------	----------	---------	----------

2.1.mmlPh:area

【内容】市外局番

【データ型】string

【省略】省略可

2.2.mmlPh:city

【内容】局番

【データ型】string

【省略】省略可

2.3.mmlPh:number

【内容】加入番号

【データ型】string

【省略】省略可

2.4.mmlPh:extension

【内容】内線番号

【データ型】string

【省略】省略可

2.5.mmlPh:country

【内容】国番号

【データ型】string

【省略】省略可

2.6.mmlPh:memo

【内容】使用時間帯などを記載

【データ型】string

【省略】省略可

mmlPh:Phone(電話番号表現形式) サンプルインスタンス

<mmlPh:Phone mmlPh:telEquipType = "PH">

<mmlPh:area>0985</mmlPh:area>

<mmlPh:city>85</mmlPh:city>

<mmlPh:number>1500</mmlPh:number>

<mmlPh:extension>2067</mmlPh:extension>

<mmlPh:country>81</mmlPh:country>

<mmlPh:memo>daytime</mmlPh:memo>

</mmlPh:Phone>

MML 共通形式 Id 形式

エレメント一覧表

Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
3. mmlCm:Id		string		
	mmlCm:type	string	#REQUIRED	optional
	mmlCm:tableId	string	#REQUIRED	
	mmlCm:checkDigit	integer	#IMPLIED	
	mmlCm:checkDigitSchema	string	#IMPLIED	MML0001

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

3.mmlCm:Id(Id 形式)

【内容】ID を表現する共通形式。

【データ型】string

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlCm:type	string	#REQUIRED	optional	ID の種類コード
mmlCm:tableId	string	#REQUIRED		上記 ID の種類コードを規定する テーブル名。施設固有の個人 ID の場合に限り、施設 ID を記載す ることができる。
mmlCm:checkDigit	integer	#IMPLIED		チェックディジット
mmlCm:checkDigitSchema	string	#IMPLIED	MML0001	チェックディジット方式

注釈 1：mmlCm:type は原則として、個人 ID に対しては MML0024 テーブルを、施設 ID に対しては MML0027 テーブルを、診療科 ID に対しては MML0029 を使用し、mmlCm:tableId に使用したテーブル名を記載する。

注釈 2：個人 ID が施設固有のものである場合に限り、mmlCm:tableId に施設 ID を記載し、「施設 ID + 施設固有個人 ID」の組み合わせで個人 ID を記載することを可能とする。

mmlCm:Id(Id 形式) サンプルインスタンス

個人 ID の場合

```
<mmlCm:Id mmlCm:type = "facility" mmlCm:checkDigitSchema = "M10" mmlCm:checkDigit = "5"  
mmlCm:tableId = "MML0024">12345</mmlCm:Id>
```

個人 ID の場合 (「施設 ID + 施設固有個人 ID」で記載する場合)

```
<mmlCm:Id mmlCm:type = "facility" mmlCm:checkDigitSchema = "M10" mmlCm:checkDigit = "5"  
mmlCm:tableId = "JPN452015100001">12345</mmlCm:Id>
```

施設 ID の場合

```
<mmlCm:Id mmlCm:type = "insurance" mmlCm:tableId = " MML0027">12345</mmlCm:Id>
```

診療科 ID の場合

```
<mmlCm:Id mmlCm:type = "medical" mmlCm:tableId = "MML0029">16</mmlCm:Id>
```

MML 共通形式 外部参照形式

エレメント一覧表

Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
4. mmlCm:extRef	mmlCm:contentType	string	#IMPLIED	
	mmlCm:medicalRole	string	#IMPLIED	
	mmlCm:title	string	#IMPLIED	
	mmlCm:href	string	#REQUIRED	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

4.mmlCm:extRef(外部参照形式)

【内容】外部参照を表現する共通形式。

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlCm:contentType	string	#IMPLIED		外部参照情報の種類コード
mmlCm:medicalRole	string	#IMPLIED		外部参照情報の詳細種別
mmlCm:title	string	#IMPLIED		タイトル
mmlCm:href	string	#REQUIRED		外部参照情報の所在

検体検査結果，処方，画像などのデータについては，(1)HL7やDICOMなどの規格が存在する，(2)バイナリデータ形式がデータ交換上効率がよい，(3)独立したデータファイルで管理されることが多い，などの理由から，これらはMMLインスタンスから独立したデータファイルとし，MMLからそれらを外部参照する方式を強く推奨する。MMLインスタンスにこれらのデータを直接埋め込む方法は，十分に検討されていないので本規格書では外部参照する方式とする。

外部参照形式は以下のような記述形式をとる。

mmlCm:contentType

contentType は，MIME (RFC 2045,2046,2047) の Content-Type に準拠しており，"TEXT/PLAIN"などの他に，MERIT-9 (医療情報交換規約運用指針)において，

"IMAGE/DICOM" , "APPLICATION/HL72.3-HL7ER2.3"などが定義されている . 詳細については , MERIT-9 の CONTENT-TYPE を参照されたい .

画像についても同様の方法で , "IMAGE/ JPEG " , "IMAGE/ GIF " , "IMAGE/TIFF" , など複数のフォーマットの外部ファイルを参照可能とする .

mmlCm:medicalRole

ユーザーの実装アプリケーションにおいて , 外部参照ファイルが分類されておれば , 効率よく整理され , 参照が容易となる . よって , medicalRole では , MML で想定されるあらゆる外部ファイルを分類するための種別を記載する . MML0033 テーブルを用いる .

mmlCm:title

個々の外部参照ファイルの内容を , 具体的に表す短い文字列を記載する . 以下のような使用を想定している .

【例】

退院時処方
胸腔ドレナージ後の胸部レントゲン写真
化学療法直後の胸部 CT スキャン
熱型表 (1999 年 8 月分)
冠動脈造影スケッチ
類似症例の文献

mmlCm:href

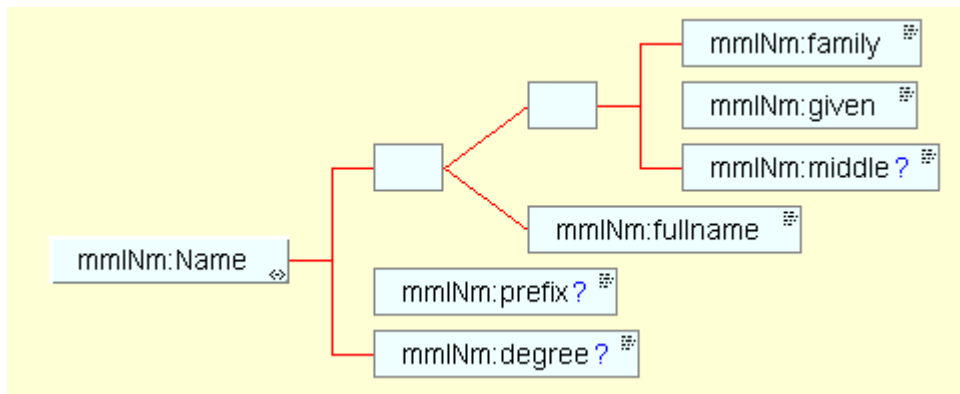
MML インスタンスからの相対的 uri 記述 . 外部参照ファイルは , MML インスタンスに添付して送られることを想定しているため , 絶対的 uri は使用しない . ファイルの名称や , ディレクトリの設定は , ユーザーにより定義される .

mmlCm:extRef(外部参照形式) サンプルインスタンス

```
<extRefs>
  <mmlCm:extRef
    mmlCm:contentType = "APPLICATION/HL72.3-HL7ER2.3"
    mmlCm:medicalRole = "prescription"
    mmlCm:title = "Prescription on discharge"
    mmlCm:href = "patient1234/prescription831.HL7"/>
</extRefs>
```

MML 共通形式 人名表現形式

エレメント構造図



エレメント一覧表

Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
5. mmlNm:Name	mmlNm:repCode	string	#REQUIRED	optional
	mmlNm:tableId	string	#IMPLIED	
5.1. mmlNm:family		string		
5.2. mmlNm:given		string		
5.3. mmlNm:middle		string	?	
5.4. mmlNm:fullname		string		
5.5. mmlNm:prefix		string	?	
5.6. mmlNm:degree		string	?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?： 0 回もしくは 1 回出現，+： 1 回以上出現，*： 0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

5.mmlNm:Name(人名表現形式)

【内容】人名を表現する共通形式．5.1.から 5.3.の 3 エレメントもしくは 5.4.フルネームのどちらかを選択．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlNm:repCode	string	#REQUIRED	optional	表記法
mmlNm:tableId	string	#IMPLIED		表記法を規定するテーブル名

5.1.mmlNm:family

【内容】姓

【データ型】string

【省略】上記参照

5.2.mmlNm:given

【内容】名

【データ型】string

【省略】上記参照

5.3.mmlNm:middle

【内容】ミドルネーム

【データ型】string

【省略】省略可

5.4.mmlNm:fullname

【内容】フルネーム

【データ型】string

【省略】上記参照

5.5.mmlNm:prefix

【内容】肩書きなど

【データ型】string

【省略】省略可

5.6.mmlNm:degree

【内容】学位

【データ型】string

【省略】省略可

mmlNm:Name(人名表現形式) サンプルインスタンス

姓を分ける場合

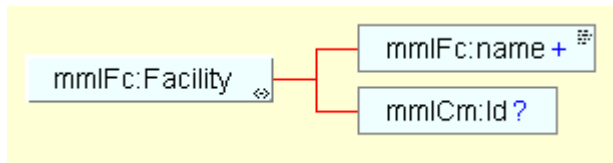
```
<mmlNm:Name mmlNm:repCode = "A" mmlNm:tableId = "MML0025">  
  <mmlNm:family>Araki</mmlNm:family>  
  <mmlNm:given>Kenji</mmlNm:given>  
  <mmlNm:degree>M.D.</mmlNm:degree>  
</mmlNm:Name>
```

姓を分けない場合

```
<mmlNm:Name mmlNm:repCode = "A" mmlNm:tableId = "MML0025">  
  <mmlNm:fullname>Araki Kenji</mmlNm:fullname>  
  <mmlNm:degree>M.D.</mmlNm:degree>  
</mmlNm:Name>
```

MML 共通形式 施設情報形式

エレメント構造図



エレメント一覧表

Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
6. mmlFc:Facility				
6.1. mmlFc:name		string	+	
	mmlFc:repCode	string	#REQUIRED	optional
	mmlFc:tableId	string	#IMPLIED	
6.2. mmlCm:Id		string	?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

6.mmlFc:Facility(施設情報形式)

【内容】施設を表現する共通形式。

6.1.mmlFc:name

【内容】施設名称。

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。表記法が複数あれば繰り返す。

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlFc:repCode	string	#REQUIRED	optional	表記法
mmlFc:tableId	string	#IMPLIED		表記法を規定するテーブル名

6.2.mmlCm:Id

【内容】施設 ID . 構造は MML 共通形式 (Id 形式) 参照 .

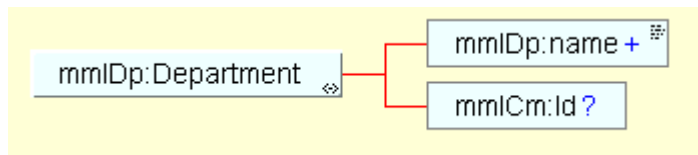
【省略】省略可

mmlFc:Facility(施設情報形式) サンプルインスタンス

```
<mmlFc:Facility
  <mmlFc:name mmlFc:repCode = "A" mmlFc:tableId = "MML0025">
    New Millenium Me dical College Hospital
  </mmlFc:name>
  <mmlCm:Id mmlCm:type = "insurance" mmlCm:checkDigitSchema = "MD10"
    mmlCm:checkDigit = "5" mmlCm:tableId = "MML0027">12345</mmlCm:Id>
</mmlFc:Facility>
```


MML 共通形式 診療科情報形式

エレメント構造図



エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
7.	mmlDp:Department				
7.1.	mmlDp:name		string	+	
		mmlDp:repCode	string	#REQUIRED	optional
		mmlDp:tableId	string	#IMPLIED	
7.2.	mmlCm:Id		string	?	

Occurrence なし：必ず1回出現，?: 0回もしくは1回出現，+: 1回以上出現，*: 0回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

7.mmlDp:Department(診療科情報形式)

【内容】診療科を表現する共通形式。

7.1.mmlDp:name

【内容】診療科名称。

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。表記法が複数あれば繰り返す。

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlDp:repCode	string	#REQUIRED	optional	表記法
mmlDp:tableId	string	#IMPLIED		表記法を規定するテーブル名

7.2.mmlCm:Id

【内容】診療科 ID . 構造は MML 共通形式 (Id 形式) 参照 .

【省略】省略可

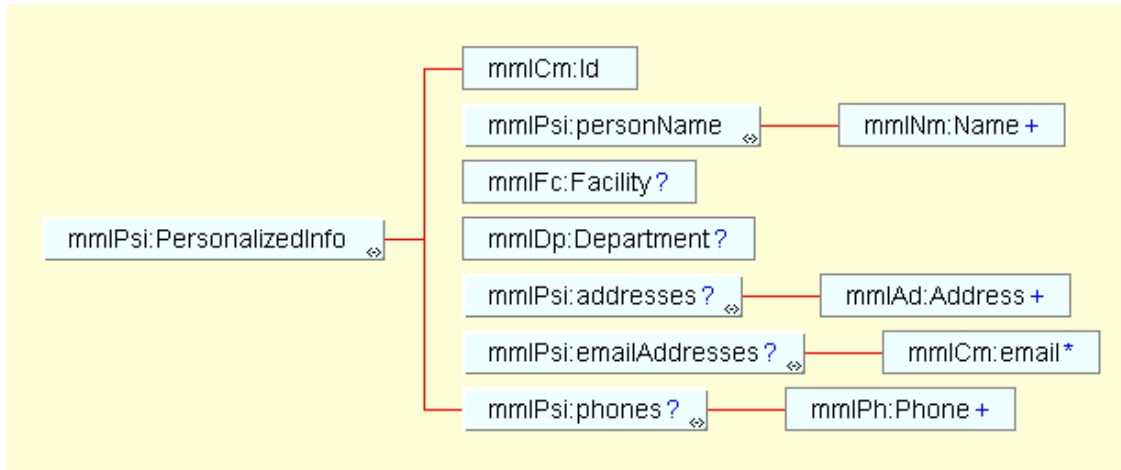
mmlDp:Department(診療科情報形式) サンプルインスタンス

```
<mmlDp:Department
  <mmlDp:name mmlDp:repCode = "A" mmlDp:tableId = "MML0025">
    Cardiovascular  Surgery
  </mmlDp:name>
  <mmlCm:Id mmlCm:type = "medical"  mmlCm:tableId = "MML0029">16</mmlCm:Id>
</mmlDp:Department>
```

注釈 : 診療科 ID に MML0029 テーブルの医科診療科コードを用いた .

MML 共通形式 個人情報形式

エレメント構造図



エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
8.	mmlPsi:PersonalizedInfo				
8.1.	mmlCm:Id		string		
8.2.	mmlPsi:personName				
8.2.1.	mmlNm:Name			+	
8.3.	mmlFc:Facility			?	
8.4.	mmlDp:Department			?	
8.5.	mmlPsi:addresses			?	
8.5.1.	mmlAd:address			+	
8.6.	mmlPsi:emailAddresses			?	
8.6.1.	mmlCm:email		string	*	
8.7.	mmlPsi:phones			?	
8.7.1.	mmlPh:Phone			+	

Occurrence なし：必ず1回出現，?：0回もしくは1回出現，+：1回以上出現，*：0回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

8.mmlPsi:PersonalizedInfo(個人情報形式)

【内容】個人情報を表現する共通形式。

8.1.mmlCm:Id

【内容】個人 ID。構造は MML 共通形式 (Id 形式) 参照。

【省略】不可

8.2.mmlPsi:personName

【内容】氏名情報を入れる親エレメント。

【省略】不可

8.2.1.mmlNm:Name

【内容】氏名。構造は MML 共通形式 (人名表現形式) 参照。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。表記法が複数あれば繰り返す。

8.3.mmlFc:Facility

【内容】施設情報。構造は MML 共通形式 (施設情報形式) 参照。

【省略】省略可

8.4.mmlDp:Department

【内容】診療科情報。構造は MML 共通形式 (診療科情報形式) 参照。

【省略】省略可

8.5.mmlPsi:addresses

【内容】住所情報を入れる親エレメント。

【省略】省略可

8.5.1.mmlAd:address

【内容】住所。構造は MML 共通形式 (住所表現形式) 参照。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。住所の種類あるいは表記法が複数あれば繰り返す。

8.6.mmlPsi:emailAddresses

【内容】下記の電子メールアドレスを入れる親エレメント。

【省略】省略可

8.6.1.mmlCm:email

【内容】電子メールアドレス

【データ型】string

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．電子メールアドレスが複数あれば繰り返す．

【例】

```
<mmlPsi:emailAddresses>
  <mmlCm:email>araki@post.medxml.net</mmlCm:email>
</mmlPsi:emailAddresses>
```

8.7.mmlPsi:phones

【内容】下記連絡先電話番号を入れる親エレメント．

【省略】省略可

8.7.1.mmlPh:Phone

【内容】構造は MML 共通形式（電話番号表現形式）参照．

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．電話番号が複数あれば繰り返す．

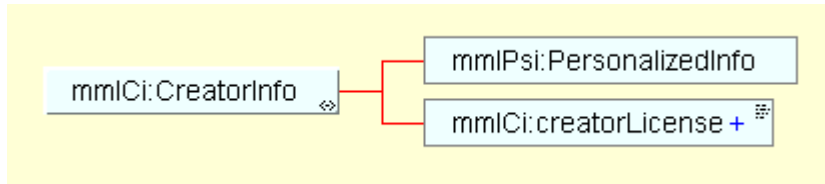
mmlPsi:PersonalizedInfo(個人情報形式) サンプルインスタンス

```
<mmlPsi:PersonalizedInfo>
  <mmlCm:Id mmlCm:type = "facility" mmlCm:checkDigitSchema = "M10"
    mmlCm:checkDigit = "5" mmlCm:tableId = "MML0024">12345</mmlCm:Id>
  <mmlPsi:personName>
    <mmlNm:Name mmlNm:repCode = "A" mmlNm:tableId = "MML0025">
      <mmlNm:family>Araki</mmlNm:family>
      <mmlNm:given>Kenji</mmlNm:given>
      <mmlNm:degree>M.D.</mmlNm:degree>
    </mmlNm:Name>
  </mmlPsi:personName>
  <mmlFc:Facility>
```

```
<mmlFc:name mmlFc:repCode = "A" mmlFc:tableId = "MML0025">
    New Millenium Medical College Hospital
</mmlFc:name>
<mmlCm:Id mmlCm:type = "insurance"
    mmlCm:tableId = "MML0027">12345</mmlCm:Id>
</mmlFc:Facility>
<mmlDp:Department>
    <mmlDp:name mmlDp:repCode = "A" mmlDp:tableId = "MML0025">
        Cardiovascular  Surgery
    </mmlDp:name>
    <mmlCm:Id mmlCm:type = "medical" mmlCm:tableId = "MML0029">16</mmlCm:Id>
</mmlDp:Department>
<mmlPsi:addresses>
    <mmlAd:Address mmlAd:repCode = "A" mmlAd:addressClass = "business"
        mmlAd:tableId = "MML0025">
        <mmlAd:full>
            5200 Kihara, Kiyotake-cho, Miyazaki-gun, Miyazaki-prefecture
        </mmlAd:full>
        <mmlAd:zip>889-1692</mmlAd:zip>
        <mmlAd:countryCode>JPN</mmlAd:countryCode>
    </mmlAd:Address>
</mmlPsi:addresses>
<mmlPsi:emailAddresses>
    <mmlCm:email>araki@post.medxml.net</mmlCm:email>
</mmlPsi:emailAddresses>
<mmlPsi:phones>
    <mmlPh:Phone mmlPh:telEquipType = "PH">
        <mmlPh:area>0985</mmlPh:area>
        <mmlPh:city>85</mmlPh:city>
        <mmlPh:number>1500</mmlPh:number>
        <mmlPh:extension>2067</mmlPh:extension>
        <mmlPh:country>81</mmlPh:country>
        <mmlPh:memo>daytime</mmlPh:memo>
    </mmlPh:Phone>
</mmlPsi:phones>
</mmlPsi:PersonalizedInfo>
```

MML 共通形式 作成者情報形式

エレメント構造図



エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
9.	mmlCi:CreatorInfo				
9.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo				
9.2.	mmlCi:creatorLicense		string	+	optional
		mmlCi:tableId	string	#IMPLIED	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

9.mmlCi:CreatorInfo(作成者情報形式)

【内容】作成者を表現する共通形式。

9.1.mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】作成者の個人情報。構造は MML 共通形式（個人情報形式）参照。

【省略】不可

9.2.mmlCi:creatorLicense

【内容】生成者の資格

【データ型】string。属性で指定されたテーブルの値を入れる。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。資格を複数持っておれば繰り返す。

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
-----	------	----	--------	----

mmlCi:tableId	string	#IMPLIED	生成者の資格を規定するテーブル名
---------------	--------	----------	------------------

【例】

```
<mmlCi:creatorLicense mmlCi:tableId = "MML0026">doctor</mmlCi:creatorLicense>
```


MML 基本構造

namespaces 宣言

MML 基本構造の namespaces 宣言は、以下とする。

```
xmlns:mml="http://www.medxml.net/MML"
```

ここでは、便宜的に、Namespace Prefix として「mml」を用いる。アプリケーションはこの Namespace Prefix を使うことを推奨する。このドキュメント内では、MML 基本構造はこのネームスペースをデフォルトとして定義したものとして記述する。

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1	Mml	version	string	#FIXED	
		createDate	dateTime	#REQUIRED	
		xmlns	uri	#FIXED	
		xmlns:xhtml	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlCm	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlNm	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlFc	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlDp	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlAd	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlPh	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlPsi	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlCi	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlPi	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlBc	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlFcl	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlHi	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlLs	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlPc	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlRd	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlSg	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlSm	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlLb	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlRp	uri	#FIXED	

		xmlns:mmlRe	uri	#FIXED	
		xmlns:mmlSc	uri	#FIXED	
		xmlns:claim	uri	#FIXED	
		xmlns:claimA	uri	#FIXED	
1.1.	MmlHeader				
1.1.1.	mmlCi:CreatorInfo				
1.1.2.	masterId				
1.1.2.1.	mmlCm:Id		string		
1.1.3.	toc				
1.1.3.1.	tocItem		string	+	
1.1.4.	scopePeriod			?	
		start	date	#IMPLIED	
		end	date	#IMPLIED	
		hasOtherInfo	boolean	#IMPLIED	
		isExtract	boolean	#IMPLIED	
		extractPolicy	string	#IMPLIED	MML0004
1.1.5.	encryptInfo		string	?	
1.2.	MmlBody				
1.2.1.	MmlModuleItem			+	
		type	string	#IMPLIED	MML0005
1.2.1.1.	docInfo		?		
		contentModuleType	string	#IMPLIED	MML0005
		moduleVersion	uri	#IMPLIED	
1.2.1.1.1.	securityLevel				
1.2.1.1.1.1.	accessRight			*	
		permit	string	#REQUIRED	MML0034
		startDate	date	#IMPLIED	
		endDate	date	#IMPLIED	
1.2.1.1.1.1.1.	mmlSc:facility			?	
1.2.1.1.1.1.1.1.	mmlSc:facilityName		string	+	
		mmlSc:facilityCode	string	#REQUIRED	MML0035
		mmlSc:tableId	string	#IMPLIED	
		mmlSc:facilityId	string	#IMPLIED	
		mmlSc:facilityIdType	string	#IMPLIED	MML0027
1.2.1.1.1.1.2.	mmlSc:department			?	
1.2.1.1.1.1.2.1.	mmlSc:departmentName			+	

		mmlSc:departmentCode	string	#REQUIRED	MML0028
		mmlSc:tableId	string	#IMPLIED	
1.2.1.1.1.3.		mmlSc:licence		?	
1.2.1.1.1.3.1.		mmlSc:licenceName		+	
		mmlSc:licenceCode	string	#REQUIRED	MML0026
		mmlSc:tableId	string	#IMPLIED	
1.2.1.1.1.4.		mmlSc:person		?	
1.2.1.1.1.4.1.		mmlSc:personName	string	+	
		mmlSc:personCode	string	#REQUIRED	MML0036
		mmlSc:tableId	string	#IMPLIED	
		mmlSc:personId	string	#REQUIRED	
		mmlSc:personIdType	string	#IMPLIED	
1.2.1.1.2.	title		string		
		generationPurpose	string	#IMPLIED	MML0007
1.2.1.1.3.	docId				
1.2.1.1.3.1.	uid		string		
1.2.1.1.3.2.	parentId		string	*	
		relation	string	#IMPLIED	MML0008
1.2.1.1.3.3.	groupId		string	*	
		groupClass	string	#IMPLIED	MML0007
1.2.1.1.4.	confirmDate		date		
		start	date	#IMPLIED	
		end	date	#IMPLIED	
1.2.1.1.5.	mmlCi:CreatorInfo				
1.2.1.1.6.	extRefs				
1.2.1.1.6.1.	mmlCm:extRef			*	
1.2.1.2.	content			?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現
#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.Mml

【内容】MML 開始・終了タグ

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
version	string	#FIXED	2.3
createDate	dateTime	#REQUIRED	MML 生成日時 . 書式 CCYY-MM-DDThh:mm:ss
xmlns	uri	#FIXED	使用した MML 基本構造 DTD の URI を記載
xmlns:xhtml	uri	#FIXED	使用した XHTML DTD の URI を記載
xmlns:mmlCm	uri	#FIXED	使用した Id 形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlNm	uri	#FIXED	使用した人名表現形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlFc	uri	#FIXED	使用した施設情報形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlDp	uri	#FIXED	使用した診療科情報形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlAd	uri	#FIXED	使用した住所表現形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlPh	uri	#FIXED	使用した電話番号表現形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlPsi	uri	#FIXED	使用した個人情報形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlCi	uri	#FIXED	使用した作成者情報形式 DTD の URI を記載
xmlns:mmlPi	uri	#FIXED	使用した患者情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlBc	uri	#FIXED	使用した基礎的診療情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlFcl	uri	#FIXED	使用した初診時特有情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlHi	uri	#FIXED	使用した健康保険情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlLs	uri	#FIXED	使用した生活習慣情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlPc	uri	#FIXED	使用した経過記録情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlRd	uri	#FIXED	使用した診断履歴情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlSg	uri	#FIXED	使用した手術記録情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlSm	uri	#FIXED	使用した臨床サマリー情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlLb	uri	#FIXED	使用した検歴情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlRp	uri	#FIXED	使用した報告書情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlRe	uri	#FIXED	使用した報告書情報モジュール DTD の URI を記載
xmlns:mmlSc	uri	#FIXED	使用したアクセス権情報 DTD の URI を記載
xmlns:claim	uri	#FIXED	使用した予約請求モジュール DTD の URI を記載
xmlns:claimA	uri	#FIXED	使用した点数金額モジュール DTD の URI を記載

インスタンス全体に適用される namespaces 宣言は ,MML ルートタグ (MML 基本構造 1.Mml) の属性とする . 一つの MML インスタンスが , 同種でかつ , 異なるバージョンのモジュールを含んでいるときは , モジュールの namespaces 宣言は , それぞれのモジュールのルートタグの属性とする .

1.1.MmlHeader

【内容】ヘッダ情報

1.1.1.mmlCi:CreatorInfo

【内容】生成者識別情報．構造は MML 共通形式（作成者情報形式）参照．

【省略】不可

1.1.2.masterId

【内容】患者主 ID．

【省略】不可

1.1.2.1.mmlCm:Id

【内容】構造は MML 共通形式（Id 形式）参照．

【省略】不可

1.1.3.toc

【内容】table of contet . header 内の「toc」のチェックをシステムで行うことで body を見なくてもどのようなデータが入っているかを認識することができる．

【省略】不可

1.1.3.1.tocItem

【内容】本 MML 文書で使われている全ての DTD をリストアップする．

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．使用した DTD の種類だけ繰り返す．

1.1.4.scopePeriod

【内容】MML 本文全体の対象期間

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
start	date	#IMPLIED		開始日
end	date	#IMPLIED		終了日
hasOtherInfo	boolean	#IMPLIED		期間外情報の有無 .true :あり ,false :なし
isExtract	boolean	#IMPLIED		情報抽出の有無 .true :あり ,false :なし
extractPolicy	string	#IMPLIED	MML0004	抽出のポリシー

start と end で示される MML 全体の対象期間に対して、送信側の施設に、対象期間外の患者診療情報があれば、hasOtherInfo の値を true とする。また、送信側施設の対象期間内のすべての患者情報を MML インスタンスに記載しておれば jsExtract の値を false に、何からの抽出を行っておれば、true にする。さらに、抽出を行っている場合は、抽出の基準を extractPolicy に記載する。これらは、MML インスタンスを受け取った側が、患者情報のすべてを受け取っているのか、一部分を受け取っているのかを明確にするためのものである。一部を受け取っているにもかかわらず、すべてを受け取っていると誤解した場合には、診療行為に重大な過ちが生じる可能性があるからである。

1.1.5.encryptInfo

【内容】電子署名などの暗号化情報。記載方法を特に定めない。基本方針の「アクセス権と暗号化」を参照。

【データ型】string

【省略】省略可

1.2.MmlBody

【内容】本文。内部に 1 つ以上の文書を入れる。

【省略】不可

1.2.1.MmlModuleItem

【内容】個々の文書。1 つの MmlModuleItem に 1 つの文書を入れる。ユーザーのローカルデータベースにおいては、一つの文書レコードとして管理されることが想定される。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。文書の数だけ繰り返し可。

【属性】この属性は、主としてデータ送受信時のモジュール指定に用いられる。

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
type	string	#IMPLIED	MML0005	文書の種類コード

1.2.1.1.docInfo

【内容】個々の文書のヘッダ情報

【省略】通常は省略不可だが、モジュールを指定したクエリや、クエリの返答で該当するモジュールがなかった場合のみ省略可。

【属性】文書ヘッダの参照だけで、使用したモジュールの種別とバージョンが分かるように属性を設定する。

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
-----	------	----	--------	----

contentModuleType	string	#IMPLIED	MML0005	文書の種類コード
moduleVersion	uri	#IMPLIED		使用モジュールの DTD の URI を記載

1.2.1.1.1.securityLevel

【内容】アクセス権種別．MML インスタンス生成者が，生成時に判断したアクセス権を記載する．実際のアクセスコントロールは，インスタンスを受けたアプリケーション（およびその管理者）に委ねられる．

【省略】不可

1.2.1.1.1.1.accessRight

【内容】アクセス権

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．設定するアクセス権の数だけ繰り返す．少なくとも，記載者が参照できないことがないように，記載者のアクセス権設定は必須．

複数の accessRight エlementが存在する場合は，accessRight エlement同士は“OR”条件となる．一つの accessRight エlement直下に，施設，診療科，職種，個人の内二つ以上が存在するときは，“AND”条件となる．この AND 条件を満たすものが実在しない場合には，アクセス権は認められない．

【属性】

Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id	Remarks
permit	boolean	#REQUIRED	MML0034	参照の権利． none :すべてのアクセスを不許可 read 参照を許可 write 参照，修正を許可 delete 参照，削除を許可 all 参照，修正，削除を許可
startDate	date	#IMPLIED		アクセス許可開始日
endDate	date	#IMPLIED		アクセス許可終了日

参照を許可しないことを明示的に示したい場合には，permit 属性に none を設定する．MML では，削除可能文書に対して，削除要求が出されたときの具体的な処理方法を規定しないが，一つの想定される実装として，診療記録の修正履歴を残すことが重要と考えられる場合は，物理的削除ではなく，参照者の通常アクセスにおいて非表示とするに留めることが考えられる．

1.2.1.1.1.1.1.mmlSc:facility

【内容】施設．施設単位でのアクセス権を設定する．

【省略】可

1.2.1.1.1.1.1.mmlSc:facilityName

【内容】施設名

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．アクセス権を設定する施設の数だけ繰り返す．

【属性】

Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id	Remarks
mmlSc:facilityCode	string	#REQUIRED	MML0035	施設アクセス権定義
mmlSc:tableId	string	#IMPLIED		施設アクセス権定義用いられたテーブル名 .MML0035 と記載
mmlSc:facilityId	string	#IMPLIED		施設コード
mmlSc:facilityIdType	string	#IMPLIED	MML0027	施設コードのマスタ名

施設アクセス権定義における各値の意味は以下の通りである．

- all アクセスを行う全ての施設を対象とする．
- creator 記載者と同じ施設を対象とする．
- experience 被記載者（患者）の診療歴のある施設を対象とする．
 診療歴のある施設の選別法は，各アプリケーションに委ねられる．
- individual 施設 ID を個別に指定し，対象とする．mmlSc:facilityId ,
 mmlSc:facilityIdType に対象施設を記載する．

1.2.1.1.1.1.2.mmlSc:department

【内容】診療科

【省略】可

1.2.1.1.1.1.2.1.mmlSc:departmentName

【内容】診療科名

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．アクセス権を設定する診療科の数だけ繰り返す．

【属性】

Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id	Remarks
mmlSc:departmentCode	string	#REQUIRED	MML0028	診療科コード
mmlSc:tableId	string	#IMPLIED		診療科コード名 .MML0028 と記載．

1.2.1.1.1.1.3.mmlSc:licence

【内容】職種

【省略】可

1.2.1.1.1.1.3.1.mmlSc:licenceName

【内容】職種名

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．アクセス権を設定する職種の数だけ繰り返す．

【属性】

Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id	Remarks
mmlSc:licenceCode	string	#REQUIRED	MML0026	職種コード
mmlSc:tableId	string	#IMPLIED		職種コード名 .MML0026 と記載．

1.2.1.1.1.1.4.mmlSc:person

【内容】個人

【省略】可

1.2.1.1.1.1.4.1.mmlSc:personName

【内容】個人名

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．アクセス権を設定する個人の数だけ繰り返す．

【属性】

Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id	Remarks
mmlSc:personCode	string	#REQUIRED	MML0036	個人アクセス権定義
mmlSc:tableId	string	#IMPLIED		個人アクセス権定義に用いられた テーブル名 .MML0035 と記載
mmlSc:personId	string	#REQUIRED		個人 ID
mmlSc:personIdType	string	#IMPLIED		個人 ID のマスタ名

個人アクセス権定義における各値の意味は以下の通りである．

- all アクセスを行う全ての個人を対象とする．
- creator 記載者を対象とする．
- patient 被記載者（患者）本人を対象とする
- individual 個人 ID を個別に指定し，対象とする．mmlSc:personId，

mmlSc:personIdType に対象者を記載する .

【例】 1.2.1.1.1.securityLevel (アクセス権種別) 記載例

宮崎医科大学附属病院の内科 医師に 2001 年 10 月 1 日から 2001 年 12 月 31 日まで参照 ,
修正 , 削除の権利を与える場合

```
<securityLevel>
  <accessRight
    permit="all"
    startDate="2001-10-01"
    endDate="2001-12-31">

    <mmlSc:facility>
      <mmlSc:facilityName
        mmlSc:facilityCode="individual"
        mmlSc:tableId="MML0035"
        mmlSc:facilityId="JPN453010100003"
        mmlSc:facilityIdType="JMARI">
        宮崎医科大学附属病院
      </mmlSc:facilityName>
    </mmlSc:facility>

    <mmlSc:department>
      <mmlSc:departmentName
        mmlSc:departmentCode="01"
        mmlSc:tableId="MML0028"/>
    </mmlSc:department>

    <mmlSc:licence>
      <mmlSc:licenceName
        mmlSc:licenceCode="doctor"
        mmlSc:tableId="MML0026"/>
    </mmlSc:licence>
  </accessRight>
</securityLevel>
```

```
</accessRight>
</securityLevel>
```

記載者施設に無期限の全ての権利と、患者（患者太郎）に 2001 年 10 月 1 日から 2001 年 12 月 31 日まで参照の権利を与える場合

```
<securityLevel>
  <accessRight
    permit="all">

    <mmlSc:facility>
      <mmlSc:facilityName
        mmlSc:facilityCode="creator"
        mmlSc:tableId="MML0035">
        記載者施設
      </mmlSc:facilityName>
    </mmlSc:facility>
  </accessRight>

  <accessRight
    permit="read"
    startDate="2001-10-01"
    endDate="2001-12-31">

    <mmlSc:person>
      <mmlSc:personName
        mmlSc:personCode="patient"
        mmlSc:tableId="MML0036"
        mmlSc:personId="4500001234"
        mmlSc:personIdType="dolphinUserid_2001-10-03">
        患者太郎
      </mmlSc:personName>
    </mmlSc:person>
  </accessRight>
</securityLevel>
```

1.2.1.1.2.title

【内容】文書タイトル

【データ型】string

【省略】不可

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
generationPurpose	string	#IMPLIED	MML0007	文書詳細種別

1.2.1.1.3.docId

【内容】文書 ID 情報

【省略】不可

1.2.1.1.3.1.uid

【内容】文書ユニーク ID . ユニーク番号の形式は UUID とする(UUID はハイフンを含めた形式とする) . MML プロセッサは , MML インスタンスを受け取った時に , 何らかの手段で uid をローカルに保存しておくことを強く推奨する .

【データ型】string

【省略】不可

【例】

```
<uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e7</uid>
```

1.2.1.1.3.2.parentId

【内容】関連親文書の ID . 活用法については , 基本方針の「文書間の関連付け」を参照すること .

【データ型】string

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 親文書が複数の場合に繰り返す .

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
relation	string	#IMPLIED	MML0008	関連の種別

【例】親文書に対する訂正文書 (新しい版) である場合

```
<parentId relation = "oldEdition">0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8</parentId>
```

1.2.1.1.3.3.groupId

【内容】グループ ID . 活用法については、基本方針の「 groupId による文書間の関連付け」を参照すること .

【データ型】 string

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 複数のグループに属する場合に繰り返す .

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
groupClass	string	#IMPLIED	MML0007	モジュールグループの種別

1.2.1.1.4.confirmDate

【内容】カルテ電子保存の確定日

【データ型】 date 書式 : CCYY-MM-DD

【省略】不可

【属性】時系列情報が 1 文書となっている場合は、次の属性で開始日と終了日を記載する . ScopePeriod (1.1.4.) が MML 文書全体の対象期間であるのに対し、こちらは、一つの MmlModuleItem の期間を表していることに注意 .

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
start	date	#IMPLIED		時系列情報場合の開始日 .
end	date	#IMPLIED		時系列情報場合の終了日 .

1.2.1.1.5.mmlCi:CreatorInfo

【内容】個々の文書の作成者情報 . 構造は MML 共通形式 (作成者情報形式) 参照 .

【省略】不可

1.2.1.1.6.extRefs

【内容】content 内に記載されているすべての外部リンク情報のリスト . content 内を解析しなくても、外部参照ファイルのリストを得ることができる .

【省略】不可

1.2.1.1.6.1.mmlCm:extRef

【内容】外部リンク情報 . 構造は MML 共通形式 (外部参照形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】記載されている外部リンク情報の数だけ繰り返す .

1.2.1.2.content

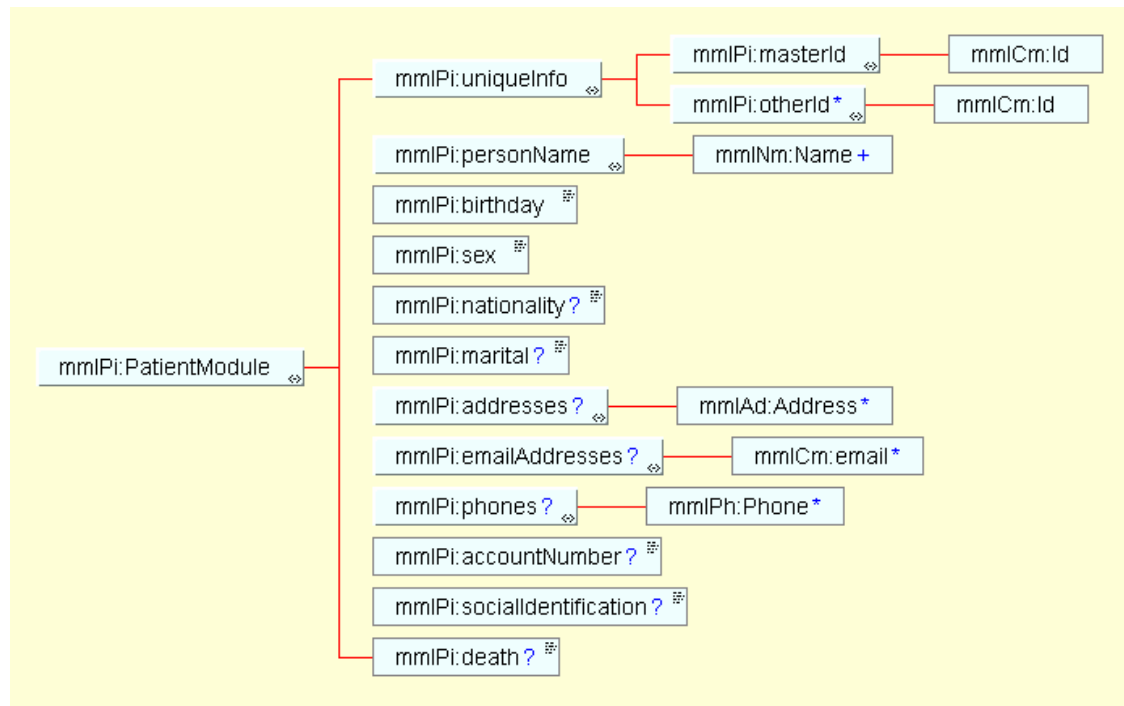
【内容】記載内容 . namespace を用いて , モジュールを入れる . 一つの content にモジュールは 1 種類のみ可 .

【省略】通常は省略不可だが , リスト形式クエリの返答である場合のみ省略可 .

MML モジュール

患者情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmlPi= "http://www.medxml.net/MML/ContentModule/PatientInfo/1.0"

エレメント一覧表

Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlPi:PatientModule			
1.1.	mmlPi:uniqueInfo			
1.1.1.	mmlPi:masterId			
1.1.1.1.	mmlCm:Id	string		
1.1.2.	mmlPi:otherId		*	
	mmlPi:type	string	#REQUIRED	MML0009
1.1.2.1.	mmlCm:Id	string		

1.10.	mmlPi:personName				
1.11.	mmlNm:Name			+	
1.12.	mmlPi:birthday	date			
1.2.	mmlPi:sex	string			MML0010
1.2.1.	mmlPi:nationality	string	?		
		mmlPi:subtype	string	#IMPLIED	
1.3.	mmlPi:marital	string	?		MML0011
1.4.	mmlPi:addresses		?		
1.5.	mmlAd:Address		*		
1.6.	mmlPi:emailAddresses		?		
1.7.	mmlCm:email	string	*		
1.7.1.	mmlPi:phones		?		
1.8.	mmlPh:Phone		*		
1.8.1.	mmlPi:accountNumber	string	?		
1.9.	mmlPi:socialIdentification	string	?		
1.9.1.	mmlPi:death	boolean	?		
		mmlPi:date	date/dateTime	#IMPLIED	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現
#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlPi:PatientModule

【内容】患者情報

1.1.mmlPi:uniqueInfo

【内容】ID 情報

【省略】不可

1.1.1.mmlPi:masterId

【内容】主 ID . MmlHeader の masterId と必ず一致すること .

【省略】不可

1.1.1.1.mmlCm:Id

【内容】構造は MML 共通形式 (Id 形式) 参照 .

【省略】不可

1.1.2.mmlPi:otherId

【内容】その他の ID . 代理人の ID , 緊急連絡者の ID , 等を記載する .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . その他の ID が複数ある場合 .

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlPi:type	string	#REQUIRED	MML0009	その他の ID の種類

1.1.2.1.mmlCm:Id

【内容】構造は MML 共通形式 (Id 形式) 参照 .

【省略】不可

1.2.mmlPi:personName

【内容】氏名情報

【省略】不可

1.2.1.mmlNm:Name

【内容】構造は MML 共通形式 (人名表現形式) 参照 .

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 表記法が複数あれば繰り返す .

1.3.mmlPi:birthday

【内容】生年月日

【データ型】date 書式 : CCYY-MM-DD

【省略】不可

【例】

```
<mmlPi:birthday>1958-10-21</mmlPi:birthday>
```

1.4.mmlPi:sex

【内容】性別 . テーブル MML0010 を使用する .

【データ型】string

【省略】不可

1.5.mmlPi:nationality

【内容】国籍コード . ISO 3166 A3 コード使用 . 日本 JPN

【データ型】 string

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlPi:subtype	string	#IMPLIED	第 2 国籍コード . ISO 3166 A3 コード使用 .

【例】国籍が日本 . 第 2 国籍がアメリカの場合 .

```
<mmlPi:nationality mmlPi:subtype = "USA">JPN</mmlPi:nationality>
```

1.6.mmlPi:marital

【内容】婚姻状態 . テーブル MML0011 を使用する .

【データ型】 string

【省略】省略可

1.7.mmlPi:addresses

【内容】下記の住所を入れる親エレメント .

【省略】省略可

1.7.1.mmlAd:Address

【内容】住所 . 構造は MML 共通形式 (住所表現形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 住所の種類あるいは表記法が複数あれば繰り返す .

1.8.mmlPi:emailAddresses

【内容】下記の電子メールアドレスを入れる親エレメント .

【省略】省略可

1.8.1.mmlCm:email

【内容】電子メールアドレス

【データ型】 string

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 電子メールアドレスが複数あれば繰り返す .

1.9.mmlPi:phones

【内容】下記連絡先電話番号を入れる親エレメント .

【省略】省略可

1.9.1.mmlPh:Phone

【内容】構造は MML 共通形式（電話番号表現形式）参照．

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．電話番号が複数あれば繰り返す．

1.10.mmlPi:accountNumber

【内容】会計番号

【データ型】string

【省略】省略可

1.11.mmlPi:socialIdentification

【内容】社会番号

【データ型】string

【省略】省略可

1.12.mmlPi:death

【内容】死亡フラグ．true：死亡，false：生存

【データ型】boolean

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlPi:date	date/dateTime	#IMPLIED	死亡日時 .datatypes は date もしくは dateTime のどちらかとする．

【例】1999年9月1日に死亡

```
<mmlPi:death mmlPi:date="1999-09-01">true</mmlPi:death>
```

【例】1999年9月1日6時15分に死亡

```
<mmlPi:death mmlPi:date="1999-09-01T06:15">true</mmlPi:death>
```

健康保険情報モジュール (日本版) Version 1.1

namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmlHi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/HealthInsurance/1.1"

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1	mmlHi:HealthInsuranceModule				
		mmlHi:countryType	string	#IMPLIED	
1.1.	mmlHi:insuranceClass		string	?	
		mmlHi:ClassCode	string	#REQUIRED	
		mmlHi:tableId	string	#REQUIRED	MML0031
1.2.	mmlHi:insuranceNumber		string		
1.3.	mmlHi:clientId				
1.3.1.	mmlHi:group		string		
1.3.2.	mmlHi:number		string		
1.4.	mmlHi:familyClass		boolean		
1.5.	mmlHi:clientInfo			?	
1.5.1.	mmlHi:personName			?	
1.5.1.1.	mmlNm:Name			*	
1.5.2.	mmlHi:addresses			?	
1.5.2.1.	mmlAd:Address			*	
1.5.3.	mmlHi:phones			?	
1.5.3.1.	mmlPh:Phone			*	
1.6.	mmlHi:continuedDiseases			?	
1.6.1.	mmlHi:diseases		string	+	
1.7.	mmlHi:startDate		date		
1.8.	mmlHi:expiredDate		date		
1.9.	mmlHi:paymentInRatio		decimal	?	
1.10.	mmlHi:paymentOutRatio		decimal	?	
1.11.	mmlHi:insuredInfo			?	
1.11.1.	mmlHi:facility			?	
1.11.1.1.	mmlFc:Facility			?	
1.11.2.	mmlHi:addresses			?	

1.11.2.1.	mmlAd:Address			*
1.11.3.	mmlHi:phones			?
1.11.3.1.	mmlPh:Phone			*
1.12.	mmlHi:workInfo			?
1.12.1.	mmlHi:facility			?
1.12.1.1.	mmlFc:Facility			?
1.12.2.	mmlHi:addresses			?
1.12.2.1.	mmlAd:Address			*
1.12.3.	mmlHi:phones			?
1.12.3.1.	mmlPh:Phone			*
1.13.	mmlHi:publicInsurance			?
1.13.1.	mmlHi:publicInsuranceItem			+
		mmlHi:priority	string	#REQUIRED
1.13.1.1.	mmlHi:providerName		string	?
1.13.1.2.	mmlHi:provider		string	
1.13.1.3.	mmlHi:recipient		string	
1.13.1.4.	mmlHi:startDate		date	
1.13.1.5.	mmlHi:expiredDate		date	
1.13.1.6.	mmlHi:paymentRatio		decimal	?
		mmlHi:RatioType	string	#REQUIRED MML0032

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現
#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlHi:HealthInsuranceModule

【内容】使用可能保険・公費の組合せ。

【省略】不可

【繰り返し設定】組み合わせが複数ある場合は，MML 基本構造の MmlBody の MmlModuleItem の繰り返しで対応する。

例えば，以下の 3 通りの保険が使われておれば，

- 1．国保のみ
- 2．国保と公費（結核）
- 3．社保継続

MmlModuleItem を 3 回繰り返し返して，3 つを別個に記載する。

【属性】本モジュールが日本固有のものであることを明示するために，以下の属性を設け

る。

属性名	データ型	省略	説明
MmlHi:countryType	string	#IMPLIED	国タイプ . 日本 JPN

【例】

```
<mmlHi:HealthInsuranceModule mmlHi:countryType = "JPN">
```

1.1.mmlHi:insuranceClass

【内容】健康保険種別．原則としてテーブル MML0031 を用いるが，地方公費等でユーザー固有の拡張が必要なときは，別テーブルとし，別のテーブル名を記載する．

【データ型】string

【省略】可

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル
mmlHi:ClassCode	string	#REQUIRED	
mmlHi:tableId	string	#REQUIRED	MML0031

【例】

```
<mmlHi:insuranceClass mmlHi:ClassCode="01" mmlHi:tableId="MML0031">国保</mmlHi:insuranceClass>
```

1.2.mmlHi:insuranceNumber

【内容】健康保険者番号

【データ型】string

【省略】不可

【例】

```
<mmlHi:insuranceNumber>8001</mmlHi:insuranceNumber>
```

1.3.mmlHi:clientId

【内容】被保険者情報

【省略】不可

1.3.1.mmlHi:group

【内容】被保険者記号

【データ型】string

【省略】不可

1.3.2.mmlHi:number

【内容】被保険者番号

【データ型】string

【省略】不可

【例】

```
<mmlHi:clientId>  
  <mmlHi:group>宮みへし</mmlHi:group>  
  <mmlHi:number>421</mmlHi:number>  
</mmlHi:clientId>
```

1.4.mmlHi:familyClass

【内容】本人家族区分．true：本人，false：家族

【データ型】boolean

【省略】不可

【例】本人

```
<mmlHi:familyClass>true</mmlHi:familyClass>
```

【例】家族

```
<mmlHi:familyClass>false</mmlHi:familyClass>
```

1.5.mmlHi:clientInfo

【内容】被保険者情報

【省略】可

1.5.1.mmlHi:personName

【内容】下記の被保険者氏名を入れる親エレメント

【省略】可.

1.5.1.1.mmlNm:Name

【内容】氏名．構造は MML 共通形式（人名表現形式参照）

【省略】可

【繰り返し設定】繰り返しあり．表記法が複数あれば繰り返す．

1.5.2. mmlHi:addresses

【内容】下記の被保険住所を入れる親エレメント

【省略】可

1.5.2.1.mmlAd:Address

【内容】住所．構造は MML 共通形式（住所表現形式参照）

【省略】可

【繰り返し設定】繰り返しあり．住所の種類あるいは，表記法が複数あれば繰り返す．

1.5.3.mmlHi:phones

【内容】下記の被保険電話番号を入れる親エレメント

【省略】可

1.5.3.1.mmlPh:Phone

【内容】電話番号．構造は MML 共通形式（電話番号表現形式参照）

【省略】可

【繰り返し設定】繰り返しあり．電話番号が複数あれば繰り返す．

1.6.mmlHi:continuedDiseases

【内容】継続疾患情報

【省略】省略可

1.6.1.mmlHi:diseases

【内容】継続適応疾患名

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．継続疾患が複数あれば繰り返す．

【例】糖尿病と高血圧

```
<mmlHi:continuedDiseases>
  <mmlHi:diseases>diabetes mellitus</mmlHi:diseases>
  <mmlHi:diseases>hypertension</mmlHi:diseases>
</mmlHi:continuedDiseases>
```

1.7.mmlHi:startDate

【内容】開始日（交付年月日）

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】不可

【例】

```
<mmlHi:startDate>1995-04-01</mmlHi:startDate>
```


1.8.mmlHi:expiredDate

【内容】有効期限

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】不可

【例】

```
<mmlHi:expiredDate>1999-09-30</mmlHi:expiredDate>
```

1.9.mmlHi:paymentInRatio

【内容】入院時の負担率 . 0[.0][0]? 1[.0][0] （例：3割負担ならば0.3）

【データ型】decimal

【省略】省略可

【例】負担率2割 .

```
<mmlHi:paymentInRatio>0.2</mmlHi:paymentInRatio>
```

1.10.mmlHi:paymentOutRatio

【内容】外来時の負担率 . 0[.0][0]? 1[.0][0] （例：3割負担ならば0.3）

【データ型】decimal

【省略】省略可

【例】負担率2割 .

```
<mmlHi:paymentOutRatio>0.2</mmlHi:paymentOutRatio>
```

1.11.mmlHi:insuredInfo

【内容】保険者情報

【省略】可

1.11.1.mmlHi:facility

【内容】下記の保険者情報を入れる親エレメント

【省略】可.

1.11.1.1.mmlFc:Facility

【内容】施設情報 . 構造は MML 共通形式（施設情報表現形式参照）

【省略】可

1.11.2. mmlHi:addresses

【内容】下記の保険者住所を入れる親エレメント

【省略】可

1.11.2.1.mmlAd:Address

【内容】住所．構造は MML 共通形式（住所表現形式参照）

【省略】可

【繰り返し設定】繰り返しあり．住所の種類あるいは，表記法が複数あれば繰り返す．

1.11.3.mmlHi:phones

【内容】下記の保険者電話番号を入れる親エレメント

【省略】可

1.11.3.1.mmlPh:Phone

【内容】電話番号．構造は MML 共通形式（電話番号表現形式参照）

【省略】可

【繰り返し設定】繰り返しあり．電話番号が複数あれば繰り返す．

1.12.mmlHi:workInfo

【内容】被保険者の所属する事業所情報

【省略】可

1.12.1.mmlHi:facility

【内容】下記の事業所情報を入れる親エレメント

【省略】可．

1.12.1.1.mmlFc:Facility

【内容】施設情報．構造は MML 共通形式（施設情報表現形式参照）

【省略】可

1.12.2.mmlHi:addresses

【内容】下記の事業所住所を入れる親エレメント

【省略】可

1.12.2.1.mmlAd:Address

【内容】住所．構造は MML 共通形式（住所表現形式参照）

【省略】可

【繰り返し設定】繰り返しあり．住所の種類あるいは，表記法が複数あれば繰り返す．

1.12.3.mmlHi:phones

【内容】下記の事業所電話番号を入れる親エレメント

【省略】可

1.12.3.1.mmlPh:Phone

【内容】電話番号．構造は MML 共通形式（電話番号表現形式参照）

【省略】可

【繰り返し設定】繰り返しあり．電話番号が複数あれば繰り返す．

1.13.mmlHi:publicInsurance

【内容】公費負担医療情報

【省略】省略可

1.13.1.mmlHi:publicInsuranceItem

【内容】公費負担

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．公費が複数あれば繰り返す．

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlHi:priority	string	#REQUIRED	複数公費の優先順位 1 から始まる整数

【例】

```
<mmlHi:publicInsuranceItem mmlHi:priority = "1">
```

1.13.1.1.mmlHi:providerName

【内容】公費負担名称

【データ型】string

【省略】可

1.13.1.2.mmlHi:provider

【内容】負担者番号

【データ型】string

【省略】不可

1.13.1.3.mmlHi:recipient

【内容】受給者番号

【データ型】 string

【省略】 不可

1.13.1.4.mmlHi:startDate

【内容】 開始日

【データ型】 date

【省略】 不可

1.13.1.5.mmlHi:expireDate

【内容】 有効期限

【データ型】 date

【省略】 不可

1.13.1.6.mmlHi:paymentRatio

【内容】 負担率または負担金

【データ型】 decimal

【省略】 可

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlHi:ratioType	String	#REQUIRED	MML0032	負担率または負担金

【例】

負担が定額 10,000 円の場合

```
<mmlHi:paymentRatio mmlHi:ratioType="fix">10000</mmlHi:paymentRatio>
```

負担が比率 5 %の場合

```
<mmlHi:paymentRatio mmlHi:ratioType="ratio">0.05</mmlHi:paymentRatio>
```

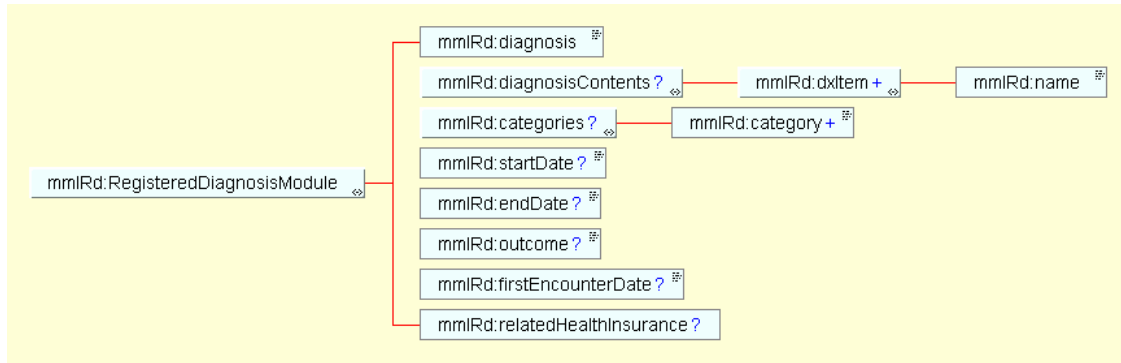
【例】

```
<mmlHi:publicInsurance>
  <mmlHi:publicInsuranceItem mmlHi:priority = "1">
    <mmlHi:providerName>公費</mmlHi:providerName>
    <mmlHi:provider>15450034</mmlHi:provider>
    <mmlHi:recipient>0009043</mmlHi:recipient>
    <mmlHi:startDate>1997-09-30</mmlHi:startDate>
    <mmlHi:expiredDate>1999-09-30</mmlHi:expiredDate>
    <mmlHi:paymentRatio mmlHi:RatioType="fix">10000</mmlHi:paymentRatio>
  </mmlHi:publicInsuranceItem>
</mmlHi:publicInsurance>
```

</mmlHi:publicInsurance>

診断履歴情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

```

xmlns:mmlRd="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/RegisteredDiagnosis/1.0
"
  
```

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlRd:RegisteredDiagnosisModule				
1.1.	mmlRd:diagnosis		string		
		mmlRd:code	string	#IMPLIED	
		mmlRd:system	string	#IMPLIED	
1.2.	mmlRd:diagnosisContents			?	
1.2.1.	mmlRd:dxiItem			+	
1.2.2.	mmlRd:name		string		
		mmlRd:code	string	#IMPLIED	
		mmlRd:system	string	#IMPLIED	
1.3.	mmlRd:categories			?	
1.3.1.	mmlRd:category		string	+	optional
		mmlRd:tableId	string	#REQUIRED	

1.4.	mmlRd:startDate	date	?	
1.5.	mmlRd:endDate	date	?	
1.6.	mmlRd:outcome	string	?	MML0016
1.7.	mmlRd:firstEncounterDate	date	?	
1.8.	mmlRd:relatedHealthInsurance		?	
	mmlRd:uid	string	#IMPLIED	

Occurrence なし：必ず1回出現，?：0回もしくは1回出現，+：1回以上出現，*：0回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlRd:RegisteredDiagnosisModule

【内容】診断履歴情報．一つのモジュールには一つの病名しか記載しない．病名が複数ある場合は，MML 基本構造の MmlBody の MmlModuleItem の繰り返して対応する．修飾語を含めて病名全体を格納する(1.1.)か，病名を，幹病名や修飾語の要素に分けて格納する(1.2.)か，どちらかを選択．

1.1.mmlRd:diagnosis

【内容】疾患名．修飾語を含めて病名全体を格納する．

【データ型】string

【省略】不可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlRd:code	string	#IMPLIED	疾患コード
mmlRd:system	string	#IMPLIED	疾患コード体系名

【例】colon carcinoid (ICD10 コード C189-.006)

```
<mmlRd:diagnosis mmlRd:code = " C189-.006" mmlRd:system = "ICD10">colon carcinoid</mmlRd:diagnosis>
```

1.2.mmlRd:diagnosisContents

【内容】病名を，幹病名や修飾語の要素に分けて格納する．上記とどちらか一方のみを選択．

【省略】省略可

1.2.1.mmlRd:dxItem

【内容】繰り返しのためのエレメント。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。要素の数だけ繰り返す。

1.2.2.mmlRd:name

【内容】疾患要素名

【データ型】string

【省略】不可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlRd:code	string	#IMPLIED	疾患コード
mmlRd:system	string	#IMPLIED	疾患コード体系名

【例】paroxysmal atrial fibrillation を paroxysmal と atrial fibrillation に分割記載。

```
<mmlRd:diagnosisContents>
```

```
  <mmlRd:dxItem >
```

```
    <mmlRd:name mmlRd:code = " I48-.004" mmlRd:system = "ICD10">
```

```
      atrial fibrillation
```

```
    </mmlRd:name>
```

```
  </mmlRd:dxItem>
```

```
  <mmlRd:dxItem >
```

```
    <mmlRd:name>paroxysmal</mmlRd:name>
```

```
  </mmlRd:dxItem>
```

```
</mmlRd:diagnosisContents>
```

1.3.mmlRd:categories

【内容】診断名の分類

【省略】省略可

1.3.1.mmlRd:category

【内容】分類名 .Table MML0012 から 0015 を使用。それぞれの分類の具体的運用法は、ユーザーが定義する。

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。分類の種類が複数あれば、繰り返す。

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
-----	------	----	----

mmlRd:tableId string #REQUIRED 分類の種類コード .

【例】当該診断名が、主病名かつ学術診断名かつ病理診断名かつ確定診断である場合 .

```
<mmlRd:categories>
  <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0012">mainDiagnosis</mmlRd:category>
  <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0013">academicDiagnosis</mmlRd:category>
  <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0014">pathologicalDiagnosis</mmlRd:category>
  <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0015">confirmedDiagnosis</mmlRd:category>
</mmlRd:categories>
```

1.4.mmlRd:startDate

【内容】疾患開始日

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】省略可

1.5.mmlRd:endDate

【内容】疾患終了日

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】省略可

1.6.mmlRd:outcome

【内容】転帰 . テーブル MML0016 を使用 .

【データ型】string

【省略】省略可

1.7.mmlRd:firstEncounterDate

【内容】疾患の初診日

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】省略可

1.8.mmlRd:relatedHealthInsurance

【内容】関連する健康保険情報 . EMPTY タグとし , 属性で関連する健康保険情報の文書 uid を記載する . 本エレメントは , mmlRd:RegisteredDiagnosisModule が , mmlSg:SurgeryModule や mmlSm:SummaryModule 内で用いられた場合にのみ使用する . mmlRd:RegisteredDiagnosisModule が単独の MML content として用いられた場合は , 関連する健康保険情報の文書 uid は , parentId (MML 基本構造 1.2.1.1.3.2.)に記載する .

【省略】省略可

【属性】

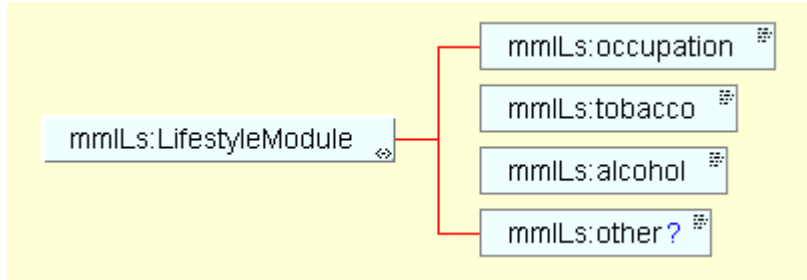
属性名	データ型	省略	説明
mmlRd:uid	string	#IMPLIED	疾患に関連する保険の mmlHi:HealthInsuranceModule の uid を記載する .

【例】

```
<mmlRd:relatedHealthInsurance mmlRd:uid = "0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"/>
```

生活習慣情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmls="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Lifestyle/1.0"

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmls:LifestyleModule				
1.1.	mmls:occupation		string		
1.2.	mmls:tobacco		string		
1.3.	mmls:alcohol		string		
1.4.	mmls:other		string	?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmls:LifestyleModule

【内容】生活習慣情報

1.1.mmls:occupation

【内容】職業

【データ型】string

【省略】不可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.mmls:tobacco

【内容】たばこ歴

【データ型】string

【省略】不可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.3.mmls:alcohol

【内容】飲酒歴

【データ型】string

【省略】不可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.4.mmls:other

【内容】その他の生活習慣．宗教，スポーツ歴など．

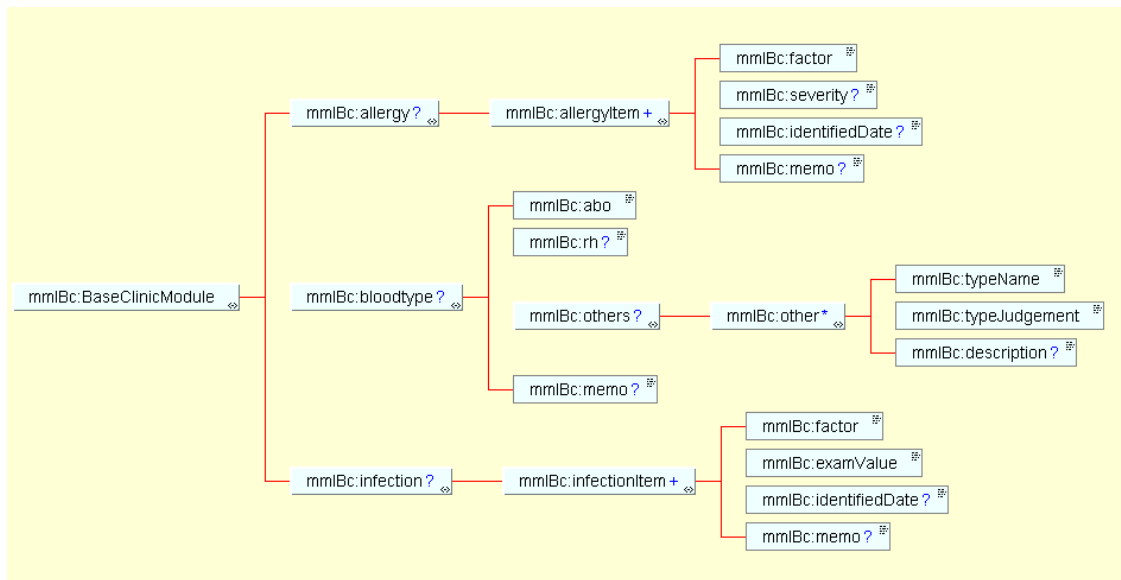
【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

基礎的診療情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmlBc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/BaseClinic/1.0"

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlBc:BaseClinicModule				
1.1.	mmlBc:allergy			?	
1.1.1.	mmlBc:allergyItem			+	
1.1.1.1.	mmlBc:factor		string		
1.1.1.2.	mmlBc:severity		string	?	MML0017
1.1.1.3.	mmlBc:identifiedDate		string	?	
1.1.1.4.	mmlBc:memo		string	?	
1.2.	mmlBc:bloodtype			?	
1.2.1.	mmlBc:abo		string		MML0018
1.2.2.	mmlBc:rh		string	?	MML0019

1.2.3.	mmlBc:others		?
1.2.3.1.	mmlBc:other		*
1.2.3.1.1.	mmlBc:typeName	string	
1.2.3.1.2.	mmlBc:typeJudgement	string	
1.2.3.1.3.	mmlBc:description	string	?
1.2.4.	mmlBc:memo	string	?
1.3.	mmlBc:infection		?
1.3.1.	mmlBc:infectionItem		+
1.3.1.1.	mmlBc:factor	string	
1.3.1.2.	mmlBc:examValue	string	
1.3.1.3.	mmlBc:identifiedDate	string	?
1.3.1.4.	mmlBc:memo	string	?

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlBc:BaseClinicModule

【内容】基礎的診療情報

1.1.mmlBc:allergy

【内容】アレルギー情報

【省略】省略可

1.1.1.mmlBc:allergyItem

【内容】繰り返しのためのエレメント。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。アレルギー項目が複数あれば繰り返す。

1.1.1.1.mmlBc:factor

【内容】アレルギー原因

【データ型】string

【省略】不可

1.1.1.2.mmlBc:severity

【内容】アレルギー反応程度。テーブル MML0017 を使用。

【データ型】 string

【省略】 省略可

1.1.1.3.mmlBc:identifiedDate

【内容】 アレルギー同定日．記載法を特に定めず，「幼少時」「およそ 20 年前」等の記述をしても良い．

【データ型】 string

【省略】 省略可

1.1.1.4.mmlBc:memo

【内容】 アレルギーメモ．特記事項など上記エレメントで記載できない情報を記載．

【データ型】 string

【省略】 省略可

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

【例】 およそ 20 年前より蟹に対して軽度のアレルギーがあるが，海老には特に反応がない場合

```
<mmlBc:allergyItem>
  <mmlBc:factor>crab</mmlBc:factor>
  <mmlBc:severity>mild</mmlBc:severity>
  <mmlBc:identifiedDate>since almost 20 years ago</mmlBc:identifiedDate>
  <mmlBc:memo>no reaction to shrimp</mmlBc:memo>
</mmlBc:allergyItem>
```

【例】 アレルギーに関して，特記事項がない場合

```
<mmlBc:allergyItem>
  <mmlBc:factor>nothing</mmlBc:factor>
  <mmlBc:memo>non-contributory</mmlBc:memo>
</mmlBc:allergyItem>
```

1.2.mmlBc:bloodtype

【内容】 血液型情報

【省略】 省略可

1.2.1.mmlBc:abo

【内容】 ABO 式血液型．テーブル MML0018 を使用．

【データ型】 string

【省略】 不可

1.2.2.mmlBc:rh

【内容】 Rho(D)式血液型 . テーブル MML0019 を使用 .

【データ型】 string

【省略】 省略可

1.2.3.mmlBc:others

【内容】 その他の血液型情報

【省略】 省略可

1.2.3.1.mmlBc:other

【内容】 その他の血液型

【省略】 省略可

【繰り返し設定】 繰り返しあり . その他の血液型が複数あれば繰り返す .

1.2.3.1.1.mmlBc:typeName

【内容】 血液型名称

【データ型】 string

【省略】 不可

1.2.3.1.2.mmlBc:typeJudgement

【内容】 血液型判定

【データ型】 string

【省略】 不可

1.2.3.1.3.mmlBc:description

【内容】 血液型注釈

【データ型】 string

【省略】 省略可

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

【例】

```
<mmlBc:other>  
  <mmlBc:typeName>MNS blood type</mmlBc:typeName>
```



```
<mmlBc:typeJudgement>MN</mmlBc:typeJudgement>  
<mmlBc:description>examination at 2 years ago </mmlBc:description>  
</mmlBc:other>
```

1.2.4.mmlBc:memo

【内容】メモ

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.3.mmlBc:infection

【内容】感染性情報

【省略】省略可

1.3.1.mmlBc:infectionItem

【内容】繰り返しのためのエレメント。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。感染要因が複数あれば繰り返す。

1.3.1.1.mmlBc:factor

【内容】感染性要因名

【データ型】string

【省略】不可

1.3.1.2.mmlBc:examValue

【内容】感染性要因検査値

【データ型】string

【省略】不可

1.3.1.3.mmlBc:identifiedDate

【内容】感染性要因同定日。記載法を特に定めず。

【データ型】string

【省略】省略可

1.3.1.4.mmlBc:memo

【内容】感染性要因メモ

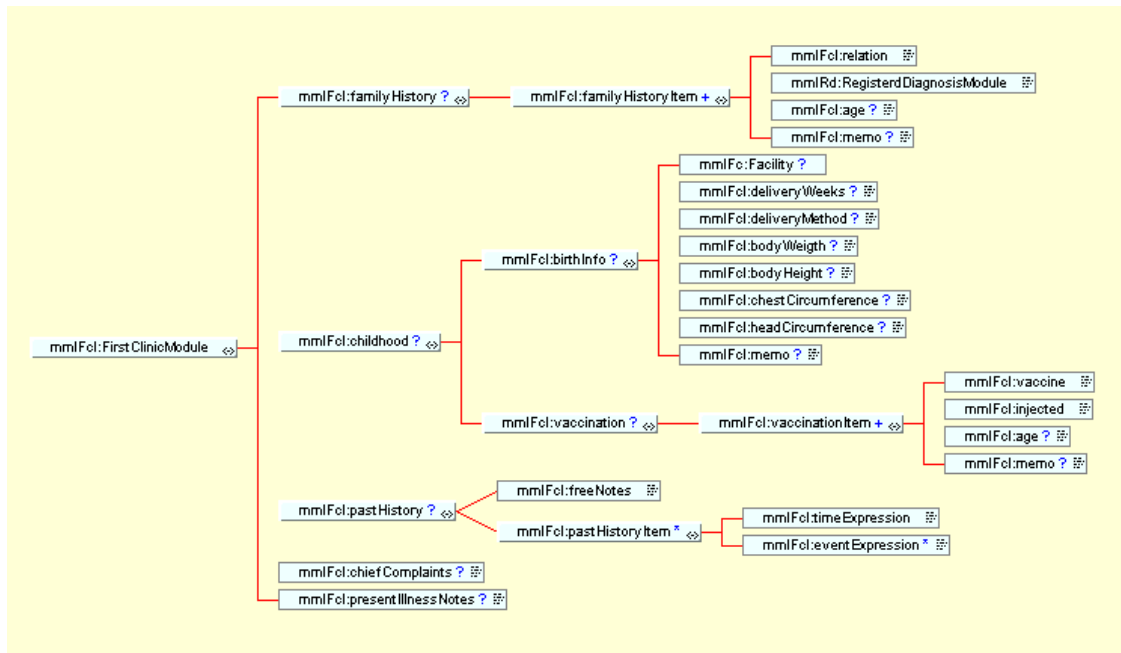
【データ型】 string

【省略】 省略可

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

初診時特有情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmlFcl="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0"

エレメント一覧表

Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1. mmlFcl:FirstClinicModule				
1.1. mmlFcl:familyHistory			?	
1.1.1. mmlFcl:familyHistoryItem			+	
1.1.1.1. mmlFcl:relation		string		MML0020
1.1.1.2. mmlRd:RegisteredDiagnosisModule				
1.1.1.3. mmlFcl:age		timePeriod	?	
1.1.1.4. mmlFcl:memo		string	?	
1.2. mmlFcl:childhood			?	

1.2.1.	mmIFcl:birthInfo		?
1.2.1.1.	mmIFc:Facility		?
1.2.1.2.	mmIFcl:deliveryWeeks	timePeriod	?
1.2.1.3.	mmIFcl:deliveryMethod	string	?
1.2.1.4.	mmIFcl:bodyWeight	decimal	?
		mmIFcl:unit	string #REQUIRED
1.2.1.5.	mmIFcl:bodyHeight	decimal	?
		mmIFcl:unit	string #REQUIRED
1.2.1.6.	mmIFcl:chestCircumference	decimal	?
		mmIFcl:unit	string #REQUIRED
1.2.1.7.	mmIFcl:headCircumference	decimal	?
		mmIFcl:unit	string #REQUIRED
1.2.1.8.	mmIFcl:memo	string	?
1.2.2.	mmIFcl:vaccination		?
1.2.2.1.	mmIFcl:vaccinationItem		+
1.2.2.1.1.	mmIFcl:vaccine	string	
1.2.2.1.2.	mmIFcl:injected	boolean	
1.2.2.1.3.	mmIFcl:age	timePeriod	?
1.2.2.1.4.	mmIFcl:memo	string	?
1.3.	mmIFcl:pastHistory		?
1.3.1.	mmIFcl:freeNotes	string	
1.3.2.	mmIFcl:pastHistoryItem		*
1.3.2.1.	mmIFcl:timeExpression	string	
1.3.2.2.	mmIFcl:eventExpression	string	*
1.4.	mmIFcl:chiefComplaints	string	?
1.5.	mmIFcl:presentIllnessNotes	string	?

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmIFcl:FirstClinicModule

【内容】初診時特有情報

1.1.mmIFcl:familyHistory

【内容】家族歴情報

【省略】省略可

1.1.1.mmlFcl:familyHistoryItem

【内容】繰り返しのためのエレメント

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．記載する家族が複数いれば繰り返す．さらに，一人の家族に複数の疾患がある場合も，繰り返す．

1.1.1.1.mmlFcl:relation

【内容】続柄コード．テーブル MML0020 を使用．

【データ型】string

【省略】不可

【例】義理の母親．（「義理の」関係の場合は，末尾に「InLaw」を追加する）

```
<mmlFcl:relation>motherInLaw</mmlFcl:relation>
```

1.1.1.2.mmlRd:RegisteredDiagnosisModule

【内容】疾患名情報．構造は，MML モジュール（診断履歴情報）を参照．

【省略】不可

【例】1989年8月25日に胃癌で死亡

```
<mmlRd:RegisteredDiagnosisModule>
  <mmlRd:diagnosis mmlRd:code = "C169.007"
    mmlRd:system = "ICD10">gastric cancer</mmlRd:diagnosis>
  <mmlRd:endDate>1989-08-25</mmlRd:endDate>
  <mmlRd:outcome>died</mmlRd:outcome>
</mmlRd:RegisteredDiagnosisModule>
```

1.1.1.3.mmlFcl:age

【内容】家族の疾患時年齢

【データ型】timePeriod 書式：PnYnMnDTnHnMnS

乳幼児を除き，通常は PnY で可．

【省略】省略可

【例】40 歳

```
<mmlFcl:age>P40Y</mmlFcl:age>
```

【例】生後 1 年 3 ヶ月

```
<mmlFcl:age>P1Y3M</mmlFcl:age>
```

【例】生後 3 ヶ月

```
<mmlFcl:age>P3M</mmlFcl:age>
```

1.1.1.4.mmlFcl:memo

【内容】メモ

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.mmlFcl:childhood

【内容】小児期情報

【省略】省略可

1.2.1.mmlFcl:birthInfo

【内容】出生時情報

【省略】省略可

1.2.1.1.mmlFc:Facility

【内容】出生施設。構造は、MML 共通形式（施設情報形式）参照。

【省略】省略可

1.2.1.2.mmlFcl:deliveryWeeks

【内容】分娩時週数。

【データ型】timePeriod 書式：PnW

【省略】省略可

【例】40 週

```
<mmlFcl:deliveryWeeks>P40W</mmlFcl:deliveryWeeks>
```

1.2.1.3.mmlFcl:deliveryMethod

【内容】分娩方法。記載法を特に定めない。

【データ型】string

【省略】省略可

【例】帝王切開

```
<mmlFcl:deliveryMethod>cesarean section</mmlFcl:deliveryMethod>
```

1.2.1.4.mmlFcl:bodyWeight

【内容】出生時体重

【データ型】decimal

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlFcl:unit	string	#REQUIRED	単位 .g もしくは kg

【例】3270 グラム

```
<mmlFcl:bodyWeight mmlFcl:unit = "g">3270</mmlFcl:bodyWeight>
```

1.2.1.5.mmlFcl:bodyHeight

【内容】出生時身長

【データ型】decimal

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlFcl:unit	string	#REQUIRED	単位 .cm もしくは m

1.2.1.6.mmlFcl:chestCircumference

【内容】出生時胸囲

【データ型】decimal

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlFcl:unit	string	#REQUIRED	単位 .cm

1.2.1.7.mmlFcl:headCircumference

【内容】出生時頭囲

【データ型】decimal

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlFcl:unit	string	#REQUIRED	単位 .cm

1.2.1.8.mmlFcl:memo

【内容】出生時メモ

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.2.mmlFcl:vaccination

【内容】予防接種情報

【省略】省略可

1.2.2.1.mmlFcl:vaccinationItem

【内容】繰り返しのためのエレメント

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．接種ワクチンが複数あれば繰り返す．

1.2.2.1.1.mmlFcl:vaccine

【内容】接種ワクチン名

【データ型】string

【省略】不可

1.2.2.1.2.mmlFcl:injected

【内容】実施状態．true：ワクチン接種，false：接種せず

【データ型】boolean

【省略】不可

1.2.2.1.3.mmlFcl:age

【内容】接種年齢

【データ型】timePeriod 書式：PnYnMnDTnHnMnS

通常は，PnYnM で可．

【省略】省略可

1.2.2.1.4.mmlFcl:memo

【内容】実施時メモ

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】ポリオを生後 6 ヶ月と 1 歳 6 ヶ月に 2 回投与．

```
<mmlFcl:vaccination>
```



```
<mmlFcl:vaccinationItem>
  <mmlFcl:vaccine>polio</mmlFcl:vaccine>
  <mmlFcl:injected>true</mmlFcl:injected>
  <mmlFcl:age>P6M</mmlFcl:age>
  <mmlFcl:memo>first administration</mmlFcl:memo>
</mmlFcl:vaccinationItem>
<mmlFcl:vaccinationItem>
  <mmlFcl:vaccine>polio</mmlFcl:vaccine>
  <mmlFcl:injected>true</mmlFcl:injected>
  <mmlFcl:age>P1Y6M</mmlFcl:age>
  <mmlFcl:memo>second administration</mmlFcl:memo>
</mmlFcl:vaccinationItem>
</mmlFcl:vaccination>
```

1.3.mmlFcl:pastHistory

【内容】既往歴情報．自由記載 (mmlFcl:freeNotes) とするか，時間表現併用 (mmlFcl:timeExpression と mmlFcl:eventExpression) とするかを選択

【省略】省略可

1.3.1.mmlFcl:freeNotes

【内容】自由文章表現．

【データ型】string

【省略】不可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.3.2.mmlFcl:pastHistoryItem

【内容】繰り返しのためのエレメント

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．既往歴として記載数項目が複数あれば繰り返す．

1.3.2.1.mmlFcl:timeExpression

【内容】時間表現．表現形式を特に定めない．

【データ型】string

【省略】不可

1.3.2.2.mmlFcl:eventExpression

【内容】時間表現に対応するイベント表現

【データ型】string

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり .一つの時間表現に複数のイベント表現があれば繰り返す .

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】既往歴自由記載の場合

```
<mmlFcl:pastHistory>
  <mmlFcl:freeNotes>
    Appendectomy (6 years old), hypertension (5 years ago)
  </mmlFcl:freeNotes>
</mmlFcl:pastHistory>
```

【例】既往歴時間表現 - イベント表現併記の場合

```
<mmlFcl:pastHistory>
  <mmlFcl:pastHistoryItem>
    <mmlFcl:timeExpression>6 years old</mmlFcl:timeExpression>
    <mmlFcl:eventExpression>appendectomy</mmlFcl:eventExpression>
  </mmlFcl:pastHistoryItem>
  <mmlFcl:pastHistoryItem>
    <mmlFcl:timeExpression>5 years ago (1994)</mmlFcl:timeExpression>
    <mmlFcl:eventExpression>hypertension</mmlFcl:eventExpression>
  </mmlFcl:pastHistoryItem>
</mmlFcl:pastHistory>
```

1.4.mmlFcl:chiefComplaints

【内容】主訴

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.5.mmlFcl:presentIllnessNotes

【内容】現病歴自由記載 .

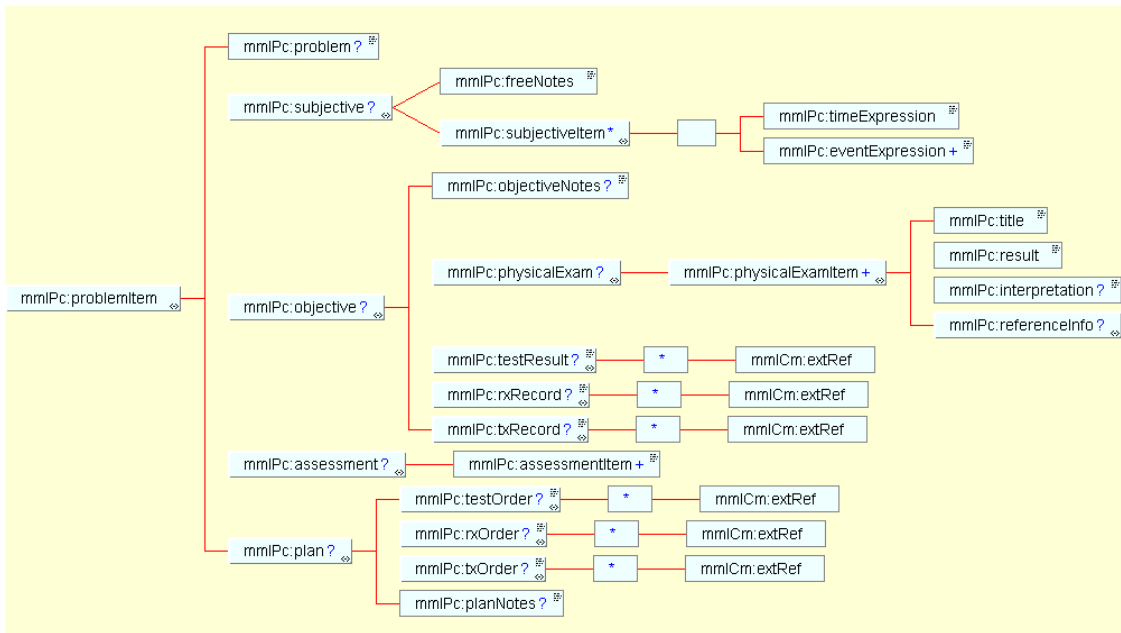
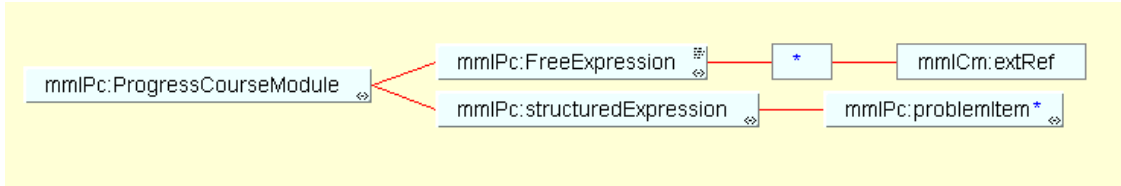
【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

経過記録情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmlPc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0"

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlPc:ProgressCourseModule				
1.1.	mmlPc:FreeExpression		string		
1.1.1.	mmlCm:extRef			*	

1.2.	mmlPc:structuredExpression			
1.2.1.	mmlPc:problemItem			*
1.2.1.1.	mmlPc:problem	string		?
		mmlPc:dxUid	string	#IMPLIED
1.2.1.2.	mmlPc:subjective			?
1.2.1.2.1.	mmlPc:freeNotes	string		
1.2.1.2.2.	mmlPc:subjectiveItem			*
1.2.1.2.2.1.	mmlPc:timeExpression	string		
1.2.1.2.2.2.	mmlPc:eventExpression	string		+
1.2.1.3.	mmlPc:objective			?
1.2.1.3.1.	mmlPc:objectiveNotes	string		?
1.2.1.3.2.	mmlPc:physicalExam			?
1.2.1.3.2.1.	mmlPc:physicalExamItem			+
1.2.1.3.2.1.1.	mmlPc:title	string		
1.2.1.3.2.1.2.	mmlPc:result	string		
1.2.1.3.2.1.3.	mmlPc:interpretation	string		?
1.2.1.3.2.1.4.	mmlPc:referenceInfo			?
1.2.1.3.2.1.4.1.	mmlCm:extRef			*
1.2.1.3.3.	mmlPc:testResult	string		?
1.2.1.3.3.1.	mmlCm:extRef			*
1.2.1.3.4.	mmlPc:rxRecord	string		?
1.2.1.3.4.1.	mmlCm:extRef			*
1.2.1.3.5.	mmlPc:txRecord	string		?
1.2.1.3.5.1.	mmlCm:extRef			*
1.2.1.4.	mmlPc:assessment			?
1.2.1.4.1.	mmlPc:assessmentItem	string		+
1.2.1.5.	mmlPc:plan			?
1.2.1.5.1.	mmlPc:testOrder	string		?
1.2.1.5.1.1.	mmlCm:extRef			*
1.2.1.5.2.	mmlPc:rxOrder	string		?
1.2.1.5.2.1.	mmlCm:extRef			*
1.2.1.5.3.	mmlPc:txOrder	string		?
1.2.1.5.3.1.	mmlCm:extRef			*
1.2.1.5.4.	mmlPc:planNotes	string		?

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性, #IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlPc:ProgressCourseModule

【内容】経過記録情報 . mmlPc:FreeExpression か mmlPc:structuredExpression のどちらかのみ選択 .

1.1.mmlPc:FreeExpression

【内容】経過記録の自由記載 . mmlCm:extRef との混在可能 .

【データ型】 string

【省略】 mmlPc:structuredExpression が選択された場合は省略可 .

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

1.1.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式 (外部参照形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 外部参照が複数あれば繰り返す .

1.2.mmlPc:structuredExpression

【内容】構造化された経過記録 .

【省略】 mmlPc:FreeExpression が選択された場合は省略可 .

1.2.1.mmlPc:problemItem

【内容】プロブレム

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . プロブレムが複数あれば繰り返す .

1.2.1.1.mmlPc:problem

【内容】プロブレム名

【データ型】 string

【省略】省略可

【属性】関連する診断名の uid を , 属性にて記載する .

属性名	データ型	省略	説明
mmlPc:dxUid	string	#IMPLIED	関連する mmlRd:RegisteredDiagnosisModule の uid を記載する .

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.2.mmlPc:subjective

【内容】S b j 情報 . 自由記載 (mmlPc:freeNotes) とするか , 時間表現併用 (mmlPc:timeExpression と mmlPc:eventExpression) とするか , どちらかのみを選択 .

【省略】省略可

1.2.1.2.1.mmlPc:freeNotes

【内容】自由文章表現 .

【データ型】string

【省略】mmlPc:timeExpression と mmlPc:eventExpression の組み合わせが選択されれば , 省略可 .

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】

```
<mmlPc:freeNotes>
  25-Aug-1999. AM.:Palpitation was felt early in the morning.
  25-Aug-1999. PM.: no palpitations.
</mmlPc:freeNotes>
```

1.2.1.2.2.mmlPc:subjectiveItem

【内容】繰り返しのためのエレメント

【省略】mmlPc:freeNotes が選択されれば省略可 .

【繰り返し設定】繰り返しあり . 時間表現 (1.2.1.2.2.1.) とイベント表現 (1.2.1.2.2.2.) のペアが複数ある場合 , 本エレメントの繰り返しで対応する .

1.2.1.2.2.1.mmlPc:timeExpression

【内容】時間表現 . 表現形式を特に定めない . (例 : 最近 , 数年前より , 小児期)

【データ型】string

【省略】不可

1.2.1.2.2.2.mmlPc:eventExpression

【内容】時間表現に対応するイベント表現

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 一つの時間表現に複数のイベント表現があれば繰り返す .

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】 1.2.1.2.1.mmlPc:freeNotes と同じ内容を，構造化．

```
<mmlPc:subjectiveItem>
```

```
  <mmlPc:timeExpression>
```

```
    25-Aug-1999. AM.
```

```
  </mmlPc:timeExpression>
```

```
  <mmlPc:eventExpression>
```

```
    Palpitation was felt early in the morning.
```

```
  </mmlPc:eventExpression>
```

```
</mmlPc:subjectiveItem>
```

```
<mmlPc:subjectiveItem>
```

```
  <mmlPc:timeExpression>
```

```
    25-Aug-1999. PM.
```

```
  </mmlPc:timeExpression>
```

```
  <mmlPc:eventExpression>
```

```
    No palpitations.
```

```
  </mmlPc:eventExpression>
```

```
</mmlPc:subjectiveItem>
```

1.2.1.3.mmlPc:objective

【内容】 O b j 情報

【省略】 省略可

1.2.1.3.1.mmlPc:objectiveNotes

【内容】 自由記載の Objectives

【データ型】 string

【省略】 省略可

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

1.2.1.3.2.mmlPc:physicalExam

【内容】 身体所見情報

【省略】 省略可

1.2.1.3.2.1.mmlPc:physicalExamItem

【内容】 身体所見

【省略】 不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．下記エレメント（1.2.1.3.2.1.1.から 1.2.1.3.2.1.4.1.）の組み合わせが，複数ある場合に，本エレメントを繰り返す．

1.2.1.3.2.1.1.mmlPc:title

【内容】所見項目名

【データ型】string

【省略】不可

1.2.1.3.2.1.2.mmlPc:result

【内容】身体所見結果

【データ型】string

【省略】不可

1.2.1.3.2.1.3.mmlPc:interpretation

【内容】身体所見結果解釈

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.3.2.1.4.mmlPc:referenceInfo

【内容】外部参照

【省略】省略可

1.2.1.3.2.1.4.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照が複数あれば繰り返す．

1.2.1.3.3.mmlPc:testResult

【内容】検査結果．mmlCm:extRef との混在可能．

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.3.3.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照が複数あれば繰り返す．

1.2.1.3.4.mmlPc:rxRecord

【内容】処方実施記録．mmlCm:extRef との混在可能．

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.3.4.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照が複数あれば繰り返す．

1.2.1.3.5.mmlPc:txRecord

【内容】処置実施記録．mmlCm:extRef との混在可能．

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.3.5.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照が複数あれば繰り返す．

1.2.1.4.mmlPc:assessment

【内容】アセスメント情報

【省略】省略可

1.2.1.4.1.mmlPc:assessmentItem

【内容】アセスメント．

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．個々のアセスメントの数だけ繰り返す．

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.5.mmlPc:plan

【内容】プラン情報

【省略】省略可

1.2.1.5.1.mmlPc:testOrder

【内容】検査オーダー . mmlCm:extRef との混在可能 .

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.5.1.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式 (外部参照形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 外部参照が複数あれば繰り返す .

1.2.1.5.2.mmlPc:rxOrder

【内容】処方オーダー . mmlCm:extRef との混在可能 .

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.5.2.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式 (外部参照形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 外部参照が複数あれば繰り返す .

1.2.1.5.3.mmlPc:txOrder

【内容】治療処置オーダー . mmlCm:extRef との混在可能 .

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.1.5.3.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式 (外部参照形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 外部参照が複数あれば繰り返す .

1.2.1.5.4.mmlPc:planNotes

【内容】方針自由記載 .

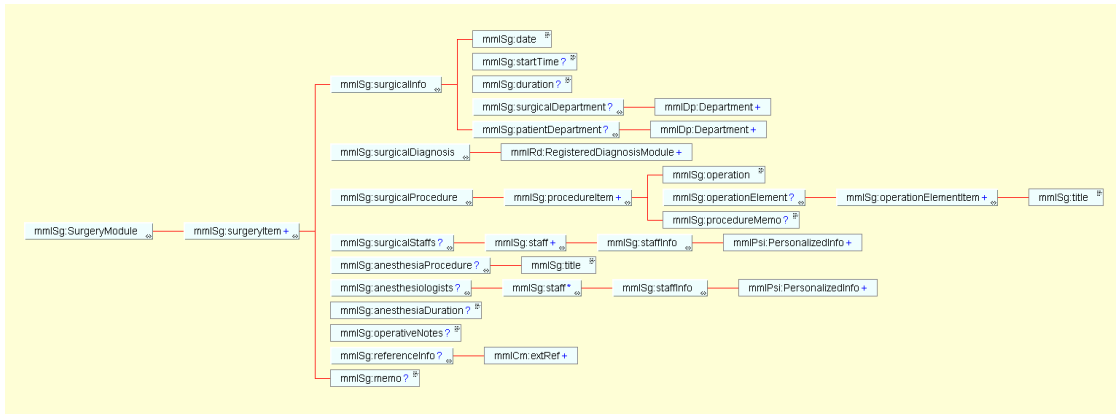
【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

手術記録情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmlSg="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Surgery/1.0"

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlSg:SurgerModule				
1.1.	mmlSg:surgeryItem			+	
1.1.1.	mmlSg:surgicalInfo				
		mmlSg:type	string	#IMPLIED	MML0021
1.1.1.1.	mmlSg:date		date		
1.1.1.2.	mmlSg:startTime		time	?	
1.1.1.3.	mmlSg:duration		timePeriod	?	
1.1.1.4.	mmlSg:surgicalDepartment			?	
1.1.1.4.1.	mmlDp:Department				
1.1.1.5.	mmlSg:patientDepartment			?	
1.1.1.5.1.	mmlDp:Department				
1.1.2.	mmlSg:surgicalDiagnosis				

1.1.2.1.	mmlRd:RegisteredDiagnosisModule				+	
1.1.3.	mmlSg:surgicalProcedure					
1.1.3.1.	mmlSg:procedureItem				+	
1.1.3.1.1.	mmlSg:operation		string			
		mmlSg:code	string		#IMPLIED	
		mmlSg:system	string		#IMPLIED	
1.1.3.1.2.	mmlSg:operationElement				?	
1.1.3.1.2.1.	mmlSg:operationElementItem				+	
1.1.3.1.2.1.1.	mmlSg:title		string			
		mmlSg:code	string		#IMPLIED	
		mmlSg:system	string		#IMPLIED	
1.1.3.1.3.	mmlSg:procedureMemo		string		?	
1.1.4.	mmlSg:surgicalStaffs				?	
1.1.4.1.	mmlSg:staff				+	
		mmlSg:staffClass	string		#IMPLIED	MML0022
		mmlSg:superiority	integer		#IMPLIED	
1.1.4.1.1.	mmlSg:staffInfo					
1.1.4.1.1.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo					
1.1.5.	mmlSg:anesthesiaProcedure				?	
1.1.5.1.	mmlSg:title		string		+	
		mmlSg:code	string		#IMPLIED	
		mmlSg:system	string		#IMPLIED	
1.1.6.	mmlSg:anesthesiologists				?	
1.1.6.1.	mmlSg:staff				*	
		mmlSg:staffClass	string		#IMPLIED	MML0023
		mmlSg:superiority	integer		#IMPLIED	
1.1.6.1.1.	mmlSg:staffInfo					
1.1.6.1.1.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo					
1.1.7.	mmlSg:anesthesiaDuration		timePeriod		?	
1.1.8.	mmlSg:operativeNotes		string		?	
1.1.9.	mmlSg:referenceInfo				?	
1.1.9.1.	mmlCm:extRef				+	
1.1.10.	mmlSg:memo		string		?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlSg:SurgeryModule

【内容】手術記録情報。手術の粒度と繰り返しに注意されたい。実施日の明らかに異なる別個の手術は、MML 基本構造の MmlBody の MmlModuleItem の繰り返しで対応する。ほぼ同時期に行った一連の一回の手術を、一つの mmlSg:SurgeryModule で記載する。一連の一回の手術で、複数の手術を施行した場合は、mmlSg:surgeryItem (1.1.) の繰り返しで対応する。

1.1.mmlSg:surgeryItem

【内容】一連の一回の手術において、個々の手術を入れるためのエレメント。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。一連の一回の手術に複数の手術を行った場合に繰り返す。
(例：肺葉切除術と腹部大動脈瘤人工血管置換術を同時に行った場合は別の mmlSg:surgeryItem に記載する)

1.1.1.mmlSg:surgicalInfo

【内容】手術ヘッダ情報

【省略】不可

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlSg:type	string	#IMPLIED	MML0021	手術の種類コード

【例】待期手術の場合

```
<mmlSg:surgicalInfo mmlSg:type = " elective ">
```

1.1.1.1.mmlSg:date

【内容】手術施行日

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】不可

1.1.1.2.mmlSg:startTime

【内容】手術開始時刻

【データ型】time 書式：hh:mm:ss

通常は、時分 (hh:mm) に省略してよい。

【省略】省略可

【例】

```
<mmlSg:startTime>08:30</mmlSg:startTime>
```

1.1.1.3.mmlSg:duration

【内容】手術時間

【データ型】timePeriod 書式：PnYnMnDTnHnMnS

通常は，PTnHnM とする．

【省略】省略可

【例】5 時間 25 分

```
<mmlSg:duration>PT5H25M</mmlSg:duration>
```

1.1.1.4.mmlSg:surgicalDepartment

【内容】手術実施診療科情報

【省略】省略可

1.1.1.4.1.mmlDp:Department

【内容】手術実施診療科．構造は MML 共通形式参照．

【省略】不可

1.1.1.5.mmlSg:patientDepartment

【内容】患者診療科情報．手術実施診療科と異なることもあるため，患者診療科を記載できるようにしている．

【省略】省略可

1.1.1.5.1.mmlDp:Department

【内容】手術時に患者の所属していた診療科．構造は MML 共通形式参照．

【省略】不可

【例】内科（ID 01）に所属している場合

```
<mmlDp:Department>
  <mmlDp:name mmlDp:repCode = "A" mmlDp:tableId = "MML0025">
    Internal medicine
  </mmlDp:name>
  <mmlCm:Id mmlCm:type = "medical" mmlCm:tableId = "MML0029">01</mmlCm:Id>
</mmlDp:Department>
```

1.1.2.mmlSg:surgicalDiagnosis

【内容】術後診断名情報。癌取り扱い規約など，外科特有の診断名を考慮し，mmlRd:RegisteredDiagnosisModule と別個に記載可能とする。但し，構造は同じとする。

【省略】不可

1.1.2.1.mmlRd:RegisteredDiagnosisModule

【内容】構造は上記参照。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。術後診断名が複数あれば繰り返す。

【例】右上葉肺癌

```
<mmlSg:surgicalDiagnosis>
  <mmlRd:RegisteredDiagnosisModule>
    <mmlRd:diagnosisContents>
      <mmlRd:dxItem >
        <mmlRd:name mmlRd:code = " C349-007" mmlRd:system = "ICD10">
          Lung cancer
        </mmlRd:name>
      </mmlRd:dxItem>
      <mmlRd:dxItem >
        <mmlRd:name>right</mmlRd:name>
      </mmlRd:dxItem>
      <mmlRd:dxItem >
        <mmlRd:name>upper lobe</mmlRd:name>
      </mmlRd:dxItem>
    </mmlRd:diagnosisContents>
    <mmlRd:categories>
      <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0012">mainDiagnosis</mmlRd:category>
      <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0013">academicDiagnosis</mmlRd:category>
      <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0014">operativeDiagnosis</mmlRd:category>
      <mmlRd:category mmlRd:tableId = "MML0015">confirmedDiagnosis</mmlRd:category>
    </mmlRd:categories>
  </mmlRd:RegisteredDiagnosisModule>
</mmlSg:surgicalDiagnosis>
```

1.1.3.mmlSg:surgicalProcedure

【内容】手術法情報

【省略】不可

1.1.3.1.mmlSg:procedureItem

【内容】手術法の繰り返しを表現するためのエレメント。一つの mmlSg:procedureItem 内では、修飾語を含めて全体表記（1.1.3.1.1.）するか、手術法の要素分割表記（1.1.3.1.2.）とするかどちらか一方のみを選択。

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり。一つの手術に複数の術式を用いた場合に繰り返す。（例：冠動脈バイパス術と人工心肺術）

1.1.3.1.1.mmlSg:operation

【内容】手術法。修飾語を含めて全体表記。

【データ型】string

【省略】要素分割表記（1.1.3.1.2.）が選択されれば、省略可。

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSg:code	string	#IMPLIED	手術法コード
mmlSg:system	string	#IMPLIED	手術法コード体系名

【例】冠動脈バイパス術と人工心肺術

```
<mmlSg:surgicalProcedure>
  <mmlSg:procedureItem>
    <mmlSg:operation>coronary artery bypass grafting</mmlSg:operation>
  </mmlSg:procedureItem>
  <mmlSg:procedureItem>
    <mmlSg:operation>cardio-pulmonary bypass</mmlSg:operation>
  </mmlSg:procedureItem>
</mmlSg:surgicalProcedure>
```

1.1.3.1.2.mmlSg:operationElement

【内容】手術法の要素分割表記。

例：右乳房切断術を，右と乳房切断術に分割

例：冠動脈 3 枝バイパス術を，冠動脈バイパス術と 3 枝バイパスに分割

【省略】修飾語を含めた全体表記（1.1.3.1.1.）が選択されれば省略可。

1.1.3.1.2.1.mmlSg:operationElementItem

【内容】要素の繰り返しを表現するためのエレメント

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．要素の数だけ繰り返す．

1.1.3.1.2.1.1.mmlSg:title

【内容】分割された手術要素名

【データ型】string

【省略】不可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSg:code	string	#IMPLIED	手術法コード
mmlSg:system	string	#IMPLIED	手術法コード体系名

1.1.3.1.3.mmlSg:procedureMemo

【内容】手術法に関する追加事項

【データ型】string

【省略】省略可

【例】冠動脈バイパス術，3 枝バイパス

および，人工心肺術，逆行性血液冠灌流（無輸血）

```
<mmlSg:surgicalProcedure>
  <mmlSg:procedureItem>
    <mmlSg:operationElement>
      <mmlSg:operationElementItem>
        <mmlSg:title> coronary artery bypass grafting </mmlSg:title>
      </mmlSg:operationElementItem>
      <mmlSg:operationElementItem>
        <mmlSg:title>3 vessels (LIMA to LAD, SVGs to #9, #12) </mmlSg:title>
      </mmlSg:operationElementItem>
    </mmlSg:operationElement>
  </mmlSg:procedureItem>
  <mmlSg:procedureItem>
    <mmlSg:operationElement>
      <mmlSg:operationElementItem>
        <mmlSg:title> cardio-pulmonary bypass</mmlSg:title>
```

```

        </mmlSg:operationElementItem>
        <mmlSg:operationElementItem>
            <mmlSg:title> retrograde blood cardioplegia</mmlSg:title>
        </mmlSg:operationElementItem>
    </mmlSg:operationElement>
    <mmlSg:procedureMemo>no blood transfusion </mmlSg:procedureMemo>
</mmlSg:procedureItem>
</mmlSg:surgicalProcedure>

```

1.1.4.mmlSg:surgicalStaffs

【内容】麻酔を除く手術スタッフの情報

【省略】省略可

1.1.4.1.mmlSg:staff

【内容】繰り返しのためのエレメント

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．スタッフの数だけ繰り返す．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlSg:staffClass	string	#IMPLIED	MML0022	手術スタッフ区分
mmlSg:superiority	integer	#IMPLIED		序列

序列とは、「第 1」助手、「第 2」助手などの順位のことである．整数で表示する．

【例】第 1 助手

```
<mmlSg:staff mmlSg:superiority = "1" mmlSg:staffClass = "assistant">
```

1.1.4.1.1.mmlSg:staffInfo

【内容】スタッフ ID 情報．

【省略】不可

1.1.4.1.1.1.mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】個人識別情報．構造は上記 mmlPsi:PersonalizedInfo 参照．

【省略】不可

1.1.5.mmlSg:anesthesiaProcedure

【内容】麻酔法名情報

【省略】省略可

1.1.5.1.mmlSg:title

【内容】麻酔法名

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．麻酔法が複数あれば繰り返す．

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSg:code	string	#IMPLIED	麻酔法名コード
mmlSg:system	string	#IMPLIED	麻酔法名コード体系名

【例】全身麻酔，気管内挿管，G+O+Ethrane 麻酔

```
<mmlSg:anesthesiaProcedure>
  <mmlSg:title>general anesthesia</mmlSg:title>
  <mmlSg:title>tracheal intubation </mmlSg:title>
  <mmlSg:title>G+O+Ethrane</mmlSg:title>
</mmlSg:anesthesiaProcedure>
```

1.1.6.mmlSg:anesthesiologists

【内容】麻酔医情報

【省略】不可

1.1.6.1.mmlSg:staff

【内容】麻酔医

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．麻酔医が複数いれば繰り返す．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlSg:staffClass	string	#IMPLIED	MML0023	麻酔医区分
mmlSg:superiority	integer	#IMPLIED		序列

1.1.6.1.1.mmlSg:staffInfo

【内容】麻酔医 ID 情報．

【省略】不可

1.1.6.1.1.1.mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】個人識別情報．構造は上記 mmlPsi:PersonalizedInfo 参照．

【省略】不可

1.1.7.mmlSg:anesthesiaDuration

【内容】麻酔時間

【データ型】timePeriod 書式：PnYnMnDTnHnMnS

通常は，PTnHnM とする．

【省略】省略可

【例】6 時間 25 分

```
<mmlSg:anesthesiaDuration>PT6H25M </mmlSg:anesthesiaDuration>
```

1.1.8.mmlSg:operativeNotes

【内容】手術記録の自由文章表現．

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.1.9.mmlSg:referenceInfo

【内容】手術記録に用いる図や写真を外部参照

【省略】省略可

1.1.9.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照が複数あれば，数だけ繰り返す．

【例】手術記録図（図 1．皮膚切開）

```
<mmlSg:referenceInfo>
  <mmlCm:extRef mmlCm:contentType = "image/gif"
    mmlCm:medicalRole = " surgicalFigure "
    mmlCm:title = "Fig1. Skin incision"
    mmlCm:href = "patient001/surgicalFigure001.gif"/>
</mmlSg:referenceInfo>
```

1.1.10.mmlSg:memo

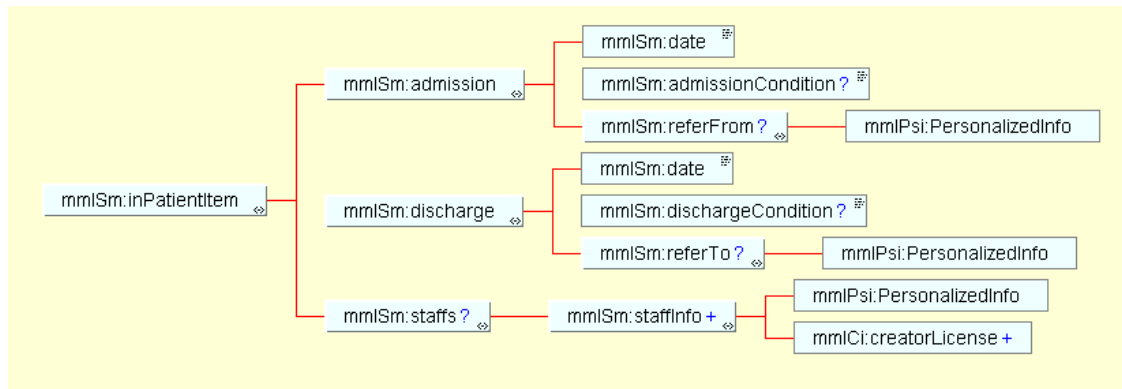
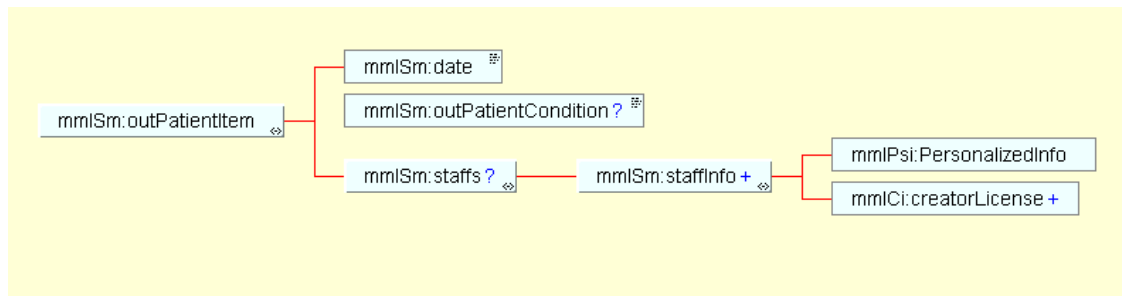
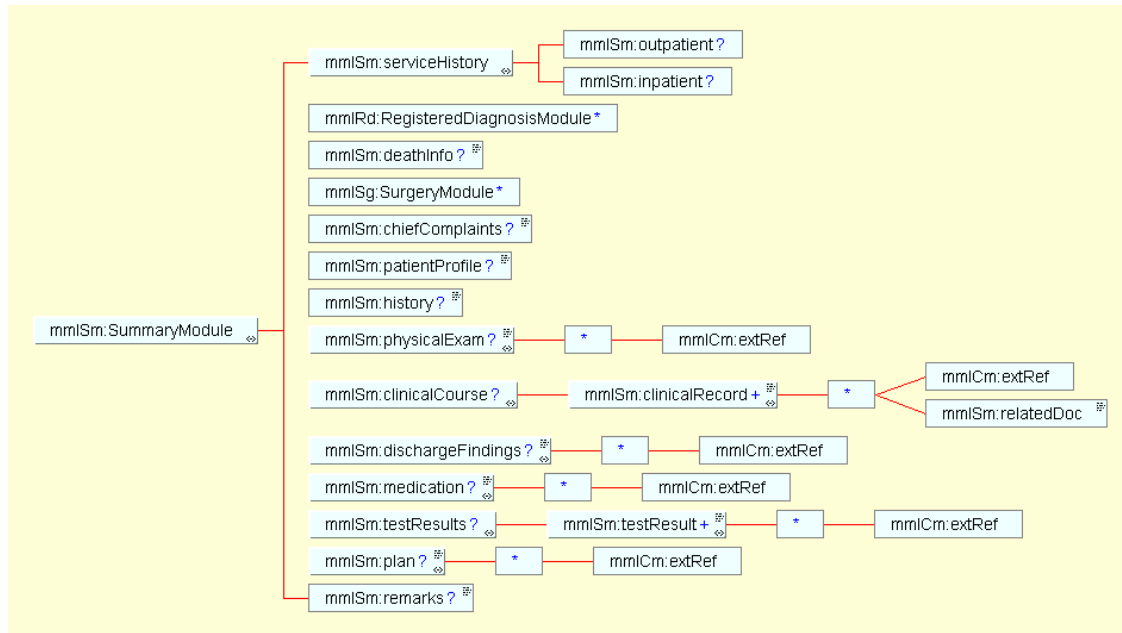
【内容】手術に関する追加事項．

【データ型】 string

【省略】 省略可

臨床サマリー情報モジュール

エレメント構造図



namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

xmlns:mmlSm="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Summary/1.0"

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlSm:SummaryModule				
1.1.	mmlSm:serviceHistory				
		mmlSm:start	date	#IMPLIED	
		mmlSm:end	date	#IMPLIED	
1.1.1.	mmlSm:outPatient			?	
1.1.1.1.	mmlSm:outPatientItem			*	
1.1.1.1.1.	mmlSm:date		date		
1.1.1.1.2.	mmlSm:outPatientCondition		string	?	
		mmlSm:first	boolean	#IMPLIED	
		mmlSm:emergency	boolean	#IMPLIED	
1.1.1.1.3.	mmlSm:staffs			?	
1.1.1.1.3.1.	mmlSm:staffInfo			+	
1.1.1.1.3.1.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo				
1.1.1.1.3.1.2.	mmlCi:creatorLicense			+	
1.1.2.	mmlSm:inPatient			?	
1.1.2.1.	mmlSm:inPatientItem			*	
1.1.2.1.1.	mmlSm:admission				
1.1.2.1.1.1.	mmlSm:date		date		
1.1.2.1.1.2.	mmlSm:admissionCondition		string	?	
		mmlSm:emergency	boolean	#IMPLIED	
1.1.2.1.1.3.	mmlSm:referFrom			?	
1.1.2.1.1.3.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo				
1.1.2.1.2.	mmlSm:discharge				
1.1.2.1.2.1.	mmlSm:date		date		
1.1.2.1.2.2.	mmlSm:dischargeCondition		string	?	
		mmlSm:outcome	string	#IMPLIED	MML0016
1.1.2.1.2.3.	mmlSm:referTo			?	

1.1.2.1.2.3.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo				
1.1.2.1.3.	mmlSm:staffs			?	
1.1.2.1.3.1.	mmlSm:staffInfo			+	
1.1.2.1.3.1.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo				
1.1.2.1.3.1.2.	mmlCi:creatorLicense			+	
1.2.	mmlRd:RegisteredDiagnosisModule			*	
1.3.	mmlSm:deathInfo			?	
		mmlSm:date	date/dateTime	#IMPLIED	
		mmlSm:autopsy	boolean	#IMPLIED	
1.4.	mmlSg:SurgeryModule			*	
1.5.	mmlSm:chiefComplaints		string	?	
1.6.	mmlSm:patientProfile		string	?	
1.7.	mmlSm:history		string	?	
1.8.	mmlSm:physicalExam		string	?	
1.8.1.	mmlCm:extRef			*	
1.9.	mmlSm:clinicalCourse			?	
1.9.1.	mmlSm:clinicalRecord		string	+	
		mmlSm:date	date/dateTime	#IMPLIED	
1.9.1.1.	mmlCm:extRef			*	
1.9.1.2.	mmlSm:relatedDoc		string	*	
		mmlSm:relation	string	#IMPLIED	MML0008
1.10.	mmlSm:dischargeFindings		string	?	
1.10.1.	mmlCm:extRef			*	
1.11.	mmlSm:medication		string	?	
1.11.1.	mmlCm:extRef			*	
1.12.	mmlSm:testResults			?	
1.12.1.	mmlSm:testResult		string	+	
		mmlSm:date	date/dateTime	#IMPLIED	
1.12.1.1.	mmlCm:extRef			*	
1.13.	mmlSm:plan		string	?	
1.13.1.	mmlCm:extRef			*	
1.14.	mmlSm:remarks		string	?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

運用

臨床サマリー情報は、多くの情報の集合体（臨床経過、患者情報、病名、手術など）である。集合体を構築する方法としては、次のものがある。

構築法 1：病名、手術は、外部参照やリンクではなく、mmlSm:SummaryModule 内に記載することができる。

構築法 2：外部参照やリンクを用いず、mmlSm:SummaryModule および関連モジュール（患者情報、病名、手術など）を、MmlModuleItem の繰り返しにより、一つの MML インスタンスとしてまとめることができる。この場合、extractPolicy（MML 基本構造 1.1.4.scopePeriod 内にあり）に summary と記載し、全体としてサマリー情報であることを明確にしておく。

構築法 3：MML の groupId による文書間関連付け機能を用いる。すなわち、mmlSm:SummaryModule を含む関連モジュール（他に患者情報、病名、手術など）の groupId に同一の uid を記載する。一つの MML インスタンスとしてまとめる必要はない。groupId の属性 groupClass に該当する文書詳細種別を記載する。

構築法 3 が最も推奨される。構築法 1 により、mmlSm:SummaryModule 内に記載された病名や手術の情報は、検索、再利用の対象となりにくいこと、構築法 2 では、モジュール単位での管理が難しいことなどの理由による。構築法 3 では、病名や手術を独立したモジュールとして扱っているために、検索や再利用の対象としやすく、groupId により、モジュール単位で情報を管理していても、関連付けを失うことがない。

エレメント解説

1.mmlSm:SummaryModule

【内容】臨床経過サマリー情報

1.1.mmlSm:serviceHistory

【内容】期間情報。本モジュールは、対象を必ずしも一回の入院に限定していない。複数入院、複数外来、および両者の組み合わせを対象とすることもできる。

【省略】不可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSm:start	date	#IMPLIED	サマリー対象期間の開始日。
mmlSm:end	date	#IMPLIED	サマリー対象期間の終了日。

通常は、start、end (MML 基本構造 1.2.1.1.4.confirmDate の属性) と同じ値をとる。

【例】

```
<mmlSm:serviceHistory mmlSm:start = "1999-08-25" mmlSm:end = "1999-08-31">
```

【例】一年間のサマリー

```
<mmlSm:serviceHistory mmlSm:start = "1998-01-01" mmlSm:end = "1998-12-31">
```

1.1.1.mmlSm:outPatient

【内容】外来受診歴情報

【省略】省略可

1.1.1.1.mmlSm:outPatientItem

【内容】個々の外来受診歴

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり。外来受診が複数あれば繰り返す。

1.1.1.1.1.mmlSm:date

【内容】外来受診日

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】不可

【例】8月25日，外来受診

```
<mmlSm:date>1999-08-25</mmlSm:date>
```

1.1.1.1.2.mmlSm:outPatientCondition

【内容】外来受診状態。

【データ型】string

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSm:first	boolean	#IMPLIED	初診 .true 初診 ,false 再診
mmlSm:emergency	boolean	#IMPLIED	救急受診 .true 救急 ,false 通常

【例】初診，緊急受診の場合

```
<mmlSm:outPatientCondition mmlSm:first = "true" mmlSm:emergency = "true">
```

10A.M.the patient was put into the ambulance on a stretcher and driven to our hospital.

```
</mmlSm:outPatientCondition>
```

1.1.1.1.3.mmlSm:staffs

【内容】患者担当スタッフ情報

【省略】省略可

1.1.1.1.3.1.mmlSm:staffInfo

【内容】外来担当スタッフ .

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 担当スタッフが複数いれば繰り返す .

1.1.1.1.3.1.1.mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】個人情報 . 構造は MML 共通形式参照 .

【省略】不可

1.1.1.1.3.1.2.mmlCi:creatorLicense

【内容】スタッフの資格

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 資格が複数ある場合に繰り返す .

1.1.2.mmlSm:inPatient

【内容】入院暦情報

【省略】不可

1.1.2.1.mmlSm:inPatientItem

【内容】個々の入院暦 . 繰り返しにより , 複数入院 , 一入院における転棟 , 転科を記載可能 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 入院が複数あれば繰り返す .

1.1.2.1.1.mmlSm:admission

【内容】入院

【省略】不可

1.1.2.1.1.1.mmlSm:date

【内容】入院 (転入) 日

【データ型】date 書式 : CCYY-MM-DD

【省略】不可

【例】1999年8月27日，入院

```
<mmlSm:date>1999-8-27</mmlSm:date>
```

1.1.2.1.1.2.mmlSm:admissionCondition

【内容】入院時状態

【データ型】string

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSm:emergency	boolean	#IMPLIED	緊急入院 .true 緊急入院 ,false 通常

【例】救急車にて緊急入院

```
<mmlSm:admissionCondition mmlSm:emergency = "true">
    Emergency admission by ambulance
</mmlSm:admissionCondition>
```

1.1.2.1.1.3.mmlSm:referFrom

【内容】紹介元情報

【省略】省略可

1.1.2.1.1.3.1.mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】構造は MML 共通形式参照 .

【省略】不可

【例】新世紀医科大学内科小野洋子医師からの紹介

```
<mmlSm:referFrom>
  <mmlPsi:PersonalizedInfo>
    <mmlCm:Id mmlCm:type = "facility" mmlCm:tableId = "MML0024">
      23234567</mmlCm:Id>
    <mmlPsi:personName>
      <mmlNm:Name mmlNm:repCode = "A" mmlNm:tableId = "MML0025">
        <mmlNm:family>Ono</mmlNm:family>
        <mmlNm:given>Yoko</mmlNm:given>
        <mmlNm:degree>M.D.</mmlNm:degree>
      </mmlNm:Name>
    </mmlPsi:personName>
    <mmlFc:Facility>
```

```

<mmlFc:name mmlFc:repCode = "A" mmlFc:tableId = "MML0025">
  New Millenium Medical College Hospital</mmlFc:name>
  <mmlCm:Id mmlCm:type = "insurance" mmlCm:tableId = "MML0027">
    801.006.3</mmlCm:Id>
</mmlFc:Facility>
<mmlDp:Department>
  <mmlDp:name mmlDp:repCode = "A"
    mmlDp:tableId = "MML0025"> Internal medicine </mmlDp:name>
  <mmlCm:Id mmlCm:type = "medical" mmlCm:tableId = "MML0029">01</mmlCm:Id>
</mmlDp:Department>
</mmlPsi:PersonalizedInfo>
</mmlSm:referFrom>

```

1.1.2.1.2.mmlSm:discharge

【内容】退院

【省略】不可

1.1.2.1.2.1.mmlSm:date

【内容】退院（転出）日

【データ型】date 書式：CCYY-MM-DD

【省略】不可

【例】1999年8月31日，退院

```

<mmlSm:date>1999-08-31</mmlSm:date>

```

1.1.2.1.2.2.mmlSm:dischargeCondition

【内容】退院時状態

【データ型】string

【省略】省略可

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlSm:outcome	string	#IMPLIED	MML0016	退院時転帰

【例】術後4日目に慢性期病院へ転院

```

<mmlSm:dischargeCondition mmlSm:outcome = "transferChronic">
  4 P.O.D, the patient was transferred to the chronic hospital.
</mmlSm:dischargeCondition>

```

1.1.2.1.2.3.mmlSm:referTo

【内容】紹介先情報

【省略】不可

1.1.2.1.2.3.1.mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】構造は MML 共通形式参照 .

【省略】不可

【例】新世紀平成病院，循環器科の田中富士子医師へ紹介

```
<mmlSm:referTo>
  <mmlPsi:PersonalizedInfo>
    <mmlCm:Id mmlCm:type = "facility" mmlCm:tableId = "MML0024">
      55234567</mmlCm:Id>
    <mmlPsi:personName>
      <mmlNm:Name mmlNm:repCode = "A" mmlNm:tableId = "MML0025">
        <mmlNm:family>Tanaka</mmlNm:family>
        <mmlNm:given>Fujiko</mmlNm:given>
        <mmlNm:degree>M.D.</mmlNm:degree>
      </mmlNm:Name>
    </mmlPsi:personName>
    <mmlFc:Facility>
      <mmlFc:name mmlFc:repCode = "A" mmlFc:tableId = "MML0025">
        New Millenium He isei Hospital</mmlFc:name>
      <mmlCm:Id mmlCm:type = "insurance" mmlCm:tableId = "MML0027">
        2354678</mmlCm:Id>
    </mmlFc:Facility>
    <mmlDp:Department>
      <mmlDp:name mmlDp:repCode = "A" mmlDp:tableId = "MML0025">
        Cardiology </mmlDp:name>
      <mmlCm:Id mmlCm:type = "medical" mmlCm:tableId = "MML0029">08</mmlCm:Id>
    </mmlDp:Department>
  </mmlPsi:PersonalizedInfo>
</mmlSm:referTo>
```

1.1.2.1.3.mmlSm:staffs

【内容】患者担当スタッフ情報

【省略】省略可

1.1.2.1.3.1.mmlSm:staffInfo

【内容】入院担当スタッフ .

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 担当スタッフを複数記載する場合に繰り返す .

1.1.2.1.3.1.1.mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】構造は MML 共通形式参照 .

【省略】不可

1.1.2.1.3.1.2.mmlCi:creatorLicense

【内容】スタッフの資格

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 資格が複数ある場合に繰り返す .

【例】入院時の主治医が新世紀医科大学心臓外科の荒木賢二医師の場合

```
<mmlSm:staffInfo>
  <mmlPsi:PersonalizedInfo>
    <mmlCm:Id mmlCm:type = " facility" mmlCm:tableId = "MML0024">
      23456789</mmlCm:Id>
    <mmlPsi:personName>
      <mmlNm:Name mmlNm:repCode = "A" mmlNm:tableId = "MML0025">
        <mmlNm:family>Araki</mmlNm:family>
        <mmlNm:given>Kenji</mmlNm:given>
        <mmlNm:degree>M.D.</mmlNm:degree>
      </mmlNm:Name>
    </mmlPsi:personName>
    <mmlFc:Facility>
      <mmlFc:name mmlFc:repCode = "A" mmlFc:tableId = "MML0025">
        New Millenium Medical College Hospital</mmlFc:name>
      <mmlCm:Id mmlCm:type = "insurance" mmlCm:tableId = "MML0027">801.006.3</mmlCm:Id>
    </mmlFc:Facility>
    <mmlDp:Department>
      <mmlDp:name mmlDp:repCode = "A" mmlDp:tableId = "MML0025">
```

```

        Cardiovascular surgery
    </mmlDp:name>
    <mmlCm:Id mmlCm:type = " medical" mmlCm:tableId = "MML0029">16</mmlCm:Id>
</mmlDp:Department>
</mmlPsi:PersonalizedInfo>
    <mmlCi:creatorLicense mmlCi:tableId = "MML0026">doctor</mmlCi:creatorLicense>
</mmlSm:staffInfo>

```

1.2.mmlRd:RegisteredDiagnosisModule

- 【内容】サマリーにおける診断履歴情報．構造は上記参照．
- 前述の運用を参照すること．構築法 1 の場合に，本エレメントを用いる．構築法 2 および 3 では，本エレメントは省略される．
- 【省略】省略可
- 【繰り返し設定】繰り返しあり．診断名が複数あれば繰り返す．

1.3.mmlSm:deathInfo

- 【内容】死亡関連情報
- 【データ型】string
- 【省略】省略可
- 【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSm:date	date/dateTime	#IMPLIED	死亡日時
mmlSm:autopsy	boolean	#IMPLIED	剖検の有無 .true 剖検あり, false :なし

- 【例】1999 年 8 月 31 ，胃癌にて死亡．剖検あり．

```

<mmlSm:deathInfo mmlSm:date = "1999-08-31" mmlSm:autopsy = "true">
    The patient died of gastric cancer.
</mmlSm:deathInfo>

```

1.4.mmlSg:SurgeryModule

- 【内容】サマリーにおける手術記録情報．構造は上記参照．
- 前述の運用を参照すること．構築法 1 の場合に，本エレメントを用いる．構築法 2 および 3 では，本エレメントは省略される．
- 【省略】省略可
- 【繰り返し設定】繰り返しあり．複数手術を施行した場合は繰り返す．

1.5.mmlSm:chiefComplaints

【内容】主訴

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】

```
<mmlSm:chiefComplaints>Severe chest pain</mmlSm:chiefComplaints>
```

1.6.mmlSm:patientProfile

【内容】患者プロフィール

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】

```
<mmlSm:patientProfile>  
    The patient is a 40-year-old married forester.  
</mmlSm:patientProfile>
```

1.7.mmlSm:history

【内容】入院までの経過 .

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】

```
<mmlSm:history>  
On a background of good health, the patient noted the onset of chest pain and dyspnea on Aug 25,1999. At 10  
A.M., he was put into the ambulance on a stretcher and driven to our hospital  
At arrival, the symptoms subsided and he went home without any medication. Two days ago (Aug 27), he felt  
intractable chest pain and was referred to the department of cardiovascular surgery under the diagnosis of  
unstable angina pectoris.  
</mmlSm:history>
```

1.8.mmlSm:physicalExam

【内容】入院時理学所見 .

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】

```
<mmlSm:physicalExam>
Physical findings were essentially normal except for the blood pressure which was 160/100. Heart sounds were
clear and rhythm was regular without audible murmurs or friction sounds.
</mmlSm:physicalExam>
```

1.8.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照が複数あれば，数だけ繰り返す．

1.9.mmlSm:clinicalCourse

【内容】経過および治療

【省略】省略可

1.9.1.mmlSm:clinicalRecord

【内容】経過記録．mmlCm:extRef と mmlSm:relatedDoc の混在可能．

【データ型】string

【省略】不可

【繰り返し設定】繰り返しあり．日付や項目にあわせて繰り返す．

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【属性】

属性名	データ型	省略	説明
mmlSm:date	date/dateTime	#IMPLIED	イベント発生日時

1.9.1.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照が複数あれば，数だけ繰り返す．

1.9.1.2. mmlSm:relatedDoc

【内容】本経過記録に関連する MML 文書の MmlModuleItem の uid を記載する．

【データ型】string

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり．関連文書が複数あれば繰り返す．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlSm:relatedDoc	string	#IMPLIED	MML0008	関連の種別

【例】

```
<mmlSm:clinicalCourse>
  <mmlSm:clinicalRecord mmlSm:date="1999-08-27">
    Emergency coronary angiography was carried out.
    <mmlCm:extRef mmlCm:contentType="image/jpeg"
      mmlCm:medicalRole="angioGraphy"
      mmlCm:title="Preoperative coronary angiography"
      mmlCm:href="patient001/surgicalFigure003.jpg"/>
    Three vessels (LAD, #9, #12) were involved.
    <mmlSm:relatedDoc mmlSm:relation="detail">
      11D1AC5400A0C94A814796045F768ED5 </mmlSm:relatedDoc >
    </mmlSm:clinicalRecord>
  </mmlSm:clinicalCourse>
```

1.10.mmlSm:dischargeFindings

【内容】退院時所見 . mmlCm:extRef との混在可能 .

【データ型】 string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.10.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式 (外部参照形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 外部参照が複数あれば , 数だけ繰り返す .

【例】

```
<mmlSm:dischargeFindings>
  Symptoms free, no wound infection.
</mmlSm:dischargeFindings>
```

1.11.mmlSm:medication

【内容】退院時処方 . mmlCm:extRef との混在可能 .

【データ型】 string

【省略】 省略可

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

1.11.1.mmlCm:extRef

【内容】 構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】 省略可

【繰り返し設定】 繰り返しあり．外部参照が複数あれば，数だけ繰り返す

【例】

```
<mmlSm:medication>
  Prescription on discharge
  <mmlCm:extRef
    mmlCm:contentType = "APPLICATION/HL72.3-HL7ER2.3"
    mmlCm:medicalRole = "prescription"
    mmlCm:title = "Prescription on discharge"
    mmlCm:href = "patient1234/prescription003.HL7"/>
</mmlSm:medication>
```

1.12.mmlSm:testResults

【内容】 退院時検査結果．

【省略】 省略可

1.12.1.mmlSm:testResult

【内容】 個々の検査結果．mmlCm:extRef との混在可能．

【データ型】 string

【省略】 不可

【繰り返し設定】 繰り返しあり．検査が複数あれば繰り返す．

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

1.12.1.1.mmlCm:extRef

【内容】 構造は MML 共通形式（外部参照形式）参照．

【省略】 省略可

【繰り返し設定】 繰り返しあり．外部参照が複数あれば，数だけ繰り返す

【例】

```

<mmlSm:testResults>
  <mmlSm:testResult mmlSm:date=" 1999-08-31">
    Labo findings on discharge
    <mmlCm:extRef
      mmlCm:contentType = "APPLICATION/HL72.3-HL7ER2.3"
      mmlCm:medicalRole = " laboratoryTest "
      mmlCm:title = "Blood chemistry data on discharge"
      mmlCm:href = "patient1234/prescription004.HL7"/>
  </mmlSm:testResult>
  <mmlSm:testResult mmlSm:date=" 1999-08-31">
    ECG on discharge. No ST change and new Q wave was observed.
    <mmlCm:extRef
      mmlCm:contentType = "image/gif"
      mmlCm:medicalRole = " ecg "
      mmlCm:title = "ECG on discharge"
      mmlCm:href = "patient1234/exam004.gif"/>
  </mmlSm:testResult>
</mmlSm:testResults>

```

1.13.mmlSm:plan

【内容】退院後治療方針 . mmlCm:extRef との混在可能 .

【データ型】 string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】 XHTML 使用可

1.13.1.mmlCm:extRef

【内容】構造は MML 共通形式 (外部参照形式) 参照 .

【省略】省略可

【繰り返し設定】繰り返しあり . 外部参照が複数あれば , 数だけ繰り返す

【例】

```

<mmlSm:plan>
  Rehabilitation program and wound care will continue in the chronic hospital. .
</mmlSm:plan>

```

1.14.mmlSm:remarks

【内容】患者に関する留意事項

【データ型】string

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】

```
<mmlSm:remarks>
```

```
    Patient education: good. Appointment in outpatient department in 2 weeks.
```

```
</mmlSm:remarks>
```


検歴情報モジュール (Ver2.3 新規モジュール)

目的と対象

検体検査の結果情報を記載するための MML モジュールである。一モジュールは、通常の運用では、一依頼伝票（もしくは一検査セット）にあたる。対象検査としては、検体検査であり、内分泌負荷試験、尿沈渣を含む。細菌培養検査、病理組織検査、細胞診は対象外とする。

namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

```
xmlns:mmlb="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0"
```

文書ヘッダ情報 (docInfo) のモジュール個別仕様

docInfo

属性 contentModuleType に MML0005 テーブル「test」を入力すること。

title

検歴情報モジュールに文書タイトルをつける必然性は見当たらないが、省略不可となっているため、何らかの文書タイトルをつけておかなければならない。想定される運用例として、モジュール内のセット名をタイトルとすることが考えられる。

属性の generationPurpose は、MML0007 テーブル「reportTest」(検歴報告書) と入力すること。

confirmDate

モジュール生成日であり、モジュール内の報告日時と一致させる。

mmlCi:CreatorInfo

検歴情報モジュールにおける文書作成者とは、検査依頼者ではなく、検査を実施した施設の代表者である。よって、モジュール内の検査実施施設や検査実施者と一致することが想定される。

extRefs

検歴情報モジュール内の mmlCm:extRef エレメントを記載する。記載されている外部リンク情報の数だけ繰り返す。

content

一つの content に一つだけ検歴情報モジュールを入れる。

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlLb:TestModule				
1.1.	mmlLb:information				
		mmlLb:registId	string	#REQUIRED	
		mmlLb:sampleTime	dateTime	#IMPLIED	
		mmlLb:registTime	dateTime	#REQUIRED	
		mmlLb:reportTime	dateTime	#REQUIRED	
1.1.1.	mmlLb:reportStatus		string		
		mmlLb:statusCode	string	#REQUIRED	mmlLb0001
		mmlLb:statusCodeld	string	#REQUIRED	
1.1.2.	mmlLb:set		string	?	
		mmlLb:setCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
		mmlLb:setCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.3.	mmlLb:facility		string		
		mmlLb:facilityCode	string	#REQUIRED	
		mmlLb:facilityCodeld	string	#REQUIRED	MML0027
1.1.4.	mmlLb:department		string	?	
		mmlLb:depCode	string	#IMPLIED	MML0028
		mmlLb:depCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.5.	mmlLb:ward		string	?	
		mmlLb:wardCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
		mmlLb:wardCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.6.	mmlLb:client		string	?	
		mmlLb:clientCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
		mmlLb:clientCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.7.	mmlLb:laboratoryCenter		string		
		mmlLb:centerCode	string	#REQUIRED	ユーザー指定
		mmlLb:centerCodeld	string	#REQUIRED	
1.1.8.	mmlLb:technician		string	?	
		mmlLb:techCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定

						指定	
1.1.9.	mmlLb:repMemo	mmlLb:techCodeId	string	#IMPLIED			
			string	*			
		mmlLb:repCodeName	string	#IMPLIED			
		mmlLb:repCode	string	#IMPLIED		ユーザー指定	
1.1.10.	mmlLb:repMemoF	mmlLb:repCodeId	string	#IMPLIED			
			string	?			
1.2.	mmlLb:laboTest			+			
1.2.1.	mmlLb:specimen						
1.2.1.1.	mmlLb:specimen	mmlLb:specimenName	string				
			mmlLb:spCode	string	#REQUIRED		ユーザー指定
			mmlLb:spCodeId	string	#REQUIRED		
1.2.1.2.	mmlLb:spcMemo		string	*			
			mmlLb:smCodeName	string	#IMPLIED		
			mmlLb:smCode	string	#IMPLIED		ユーザー指定
			mmlLb:smCodeId	string	#IMPLIED		
1.2.1.3.	mmlLb:spcMemoF		string	?			
1.2.2.	mmlLb:item			+			
1.2.2.1.	mmlLb:item	mmlLb:itemName	string				
			mmlLb:itCode	string	#REQUIRED		ユーザー指定
			mmlLb:itCodeId	string	#REQUIRED		
			mmlLb:Acode	string	#IMPLIED		JLAC10
			mmlLb:lcode	string	#IMPLIED		JLAC10
			mmlLb:Scode	string	#IMPLIED		JLAC10
			mmlLb:Mcode	string	#IMPLIED		JLAC10
		mmlLb:Rcode	string	#IMPLIED		JLAC10	
1.2.2.2.	mmlLb:value		string				
1.2.2.3.	mmlLb:numValue		decimal	?			
		mmlLb:up	decimal	#IMPLIED			
		mmlLb:low	decimal	#IMPLIED			
		mmlLb:normal	string	#IMPLIED			

		mmlLb:out	string	#IMPLIED	mmlLb0002
1.2.2.4.	mmlLb:unit		string	?	
		mmlLb:uCode	string	#IMPLIED	ユーザー 指定
		mmlLb:uCodeId	string	#IMPLIED	
1.2.2.5.	mmlLb:referenceInfo			?	
1.2.2.5.1.	mmlCm:extRef			*	
1.2.2.6.	mmlLb:itemMemo		string	*	
		mmlLb:imCodeName	string	#IMPLIED	
		mmlLb:imCode	string	#IMPLIED	ユーザー 指定
		mmlLb:imCodeId	string	#IMPLIED	
1.2.2.7.	mmlLb:itemMemoF		string	?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現
#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlLb:TestModule

【内容】検歴情報モジュール

1.1.mmlLb:information

【内容】検歴ヘッダ情報

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:registId	string	#REQUIRED		依頼 ID 同じ検査依頼から出た 検査中報告と最終報告 は、同じ依頼 ID とする。
mmlLb:sampleTime	dateTime	#IMPLIED		採取日時
mmlLb:registTime	dateTime	#REQUIRED		受付日時
mmlLb:reportTime	dateTime	#REQUIRED		報告日時

1.1.1.mmlLb:reportStatus

【内容】報告状態

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:statusCode	string	#REQUIRED	mmlLb0001	mid 検査中 final 最終報告
mmlLb:statusCodeId	string	#REQUIRED		mmlLb0001 と入力

1.1.2.mmlLb:set

【内容】セット名

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:setCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:setCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.1.3.mmlLb:facility

【内容】依頼施設

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:facilityCode	string	#REQUIRED		
mmlLb:facilityCodeId	string	#REQUIRED	MML0027	用いたコード体系の名称を記載

1.1.4.mmlLb:department

【内容】依頼診療科

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:depCode	string	#IMPLIED	MML0028	
mmlLb:depCodeId	string	#IMPLIED		MML0028 と入力

1.1.5.mmlLb:ward

【内容】依頼病棟

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:wardCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:wardCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.1.6.mmlLb:client

【内容】依頼者

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:clientCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:clientCodeld	string	#IMPLIED		用いたコード体系の名称を記載

1.1.7.mmlLb:laboratoryCenter

【内容】検査実施施設

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:centerCode	string	#REQUIRED	ユーザー指定	
mmlLb:centerCodeld	string	#REQUIRED		用いたテーブル名を入力

1.1.8.mmlLb:technician

【内容】検査実施者

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:techCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:techCodeld	string	#IMPLIED		用いたコード体系名を記載

1.1.9.mmlLb:repMemo

【内容】報告コメント

【繰り返し設定】繰り返しあり：報告コメントが複数あれば、数だけ繰り返す。

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:repCodeName	string	#IMPLIED		
mmlLb:repCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:repCodeld	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.1.10.mmlLb:repMemoF

【内容】報告フリーコメント

1.2.mmlLb:laboTest

【内容】検体検査結果情報

【繰り返し設定】繰り返しあり．原則として検体材料が複数あれば，数だけ繰り返す．

1.2.1.mmlLb:specimen

【内容】検体情報

1.2.1.1.mmlLb:specimenName

【内容】検体材料

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:spCode	string	#REQUIRED	ユーザー指定	
mmlLb:spCodeId	string	#REQUIRED		用いたテーブル名を入力

1.2.1.2.mmlLb:spcMemo

【内容】検体コメント

【繰り返し設定】繰り返しあり．検体コメントが複数あれば，数だけ繰り返す．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:smCodeName	string	#IMPLIED		検体コメント名称
mmlLb:smCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:smCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.2.1.3.mmlLb:spcMemoF

【内容】検体フリーコメント

1.2.2.mmlLb:item

【内容】項目情報

【繰り返し設定】繰り返しあり．項目が複数あれば，数だけ繰り返す．

1.2.2.1.mmlLb:itemName

【内容】項目名

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
-----	------	----	--------	----

mmlLb:itCode	string	#REQUIRED	ユーザー指定	施設固有コード
mmlLb:itCodeId	string	#REQUIRED		施設固有コード体系名 用いたテーブル名を入力
mmlLb:Acode	string	#IMPLIED	JLAC10	JLAC10 の分析物コード
mmlLb:lcode	string	#IMPLIED	JLAC10	JLAC10 の識別コード
mmlLb:Scode	string	#IMPLIED	JLAC10	JLAC10 の材料コード
mmlLb:Mcode	string	#IMPLIED	JLAC10	JLAC10 の測定法コード
mmlLb:Rcode	string	#IMPLIED	JLAC10	JLAC10 の結果識別コード

1.2.2.2.mmlLb:value

【内容】値．表示用の文字列の値．必須とする．

1.2.2.3.mmlLb:numValue

【内容】値（数値）．数値データの場合のみ設定．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:up	decimal	#IMPLIED		上限値
mmlLb:low	decimal	#IMPLIED		下限値
mmlLb:normal	string	#IMPLIED		文字列で示す基準値． 例：'陰性'
mmlLb:out	string	#IMPLIED	mmlLb0002	異常値フラグ H 上限値越え N 基準値範囲内 L 下限値未満

1.2.2.4.mmlLb:unit

【内容】単位

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:uCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:uCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.2.2.5.mmlLb:referenceInfo

【内容】外部参照情報

1.2.2.5.1. mmlCm:extRef

【内容】外部参照．図，グラフなどを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）を用いる．

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照ファイルが複数あれば，数だけ繰り返す．

1.2.2.6.mmlLb:itemMemo

【内容】項目コメント

【繰り返し設定】繰り返しあり．項目コメントが複数あれば，数だけ繰り返す．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlLb:imCodeName	string	#IMPLIED		項目コメント名称
mmlLb:imCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlLb:imCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.2.2.7.mmlLb:itemMemoF

【内容】項目フリーコメント

報告書情報モジュール (Ver2.3 新規モジュール)

目的と対象

放射線学的検査 ,生理検査 ,病理検査の報告書を記載するための MML モジュールである .

namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は , 以下とする .

```
xmlns:mmlRp="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/report/1.0"
```

文書ヘッダ情報 (docInfo) のモジュール個別仕様

docInfo

属性 contentModuleType に MML0005 テーブル「~~test~~」 「report」を入力すること .

title

報告書の内容を示すタイトルを入力すること .

属性の generationPurpose は ,MML0007 テーブル「report」 「reportRadiology」 「reportPathology」等から適切なものを選択し入力すること .

confirmDate

モジュール生成日であり , モジュール内の報告日時と一致させる .

mmlCi:CreatorInfo

報告書情報モジュールにおける文書作成者とは , 検査等の依頼者ではなく , 報告書の記載者である .

extRefs

報告書情報モジュール内の mmlCm:extRef エレメントを記載する . 記載されている外部リンク情報の数だけ繰り返す .

content

一つの content に一つだけ報告書情報モジュールを入れる .

エレメント一覧表

	Elements(階層によりインデント)	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1.	mmlRp:ReportModule				
1.1.	mmlRp:information	mmlRp:performTime	dateTime	#REQUIRED	

		mmlRp:reportTime	dateTime	#REQUIRED	
1.1.1.	mmlRp:reportStatus		string		
		mmlRp:statusCode	string	#REQUIRED	mmlLb0001
		mmlRp:statusCodeld	string	#REQUIRED	
1.1.2.	mmlRp:testClass		string		
		mmlRp:testClassCode	string	#REQUIRED	MML0033
		mmlRp:testClassCodeld	string	#REQUIRED	
1.1.3.	mmlRp:testSubclass		string	?	
		mmlRp:testSubclassCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
		mmlRp:testSubclassCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.4.	mmlRp:organ		string	?	
1.1.5.	mmlRp:consultFrom			?	
1.1.5.1.	mmlRp:conFacility		string	?	
		mmlRp:facilityCode	string	#IMPLIED	
		mmlRp:facilityCodeld	string	#IMPLIED	MML0027
1.1.5.2.	mmlRp:conDepartment		string	?	
		mmlRp:depCode	string	#IMPLIED	MML0028
		mmlRp:depCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.5.3.	mmlRp:conWard		string	?	
		mmlRp:wardCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
		mmlRp:wardCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.5.4.	mmlRp:client		string	?	
		mmlRp:clientCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
		mmlRp:clientCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.6.	mmlRp:perfo m				
1.1.6.1.	mmlRp:pFacility		string		
		mmlRp:facilityCode	string	#REQUIRED	
		mmlRp:facilityCodeld	string	#REQUIRED	MML0027
1.1.6.2.	mmlRp:pDepartment		string	?	
		mmlRp:depCode	string	#IMPLIED	MML0028
		mmlRp:depCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.6.3.	mmlRp:pWard		string	?	
		mmlRp:wardCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
		mmlRp:wardCodeld	string	#IMPLIED	
1.1.6.4.	mmlRp:performer		string		
		mmlRp:performerCode	string	#REQUIRED	ユーザー指定

1.1.6.5.	mmlRp:performerCodeId	string	#REQUIRED	
	mmlRp:supervisor	string	?	
	mmlRp:supervisorCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
	mmlRp:supervisorCodeId	string	#IMPLIED	
1.2.	mmlRp:reportBody			
1.2.1.	mmlRp:chiefComplaints	string	?	
1.2.2.	mmlRp:testPurpose	string	?	
1.2.3.	mmlRp:testDx	string	?	
1.2.4.	mmlRp:testNotes	string	?	
	mmlCm:extRef		*	
1.2.5.	mmlRp:testMemo	string	*	
	mmlRp:tmCodeName	string	#IMPLIED	
	mmlRp:tmCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定
	mmlRp:tmCodeId	string	#IMPLIED	
1.2.6.	mmlRp:testMemoF	string	?	

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現

#REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlRp:ReportModule

【内容】報告書モジュール

1.1.mmlRp:information

【内容】報告書ヘッダ情報

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:performTime	dateTime	#REQUIRED		検査実施日時
mmlRp:reportTime	dateTime	#REQUIRED		報告日時

1.1.1.mmlRp:reportStatus

【内容】報告状態

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:statusCode	string	#REQUIRED	mmlLb0001	mid 検査中 final 最終報告
mmlRp:statusCodeId	string	#REQUIRED		mmlLb0001 と入力

1.1.2.mmlRp:testClass

【内容】報告書種別

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:testClassCode	string	#REQUIRED	MML0033	
mmlRp:testClassCodeId	string	#REQUIRED		MML0033

1.1.3.mmlRp:testSubclass

【内容】報告書詳細種別．報告書種別では表現できない詳細な種別を入力する．コードを用いる場合は，ユーザー独自定義のテーブルを用いる．

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:testSubclassCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlRp:testSubclassCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.1.4.mmlRp:organ

【内容】臓器．検査対象となった臓器であり，とくにコード化は行わない．

1.1.5.mmlRp:consultFrom

【内容】依頼者情報

1.1.5.1.mmlRp:conFacility

【内容】依頼施設

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:facilityCode	string	#IMPLIED		施設コード
mmlRp:facilityCodeId	string	#IMPLIED	MML0027	

1.1.5.2.mmlRp:conDepartment

【内容】依頼診療科

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:depCode	string	#IMPLIED	MML0028	
mmlRp:depCodeId	string	#IMPLIED		MML0028 と入力

1.1.5.3.mmlRp:conWard

【内容】依頼病棟

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:wardCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlRp:wardCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.1.5.4.mmlRp:client

【内容】依頼者

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:clientCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlRp:clientCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.1.6.mmlRp:perform

【内容】実施者情報

1.1.6.1.mmlRp:pFacility

【内容】実施施設

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:facilityCode	string	#REQUIRED		
mmlRp:facilityCodeId	string	#REQUIRED	MML0027	

1.1.6.2.mmlRp:pDepartment

【内容】実施診療科

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:depCode	string	#IMPLIED	MML0028	
mmlRp:depCodeId	string	#IMPLIED		MML0028 と入力

1.1.6.3.mmlRp:pWard

【内容】実施病棟

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:wardCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlRp:wardCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.1.6.4.mmlRp:performer

【内容】実施者

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:performerCode	string	#REQUIRED	ユーザー指定	
mmlRp:performerCodeId	string	#REQUIRED		用いたテーブル名を指定

1.1.6.5.mmlRp:supervisor

【内容】監督者

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:supervisorCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlRp:supervisorCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を指定

1.2.mmlRp:reportBody

【内容】報告書本文情報

1.2.1.mmlRp:chiefComplaints

【内容】主訴

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.2.mmlRp:testPurpose

【内容】検査目的

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.3.mmlRp:testDx

【内容】検査診断．本エレメントでは，病名をテキスト（XHTML 使用可）で記載する．構造化した病名情報が必要な場合は，診断履歴モジュールを必要な数生成し，groupId による文書間の関連付けを行う．

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.4.mmlRp:testNotes

【内容】検査所見記載．テキスト（#PCDATA）と mmlCm:extRef の混在可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.2.4.1.mmlCm:extRef

【内容】外部参照図，グラフなどを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）を用いる．

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照ファイルが複数あれば，数だけ繰り返す．

1.2.5.mmlRp:testMemo

【内容】検査コメント

【属性】

属性名	データ型	省略	使用テーブル	説明
mmlRp:tmCodeName	string	#IMPLIED		検査コメント名称
mmlRp:tmCode	string	#IMPLIED	ユーザー指定	
mmlRp:tmCodeId	string	#IMPLIED		用いたテーブル名を入力

1.2.6.mmlRp:testMemoF

【内容】検査フリーコメント

紹介状モジュール (Ver2.3 新規モジュール)

はじめに

紹介状モジュール (Referral Module) は、mmlRe:ReferralModule で表される。このモジュールに含まれるエレメントは使いやすさを考え、構造化せずにフラットな形を採用した。紹介状モジュール (Referral Module) は、MML を上位規約とするため、MML 仕様書に記載されている仕様が紹介状モジュール (Referral Module) にも適用される。

概要

紹介状モジュール (Referral Module) は、紹介状をもとにした病診連携のためのデータ交換の仕様である。紹介状は、様式 6 の診療情報提供書であるが、各医療施設で発行される紹介状はそれぞれ様式 6 と若干異なっている。ここでは、様式 6 に基づき、データ交換のための最小データセットを定義し、提供するものとする。最小データセットとは、紹介状を表現するために MML に新規導入モジュールとして定義する最小の語彙を意味する。実際の紹介状作成にあたっては、例えば患者情報については MML で既に定義されている患者情報モジュールを利用する。つまり、氏名、生年月日、住所、電話番号等の患者情報について mmlPi:PatientModule で定義されているエレメント群を利用する。紹介状に添付される可能性がある画像、検査結果、処方など既に MML 共通形式の外部参照形式の mmlCm:medicalRole で分類されているデータについて、同様に外部参照形式 mmlCm:extRef エレメントを利用し、MML インスタンスから見た外部ファイルを参照する形を推奨する。一方、検査結果 mmlRe:testResults については、検歴情報モジュールを利用すると、XML で統一できる。また、処方 mmlRe:medication について、本モジュールとは別の電子カルテ・医事会計システム連携のためのデータ交換仕様である CLAIM モジュールで表現することができる。やはりこれを利用すると、XML で統一できる。同様に、紹介状作成者は MML 共通形式(作成者情報形式)mmlCi:CreatorInfo を利用し、紹介状モジュール・インスタンス生成における生成者情報と現実の紹介状作成者を一致させる。紹介状作成医師の所属する医療機関、および科目については MML 共通形式(個人情報形式) mmlPsi:PersonalizedInfo を利用することになる。

namespaces 宣言

本モジュールの namespaces 宣言は、以下とする。

```
xmlns:mmlRe="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Referral/1.0"
```

文書ヘッダ情報 (docInfo) のモジュール個別仕様

docInfo

属性 contentModuleType に MML0005 テーブル「referral」を入力すること。

title

紹介状の内容を示すタイトルを入力すること。

属性の generationPurpose は、MML0007 テーブル「consult」を入力すること。

confirmDate

紹介状モジュール生成日である。

mmlCi:CreatorInfo

紹介状モジュールにおける文書作成者とは、紹介状の記載者である。代筆等で紹介者（mmlRe:referFrom）と記載者（mmlCi:CreatorInfo）が異なることもあり得る。

extRefs

紹介状モジュール内の mmlCm:extRef エレメントを記載する。記載されている外部リンク情報の数だけ繰り返す。

content

一つの content に一つだけ紹介状モジュールを入れる。

エレメント一覧表

	Elements	Attribute	Datatypes	Occurrence	Table id
1	mmlRe:ReferralModule				
1.1.	mmlPi:PatientModule				
1.2.	mmlRe:occupation		string	?	
1.3.	mmlRe:referFrom				
	mmlPsi:PersonalizedInfo				
1.4.	mmlRe:title		string		
1.5.	mmlRe:greeting		string	?	
1.6.	mmlRe:chiefComplaints		string		
1.7.	mmlRe:clinicalDiagnosis		string	?	
1.8.	mmlRe:pastHistory		string	?	
1.8.1.	mmlCm:extRef			*	
1.9.	mmlRe:familyHistory		string	?	
1.9.1.	mmlCm:extRef			*	
1.10.	mmlRe:presentIllness		string		
1.10.1.	mmlCm:extRef			*	
1.11.	mmlRe:testResults		string	?	
1.11.1.	mmlCm:extRef			*	

1.12.	mmlSm:clinicalCourse		?
1.13.	mmlRe:medication	string	?
1.13.1.	mmlCm:extRef		*
1.14.	mmlRe:referPurpose	string	
1.15.	mmlRe:remarks	string	?
1.15.1.	mmlCm:extRef		*
1.16.	mmlRe:referToFacility		
1.16.1.	mmlFc:Facility		
1.16.2.	mmlDp:Department		?
1.17.	mmlRe:referToPerson		?
1.17.1.	mmlPsi:PersonalizedInfo		
1.18.	mmlRe:referToUnknownName	string	?

Occurrence なし：必ず 1 回出現，?：0 回もしくは 1 回出現，+：1 回以上出現，*：0 回以上出現
 #REQUIRED:必須属性，#IMPLIED:省略可能属性

エレメント解説

1.mmlRe:ReferralModule

【内容】紹介状モジュール．同一医師の一回に行う紹介状作成行為を一つのモジュールに収める．

【省略】不可

1.1.mmlPi:PatientModule

【内容】患者情報．氏名，生年月日，住所，電話番号等の患者情報．構造は MML モジュール（患者情報モジュール）参照．

【省略】不可

1.2.mmlRe:occupation

【内容】職業．

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.3.mmlRe:referFrom

【内容】紹介者情報を入れる親エレメント．

【省略】不可

1.3. 1. mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】紹介者．構造は MML 共通形式（個人情報形式）mmlPsi:PersonalizedInfo を参照．

【省略】不可

1.4. mmlRe:title

【内容】タイトル．紹介状，診療情報提供書など．将来，検査依頼書も想定しているため設定している．

【省略】不可

1.5. mmlRe:greeting

【内容】挨拶文．

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

【例】

<mmlRe:greeting>

謹啓 平素は患者の診療について種々ご配慮頂きまして有難うございます。<xhtml:br/>

さて、下記の患者をご紹介申し上げます。<xhtml:br/>

ご繁忙のところ恐縮に存じますが、よろしくご高診賜りますよう、お願い申し上げます。

</mmlRe:greeting>

1.6.mmlRe:chiefComplaints

【内容】主訴

【省略】不可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.7.mmlRe:clinicalDiagnosis

【内容】病名．このエレメントでは，特に構造化せず，XHTML を用いて記載する．構造化が必要なときは，別個に診断履歴モジュールを作成し，紹介状モジュールと groupId を用いて束ねる．

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.8.mmlRe:pastHistory

【内容】既往歴．テキスト（#PCDATA）と mmlCm:extRef の混在可

【省略】可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.8.1.mmlCm:extRef

【内容】外部参照図，グラフなどを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）を用いる．

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照ファイルが複数あれば，数だけ繰り返す．

1.9.mmlRe:familyHistory

【内容】家族歴．テキスト（#PCDATA）と mmlCm:extRef の混在可

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.9.1.mmlCm:extRef

【内容】外部参照図，表などを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）を用いる．

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照ファイルが複数あれば，数だけ繰り返す．

1.10. mmlRe:presentIllness

【内容】症状経過．テキスト（#PCDATA）と mmlCm:extRef の混在可

【省略】不可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.10.1.mmlCm:extRef

【内容】外部参照図，表などを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）を用いる．

【繰り返し設定】繰り返しあり．外部参照ファイルが複数あれば，数だけ繰り返す．

1.11.mmlRe:testResults

【内容】検査結果．テキスト（#PCDATA）と mmlCm:extRef の混在可

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.11.1.mmlCm:extRef

【内容】外部参照図，グラフ，表などを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）

を用いる。

【繰り返し設定】繰り返しあり。外部参照ファイルが複数あれば、数だけ繰り返す。

1.12. mmlSm:clinicalCourse

【内容】治療経過。構造は MML モジュール（臨床サマリーモジュール）の mmlSm:clinicalCourse を参照。

【省略】省略可

1.13.mmlRe:medication

【内容】現在の処方。テキスト（#PCDATA）と mmlCm:extRef の混在可

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.13.1.mmlCm:extRef

【内容】外部参照図，ファイル，表などを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）を用いる。

【繰り返し設定】繰り返しあり。外部参照ファイルが複数あれば，数だけ繰り返す。

1.14.mmlRe:referPurpose

【内容】紹介目的

【省略】不可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.15. mmlRe:remarks

【内容】備考。テキスト（#PCDATA）と mmlCm:extRef の混在可

【省略】省略可

【文書のレイアウト】XHTML 使用可

1.15.1.mmlCm:extRef

【内容】外部参照図，ファイル，表などを添付するときに，MML 共通形式（外部参照形式）を用いる。

【繰り返し設定】繰り返しあり。外部参照ファイルが複数あれば，数だけ繰り返す。

1.16.mmlRe:referToFacility

【内容】紹介先医療機関名。施設情報を入れる親エレメント

【省略】不可

1.16.1. mmlFc:Facility

【内容】紹介先医療機関．構造は MML 共通形式（施設情報形式）mmlFc:Facility を利用する．

【省略】不可

1.16.2. mmlDp:Department

【内容】紹介先診療科．構造は MML 共通形式（施設情報形式）mmlDp:Department を利用する．

【省略】可

1.17.mmlRe:referToPerson

【内容】紹介先医師名．氏名情報を入れる親エレメント．

【省略】省略可

1.17.1. mmlPsi:PersonalizedInfo

【内容】紹介先医師．構造は MML 共通形式（個人情報形式）mmlPsi:PersonalizedInfo を利用する．

1.18. mmlRe:referToUnknownName

【内容】医師名を指定しない相手．

【省略】省略可

DTD 一覧

注：ここに記載されている DTD には，xhtml で使用されるタグを記載していない．実装に当たっては，使用する xhtml タグの追加が必要である．

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
```

```
<!DOCTYPE Mml SYSTEM "MML1028.dtd" [
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!-- MML共通形式 -->
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!-- 住所表現形式 -->
```

```
<!-- Address DTD Version 1.0 -->
```

```
<!-- ***** -->
```

```
<!ELEMENT mmlAd:Address ( (mmlAd:full? | (mmlAd:prefecture? , mmlAd:city? ,  
mmlAd:town? , mmlAd:homeNumber? ) ) , mmlAd:zip? , mmlAd:countryCode? )>
```

```
<!ATTLIST mmlAd:Address mmlAd:repCode (A | I | P ) #REQUIRED
```

```
                  mmlAd:addressClass (current |  
                                      permanent |  
                                      mailing |  
                                      business |  
                                      office |  
                                      home |  
                                      birth |  
                                      county ) #IMPLIED
```

```
                  mmlAd:tableId CDATA #IMPLIED >
```

```
<!ELEMENT mmlAd:countryCode (#PCDATA )>
```

```
<!ELEMENT mmlAd:zip (#PCDATA )>
```

```
<!ELEMENT mmlAd:homeNumber (#PCDATA )>
```

```
<!ELEMENT mmlAd:town (#PCDATA )>
```

```
<!ELEMENT mmlAd:city (#PCDATA )>
```



```

<!ELEMENT mmIAd:prefecture (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIAd:full (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 電話番号表現形式 -->
<!-- Phone DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIPh:Phone (mmIPh:area , mmIPh:city , mmIPh:number , mmIPh:extension? ,
mmIPh:country? , mmIPh:memo? )>
<!ATTLIST mmIPh:Phone mmIPh:telEquipType (PH |
FX |
MD |
CP |
BP |
Internet |
X.400 ) #IMPLIED >

<!ELEMENT mmIPh:memo (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPh:country (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPh:extension (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPh:number (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPh:city (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPh:area (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- Id形式 , 外部参照形式およびEmail -->
<!-- MML Common DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmICm:Id (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmICm:Id mmICm:type CDATA #REQUIRED
mmICm:checkDigitSchema (M10 | M11 ) #IMPLIED
mmICm:checkDigit CDATA #IMPLIED
mmICm:tableId CDATA #REQUIRED >

<!ELEMENT mmICm:extRef EMPTY>
<!ATTLIST mmICm:extRef mmICm:contentType CDATA #IMPLIED
mmICm:medicalRole CDATA #IMPLIED
mmICm:title CDATA #IMPLIED

```

```

                mmICm:href          CDATA #REQUIRED >
<!ELEMENT mmICm:email (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 人名表現形式 -->
<!-- Name DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmINm:Name ( ( mmINm:family , mmINm:given , mmINm:middle? ) |
mmINm:fullname ) ,
                mmINm:prefix? , mmINm:degree? )>
<!ATTLIST mmINm:Name mmINm:repCode ( I | A | P ) #REQUIRED
                mmINm:tableId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmINm:degree (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmINm:prefix (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmINm:fullname (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmINm:middle (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmINm:given (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmINm:family (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 施設情報形式 -->
<!-- Facility DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIFc:Facility (mmIFc:name+ , mmICm:Id? )>
<!ELEMENT mmIFc:name (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIFc:name mmIFc:repCode ( I | A | P ) #REQUIRED
                mmIFc:tableId CDATA #IMPLIED >

<!--*****-->
<!-- 診療科情報形式 -->
<!-- Department DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIDp:Department (mmIDp:name+ , mmICm:Id? )>
<!ELEMENT mmIDp:name (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIDp:name mmIDp:repCode ( I | A | P ) #REQUIRED
                mmIDp:tableId CDATA #IMPLIED >

```

```

<!--*****-->
<!-- 個人情報形式 -->
<!-- PersonalizedInfo DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIPsi:PersonalizedInfo (mmICm:Id , mmIPsi:personName , mmIFc:Facility? ,
mmIDp:Department? ,
mmIPsi:addresses? , mmIPsi:emailAddresses? ,
mmIPsi:phones? )>
<!ELEMENT mmIPsi:phones (mmIPh:Phone+ )>
<!ELEMENT mmIPsi:emailAddresses (mmICm:email* )>
<!ELEMENT mmIPsi:addresses (mmIAd:Address+ )>
<!ELEMENT mmIPsi:personName (mmINm:Name+ )>

<!--*****-->
<!-- 作成者情報形式 -->
<!-- CreatorInfo DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmICi:CreatorInfo (mmIPsi:PersonalizedInfo , mmICi:creatorLicense+ )>
<!ELEMENT mmICi:creatorLicense (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmICi:creatorLicense mmICi:tableId CDATA #IMPLIED >

<!--*****-->
<!-- MML基本構造 -->
<!-- Medical Markup Language DTD Version 2.3 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT Mml (MmlHeader , MmlBody )>
<!ATTLIST Mml version CDATA #FIXED '2.3'
createDate CDATA #REQUIRED
xmlns CDATA #FIXED 'http://www.medxml.net/MML'
xmlns:xhtml CDATA #FIXED 'http://www.w3.org/1999/xhtml'
xmlns:mmICm CDATA #FIXED
'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0'
xmlns:mmINm CDATA #FIXED
'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0'
xmlns:mmIFc CDATA #FIXED

```

'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0'
xmlns:mmIDp CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0'
xmlns:mmIAd CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0'
xmlns:mmIPh CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0'
xmlns:mmIPsi CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0'
xmlns:mmICi CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0'
xmlns:mmIPi CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/PatientInfo/1.0'
xmlns:mmIBc CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/BaseClinic/1.0'
xmlns:mmIFcI CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0'
xmlns:mmIHi CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/HealthInsurance/1.1'
xmlns:mmILs CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Lifestyle/1.0'
xmlns:mmIPc CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0'
xmlns:mmIRd CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/RegisteredDiagnosis/1.0'
xmlns:mmISg CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Surgery/1.0'
xmlns:mmISm CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Summary/1.0'
xmlns:mmILb CDATA #FIXED 'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0'
xmlns:mmIRp CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/report/1.0'
xmlns:mmIRe CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Referral/1.0'
xmlns:mmISc CDATA #FIXED

'http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Security/1.0'

```

xmlns:claim CDATA #FIXED 'http://www.medxml.net/claim/claimModule/2.1'
xmlns:claimA CDATA #FIXED
'http://www.medxml.net/claim/claimAmountModule/2.1'>
<!ELEMENT MmlHeader (mmlCi:CreatorInfo , masterId , toc , scopePeriod? , encryptInfo? )>
<!ELEMENT MmlBody (MmlModuleItem+ )>
<!ELEMENT docInfo (securityLevel , title , docId , confirmDate , mmlCi:CreatorInfo ,
extRefs )>
<!ATTLIST docInfo contentModuleType (patientInfo |
healthInsurance |
registeredDiagnosis |
lifestyle |
baseClinic |
firstClinic |
progressCourse |
surgery |
summary |
referral |
test |
report |
claim |
claimAmount ) #REQUIRED
moduleVersion CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT encryptInfo (#PCDATA )>
<!ELEMENT title (#PCDATA )>
<!ATTLIST title generationPurpose CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT docId (uid , parentId* , groupId* )>
<!ELEMENT masterId (mmlCm:Id )>
<!ELEMENT content (mmlPi:PatientModule | mmlHi:HealthInsuranceModule |
mmlRd:RegisteredDiagnosisModule |
mmlLs:LifestyleModule | mmlBc:BaseClinicModule |
mmlFcI:FirstClinicModule |
mmlPc:ProgressCourseModule | mmlSg:SurgeryModule |
mmlSm:SummaryModule |
mmlLb:TestModule | mmlRp:ReportModule | mmlRe:ReferralModule |
claim:ClaimModule |
claimA:ClaimAmountModule )>

```

```

<!ELEMENT toc (tocItem+ )>
<!ELEMENT tocItem (#PCDATA )>
<!ELEMENT extRefs (mm1Cm:extRef* )>
<!ELEMENT scopePeriod EMPTY>
<!ATTLIST scopePeriod start          CDATA #IMPLIED
                        end            CDATA #IMPLIED
                        hasOtherInfo  (true | false ) #IMPLIED
                        isExtract     (true | false ) #IMPLIED
                        extractPolicy CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT Mm1ModuleItem (docInfo? , content? )>
<!ATTLIST Mm1ModuleItem type          CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT uid (#PCDATA )>
<!ELEMENT parentId (#PCDATA )>
<!ATTLIST parentId relation CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT groupId (#PCDATA )>
<!ATTLIST groupId groupClass CDATA #IMPLIED >

<!ELEMENT confirmDate (#PCDATA )>
<!ATTLIST confirmDate start CDATA #IMPLIED
                        end  CDATA #IMPLIED >

<!--*****-->
<!-- Security DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT securityLevel ( accessRight* ) >
<!ELEMENT accessRight ( mm1Sc:facility?, mm1Sc:person?, mm1Sc:licence?,
mm1Sc:department? ) >
<!ATTLIST accessRight permit ( none |
                              read |
                              write |
                              delete |
                              all ) #REQUIRED
                        startDate CDATA #IMPLIED
                        endDate  CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mm1Sc:facility ( mm1Sc:facilityName+ ) >
<!ELEMENT mm1Sc:facilityName ( #PCDATA )>

```

```

<!ATTLIST mmIsc:facilityName mmIsc:facilityCode ( all |
                                creator |
                                experience |
                                individual ) #REQUIRED
                                mmIsc:tableId CDATA #IMPLIED
                                mmIsc:facilityId CDATA #IMPLIED
                                mmIsc:facilityIdType CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIsc:person ( mmIsc:personName+ ) >
<!ELEMENT mmIsc:personName ( #PCDATA ) >
<!ATTLIST mmIsc:personName mmIsc:personCode ( all |
                                creator |
                                patient |
                                individual ) #REQUIRED
                                mmIsc:tableId CDATA #IMPLIED
                                mmIsc:personId CDATA #REQUIRED
                                mmIsc:personIdType CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIsc:licence ( mmIsc:licenceName+ ) >
<!ELEMENT mmIsc:licenceName EMPTY>
<!ATTLIST mmIsc:licenceName mmIsc:licenceCode CDATA #REQUIRED
                                mmIsc:tableId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIsc:department ( mmIsc:departmentName+ ) >
<!ELEMENT mmIsc:departmentName EMPTY>
<!ATTLIST mmIsc:departmentName mmIsc:departmentCode CDATA #REQUIRED
                                mmIsc:tableId CDATA #IMPLIED >

<!--*****-->
<!-- MMLモジュール -->
<!--*****-->

<!--*****-->
<!-- 患者情報 -->
<!-- PatientModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIPi:PatientModule (mmIPi:uniqueInfo , mmIPi:personName , mmIPi:birthday ,
mmIPi:sex ,
                                mmIPi:nationality? , mmIPi:marital? ,

```

```

mmIPI:addresses? ,
                                mmIPI:emailAddresses? , mmIPI:phones? ,
mmIPI:accountNumber? ,
                                mmIPI:socialIdentification? , mmIPI:death? )>
<!ELEMENT mmIPI:otherId (mmICm:Id )>
<!ATTLIST mmIPI:otherId mmIPI:type (temporaryPatientId |
                                motherId |
                                fatherId |
                                childId |
                                relativeId |
                                roommateId |
                                friendId |
                                representativeId |
                                emergencyContactId |
                                coWorkerId ) #REQUIRED >
<!ELEMENT mmIPI:masterId (mmICm:Id )>
<!ELEMENT mmIPI:uniqueInfo (mmIPI:masterId , mmIPI:otherId* )>
<!ELEMENT mmIPI:death (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIPI:death mmIPI:date CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIPI:socialIdentification (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPI:accountNumber (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPI:phones (mmIPI:Phone* )>
<!ELEMENT mmIPI:emailAddresses (mmIPI:email* )>
<!ELEMENT mmIPI:addresses (mmIPI:Address* )>
<!ELEMENT mmIPI:marital (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPI:nationality (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIPI:nationality mmIPI:subtype CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIPI:sex (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPI:birthday (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPI:personName (mmIPI:Name+ )>

<!--*****-->
<!-- 健康保険情報 (日本版) -->
<!-- HealthInsuranceModule DTD Version 1.1 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIHI:HealthInsuranceModule (mmIHI:insuranceClass? , mmIHI:insuranceNumber ,

```



```

                mmlHi:clientId, mmlHi:familyClass, mmlHi:clientInfo?,
mmlHi:continuedDiseases?, mmlHi:startDate,
                mmlHi:expiredDate, mmlHi:paymentInRatio?, mmlHi:paymentOutRatio?,
mmlHi:insuredInfo?,
                mmlHi:workInfo?, mmlHi:publicInsurance?) >
<!ATTLIST mmlHi:HealthInsuranceModule mmlHi:countryType CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmlHi:insuranceClass (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmlHi:insuranceClass mmlHi:ClassCode CDATA #REQUIRED
                mmlHi:tableId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmlHi:insuranceNumber (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:clientId (mmlHi:group, mmlHi:number)>
<!ELEMENT mmlHi:group (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:number (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:familyClass (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:clientInfo (mmlHi:personName?, mmlHi:addresses?, mmlHi:phones?)>
<!ELEMENT mmlHi:personName (mmlNm:Name*)>
<!ELEMENT mmlHi:addresses (mmlAd:Address*)>
<!ELEMENT mmlHi:phones (mmlPh:Phone*)>
<!ELEMENT mmlHi:continuedDiseases (mmlHi:diseases+)>
<!ELEMENT mmlHi:diseases (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:startDate (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:expiredDate (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:paymentInRatio (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:paymentOutRatio (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:insuredInfo (mmlHi:facility?, mmlHi:addresses?, mmlHi:phones?)>
<!ELEMENT mmlHi:facility (mmlFc:Facility?)>
<!ELEMENT mmlHi:workInfo (mmlHi:facility?, mmlHi:addresses?, mmlHi:phones?)>
<!ELEMENT mmlHi:publicInsurance (mmlHi:publicInsuranceItem+)>
<!ELEMENT mmlHi:publicInsuranceItem (mmlHi:providerName?, mmlHi:provider,
mmlHi:recipient,
                mmlHi:startDate, mmlHi:expiredDate,
mmlHi:paymentRatio?)>
<!ATTLIST mmlHi:publicInsuranceItem mmlHi:priority CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmlHi:providerName (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:provider (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmlHi:recipient (#PCDATA )>

```

```

<!ELEMENT mmIH:paymentRatio (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIH:paymentRatio mmIH:ratioType CDATA #REQUIRED>

<!--*****-->
<!-- 診断履歴情報 -->
<!-- RegisteredDiagnosisModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIRd:RegisteredDiagnosisModule ( (mmIRd:diagnosis |
mmIRd:diagnosisContents) , mmIRd:categories? ,
mmIRd:startDate? , mmIRd:endDate? ,
mmIRd:outcome? ,
mmIRd:firstEncounterDate? ,
mmIRd:relatedHealthInsurance? )>
<!ELEMENT mmIRd:diagnosis (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRd:diagnosis mmIRd:code CDATA #IMPLIED
mmIRd:system CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIRd:diagnosisContents (mmIRd:dxItem+ )>
<!ELEMENT mmIRd:dxItem (mmIRd:name )>
<!ELEMENT mmIRd:name (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRd:name mmIRd:code CDATA #IMPLIED
mmIRd:system CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIRd:category (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRd:category mmIRd:tableId CDATA #REQUIRED >
<!ELEMENT mmIRd:startDate (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRd:endDate (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRd:outcome (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRd:firstEncounterDate (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRd:relatedHealthInsurance EMPTY>
<!ATTLIST mmIRd:relatedHealthInsurance mmIRd:uid CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIRd:categories (mmIRd:category+ )>

<!--*****-->
<!-- 生活習慣情報 -->
<!-- LifestyleModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmILs:LifestyleModule (mmILs:occupation , mmILs:tobacco , mmILs:alcohol ,

```

```

mmILs:other? )>
<!ELEMENT mmILs:occupation (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmILs:tobacco (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmILs:alcohol (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmILs:other (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 基礎的診療情報 -->
<!-- BaseClinicModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIBc:BaseClinicModule (mmIBc:allergy? , mmIBc:bloodtype? ,
mmIBc:infection? )>
<!ELEMENT mmIBc:allergy (mmIBc:allergyItem+ )>
<!ELEMENT mmIBc:allergyItem (mmIBc:factor , mmIBc:severity? , mmIBc:identifiedDate? ,
mmIBc:memo? )>
<!ELEMENT mmIBc:factor (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:severity (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:identifiedDate (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:memo (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:bloodtype (mmIBc:abo , mmIBc:rh? , mmIBc:others? , mmIBc:memo? )>
<!ELEMENT mmIBc:rh (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:abo (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:other (mmIBc:typeName , mmIBc:typeJudgement , mmIBc:description? )>
<!ELEMENT mmIBc:typeName (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:typeJudgement (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:description (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:infection (mmIBc:infectionItem+ )>
<!ELEMENT mmIBc:infectionItem (mmIBc:factor , mmIBc:examValue , mmIBc:identifiedDate? ,
mmIBc:memo? )>
<!ELEMENT mmIBc:examValue (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIBc:others (mmIBc:other* )>

<!--*****-->
<!-- 初診時特有情報 -->
<!-- FirstClinicModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->

```

```

<!ELEMENT mmIFcl:FirstClinicModule (mmIFcl:familyHistory? , mmIFcl:childhood? ,
mmIFcl:pastHistory? ,
                                mmIFcl:chiefComplaints? ,
mmIFcl:presentIllnessNotes? )>
<!ELEMENT mmIFcl:familyHistory (mmIFcl:familyHistoryItem+ )>
<!ELEMENT mmIFcl:familyHistoryItem (mmIFcl:relation ,
mmIRd:RegisteredDiagnosisModule , mmIFcl:age? ,
                                mmIFcl:memo? )>
<!ELEMENT mmIFcl:relation (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:age (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:memo (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:childhood (mmIFcl:birthInfo? , mmIFcl:vaccination? )>
<!ELEMENT mmIFcl:birthInfo (mmIFc:Facility? , mmIFcl:deliveryWeeks? ,
mmIFcl:deliveryMethod? ,
                                mmIFcl:bodyWeight? , mmIFcl:bodyHeight? ,
mmIFcl:chestCircumference? ,
                                mmIFcl:headCircumference? , mmIFcl:memo? )>
<!ELEMENT mmIFcl:deliveryWeeks (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:deliveryMethod (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:bodyWeight (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIFcl:bodyWeight mmIFcl:unit CDATA #REQUIRED >
<!ELEMENT mmIFcl:bodyHeight (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIFcl:bodyHeight mmIFcl:unit CDATA #REQUIRED >
<!ELEMENT mmIFcl:chestCircumference (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIFcl:chestCircumference mmIFcl:unit CDATA #REQUIRED >
<!ELEMENT mmIFcl:headCircumference (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIFcl:headCircumference mmIFcl:unit CDATA #REQUIRED >
<!ELEMENT mmIFcl:vaccination (mmIFcl:vaccinationItem+ )>
<!ELEMENT mmIFcl:vaccinationItem (mmIFcl:vaccine , mmIFcl:injected , mmIFcl:age? ,
mmIFcl:memo? )>
<!ELEMENT mmIFcl:vaccine (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:injected (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:pastHistory (mmIFcl:freeNotes | mmIFcl:pastHistoryItem* )>
<!ELEMENT mmIFcl:pastHistoryItem (mmIFcl:timeExpression , mmIFcl:eventExpression* )>
<!ELEMENT mmIFcl:timeExpression (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:eventExpression (#PCDATA )>

```

```

<!ELEMENT mmIFcl:chiefComplaints (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:presentIllnessNotes (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIFcl:freeNotes (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 経過記録情報 -->
<!-- ProgressCourseModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIPc:ProgressCourseModule (mmIPc:FreeExpression |
mmIPc:structuredExpression )>
<!ELEMENT mmIPc:problem (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIPc:problem mmIPc:dxUid CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmIPc:subjective (mmIPc:freeNotes | mmIPc:subjectiveItem*)>
<!ELEMENT mmIPc:subjectiveItem ( (mmIPc:timeExpression, mmIPc:eventExpression+ ) )>
<!ELEMENT mmIPc:timeExpression (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:eventExpression (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:objective (mmIPc:objectiveNotes? , mmIPc:physicalExam? ,
mmIPc:testResult? ,
mmIPc:rxRecord? , mmIPc:txRecord? )>
<!ELEMENT mmIPc:physicalExam (mmIPc:physicalExamItem+ )>
<!ELEMENT mmIPc:physicalExamItem (mmIPc:title , mmIPc:result , mmIPc:interpretation? ,
mmIPc:referenceInfo? )>
<!ELEMENT mmIPc:title (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:result (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:interpretation (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:referenceInfo (mmICm:extRef* )>
<!ELEMENT mmIPc:testResult (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmIPc:rxRecord (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmIPc:txRecord (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmIPc:planNotes (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:assessment (mmIPc:assessmentItem+ )>
<!ELEMENT mmIPc:assessmentItem (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:plan (mmIPc:testOrder? , mmIPc:rxOrder? , mmIPc:txOrder? ,
mmIPc:planNotes? )>
<!ELEMENT mmIPc:testOrder (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmIPc:rxOrder (#PCDATA | mmICm:extRef )*>

```

```

<!ELEMENT mmIPc:txOrder (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmIPc:objectiveNotes (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIPc:FreeExpression (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmIPc:structuredExpression (mmIPc:problemItem* )>
<!ELEMENT mmIPc:problemItem (mmIPc:problem? , mmIPc:subjective? , mmIPc:objective? ,
mmIPc:assessment? ,
mmIPc:plan? )>
<!ELEMENT mmIPc:freeNotes (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 手術記録情報 -->
<!-- SurgeryModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmISg:SurgeryModule (mmISg:surgeryItem+ )>
<!ELEMENT mmISg:surgeryItem (mmISg:surgicalInfo , mmISg:surgicalDiagnosis ,
mmISg:surgicalProcedure ,
mmISg:surgicalStaffs? , mmISg:anesthesiaProcedure? ,
mmISg:anesthesiologists? ,
mmISg:anesthesiaDuration? , mmISg:operativeNotes? ,
mmISg:referenceInfo? ,
mmISg:memo? )>
<!ELEMENT mmISg:surgicalInfo (mmISg:date , mmISg:startTime? , mmISg:duration? ,
mmISg:surgicalDepartment? ,
mmISg:patientDepartment? )>
<!ATTLIST mmISg:surgicalInfo mmISg:type (elective | emergent ) #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISg:surgicalDepartment (mmIDp:Department+ )>
<!ELEMENT mmISg:patientDepartment (mmIDp:Department+ )>
<!ELEMENT mmISg:date (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISg:startTime (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISg:duration (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISg:surgicalDiagnosis (mmIRd:RegisteredDiagnosisModule+ )>
<!ELEMENT mmISg:title (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmISg:title mmISg:code CDATA #IMPLIED
mmISg:system CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISg:memo (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISg:surgicalProcedure (mmISg:procedureItem+ )>

```

```

<!ELEMENT mmISg:procedureItem ( (mmISg:operation | mmISg:operationElement) ,
mmISg:procedureMemo? )>
<!ELEMENT mmISg:operationElement (mmISg:operationElementItem+ )>
<!ELEMENT mmISg:operationElementItem (mmISg:title )>
<!ELEMENT mmISg:surgicalStaffs (mmISg:staff+ )>
<!ELEMENT mmISg:staff (mmISg:staffInfo )>
<!ATTLIST mmISg:staff mmISg:superiority CDATA #IMPLIED
mmISg:staffClass CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISg:staffInfo (mmIPsi:PersonalizedInfo+ )>
<!ELEMENT mmISg:anesthesiaProcedure (mmISg:title )>
<!ELEMENT mmISg:anesthesiologists (mmISg:staff* )>
<!ELEMENT mmISg:operativeNotes (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISg:referenceInfo (mmICm:extRef+ )>
<!ELEMENT mmISg:operation (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISg:procedureMemo (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISg:anesthesiaDuration (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 臨床サマリー情報 -->
<!-- SummaryModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmISm:SummaryModule (mmISm:serviceHistory,
mmIRd:RegisteredDiagnosisModule*,
mmISm:deathInfo? , mmISg:SurgeryModule* ,
mmISm:chiefComplaints?,
mmISm:patientProfile? , mmISm:history? ,
mmISm:physicalExam? ,
mmISm:clinicalCourse? , mmISm:dischargeFindings? ,
mmISm:medication? ,
mmISm:testResults? , mmISm:plan? , mmISm:remarks? )>
<!ELEMENT mmISm:serviceHistory (mmISm:outPatient? , mmISm:inPatient? )>
<!ATTLIST mmISm:serviceHistory mmISm:start CDATA #IMPLIED
mmISm:end CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISm:outPatient (mmISm:outPatientItem* )>
<!ELEMENT mmISm:inPatient (mmISm:inPatientItem* )>
<!ELEMENT mmISm:outPatientItem (mmISm:date , mmISm:outPatientCondition? ,

```

```

mmISm:staffs? )>
<!ELEMENT mmISm:inPatientItem (mmISm:admission , mmISm:discharge , mmISm:staffs? )>
<!ELEMENT mmISm:date (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISm:outPatientCondition (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmISm:outPatientCondition mmISm:first CDATA #IMPLIED
mmISm:emergency (true | false ) #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISm:staffs (mmISm:staffInfo+ )>
<!ELEMENT mmISm:admission (mmISm:date , mmISm:admissionCondition? ,
mmISm:referFrom? )>
<!ELEMENT mmISm:discharge (mmISm:date , mmISm:dischargeCondition? , mmISm:referTo? )>
<!ELEMENT mmISm:admissionCondition (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmISm:admissionCondition mmISm:emergency (true | false ) #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISm:referFrom (mmIPsi:PersonalizedInfo )>
<!ELEMENT mmISm:dischargeCondition (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmISm:dischargeCondition mmISm:outcome (died |
worsening |
unchanged |
recovering |
fullyRecovered |
sequelae |
end |
pause |
continued |
transfer |
transferAcute |
transferChronic |
home |
unknown ) #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISm:referTo (mmIPsi:PersonalizedInfo )>
<!ELEMENT mmISm:staffInfo (mmIPsi:PersonalizedInfo , mmICi:creatorLicense+ )>
<!ELEMENT mmISm:deathInfo (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmISm:deathInfo mmISm:date CDATA #IMPLIED
mmISm:autopsy (true | false ) #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISm:chiefComplaints (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISm:patientProfile (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISm:history (#PCDATA )>

```



```

<!ELEMENT mmISm:physicalExam (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmISm:clinicalCourse (mmISm:clinicalRecord+ )>
<!ELEMENT mmISm:dischargeFindings (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmISm:medication (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmISm:testResults (mmISm:testResult+ )>
<!ELEMENT mmISm:plan (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmISm:remarks (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmISm:clinicalRecord (#PCDATA | mmICm:extRef | mmISm:relatedDoc )*>
<!ATTLIST mmISm:clinicalRecord mmISm:date CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISm:testResult (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ATTLIST mmISm:testResult mmISm:date CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT mmISm:relatedDoc (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmISm:relatedDoc mmISm:relation CDATA #IMPLIED >

<!--*****-->
<!-- 検歴情報 -->
<!-- TestModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmILb:TestModule (mmILb:information, mmILb:laboTest+)>
<!ELEMENT mmILb:information (mmILb:reportStatus, mmILb:set?, mmILb:facility,
mmILb:department?, mmILb:ward?, mmILb:client?,
mmILb:laboratoryCenter, mmILb:technician?,
mmILb:repMemo*,
mmILb:repMemoF?)>
<!ELEMENT mmILb:laboTest (mmILb:specimen, mmILb:item+)>
<!ATTLIST mmILb:information mmILb:registId CDATA #REQUIRED
mmILb:sampleTime CDATA #IMPLIED
mmILb:registTime CDATA #REQUIRED
mmILb:reportTime CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmILb:reportStatus (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:reportStatus mmILb:statusCode CDATA #REQUIRED
mmILb:statusCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmILb:set (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:set mmILb:setCode CDATA #IMPLIED
mmILb:setCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:facility (#PCDATA )>

```

```

<!ATTLIST mmILb:facility mmILb:facilityCode CDATA #REQUIRED
                mmILb:facilityCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmILb:department (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:department mmILb:depCode CDATA #IMPLIED
                mmILb:depCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:ward (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:ward mmILb:wardCode CDATA #IMPLIED
                mmILb:wardCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:client (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:client mmILb:clientCode CDATA #IMPLIED
                mmILb:clientCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:laboratoryCenter (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:laboratoryCenter mmILb:centerCode CDATA #REQUIRED
                mmILb:centerCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmILb:technician (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:technician mmILb:techCode CDATA #IMPLIED
                mmILb:techCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:repMemo (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:repMemo mmILb:repCodeName CDATA #IMPLIED
                mmILb:repCode CDATA #IMPLIED
                mmILb:repCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:repMemoF (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmILb:specimen (mmILb:specimenName, mmILb:spcMemo*, mmILb:spcMemoF?)>
<!ELEMENT mmILb:specimenName (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:specimenName mmILb:spCode CDATA #REQUIRED
                mmILb:spCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmILb:spcMemo (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:spcMemo mmILb:smCodeName CDATA #IMPLIED
                mmILb:smCode CDATA #IMPLIED
                mmILb:smCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:spcMemoF (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmILb:item (mmILb:itemName, mmILb:value, mmILb:numValue?, mmILb:unit?,
                mmILb:referenceInfo?, mmILb:itemMemo*, mmILb:itemMemoF?)>
<!ELEMENT mmILb:itemName (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:itemName mmILb:itCode CDATA #REQUIRED
                mmILb:itCodeId CDATA #REQUIRED

```

```

mmILb:Acode CDATA #IMPLIED
mmILb:Icode CDATA #IMPLIED
mmILb:Scode CDATA #IMPLIED
mmILb:Mcode CDATA #IMPLIED
mmILb:Rcode CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:value (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmILb:numValue (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:numValue mmILb:up CDATA #IMPLIED
mmILb:low CDATA #IMPLIED
mmILb:normal CDATA #IMPLIED
mmILb:out CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:unit (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:unit mmILb:uCode CDATA #IMPLIED
mmILb:uCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:referenceInfo (mmICm:extRef*)>
<!ELEMENT mmILb:itemMemo (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmILb:itemMemo mmILb:imCodeName CDATA #IMPLIED
mmILb:imCode CDATA #IMPLIED
mmILb:imCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmILb:itemMemoF (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 報告書情報 -->
<!-- ReportModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIRp:ReportModule (mmIRp:information, mmIRp:reportBody)>
<!ELEMENT mmIRp:information (mmIRp:reportStatus, mmIRp:testClass,
mmIRp:testSubclass?,
mmIRp:organ?, mmIRp:consultFrom?, mmIRp:perform)>
<!ATTLIST mmIRp:information mmIRp:performTime CDATA #REQUIRED
mmIRp:reportTime CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmIRp:reportStatus (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:reportStatus mmIRp:statusCode CDATA #REQUIRED
mmIRp:statusCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmIRp:testClass (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:testClass mmIRp:testClassCode CDATA #REQUIRED

```

```

                mmIRp:testClassCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmIRp:testSubclass (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:testSubclass mmIRp:testSubclassCode CDATA #IMPLIED
                mmIRp:testSubclassCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:organ (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRp:consultFrom (mmIRp:conFacility?, mmIRp:conDepartment?,
mmIRp:conWard?,
                mmIRp:client?)>
<!ELEMENT mmIRp:conFacility (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:conFacility mmIRp:facilityCode CDATA #IMPLIED
                mmIRp:facilityCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:conDepartment (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:conDepartment mmIRp:depCode CDATA #IMPLIED
                mmIRp:depCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:conWard (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:conWard mmIRp:wardCode CDATA #IMPLIED
                mmIRp:wardCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:client (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:client mmIRp:clientCode CDATA #IMPLIED
                mmIRp:clientCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:perform (mmIRp:pFacility, mmIRp:pDepartment?, mmIRp:pWard?,
mmIRp:performer,
                mmIRp:supervisor?)>
<!ELEMENT mmIRp:pFacility (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:pFacility mmIRp:facilityCode CDATA #REQUIRED
                mmIRp:facilityCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmIRp:pDepartment (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:pDepartment mmIRp:depCode CDATA #IMPLIED
                mmIRp:depCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:pWard (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:pWard mmIRp:wardCode CDATA #IMPLIED
                mmIRp:wardCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:performer (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:performer mmIRp:performerCode CDATA #REQUIRED
                mmIRp:performerCodeId CDATA #REQUIRED>
<!ELEMENT mmIRp:supervisor (#PCDATA )>

```

```

<!ATTLIST mmIRp:supervisor mmIRp:supervisorCode CDATA #IMPLIED
                    mmIRp:supervisorCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:reportBody (mmIRp:chiefComplaints?, mmIRp:testPurpose?,
mmIRp:testDx?,
                    mmIRp:testNotes?, mmIRp:testMemo*, mmIRp:testMemoF?)>
<!ELEMENT mmIRp:chiefComplaints (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRp:testPurpose (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRp:testDx (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRp:testNotes (#PCDATA | mmICm:extRef )*>
<!ELEMENT mmIRp:testMemo (#PCDATA )>
<!ATTLIST mmIRp:testMemo mmIRp:tmCodeName CDATA #IMPLIED
                    mmIRp:tmCode CDATA #IMPLIED
                    mmIRp:tmCodeId CDATA #IMPLIED>
<!ELEMENT mmIRp:testMemoF (#PCDATA )>

<!--*****-->
<!-- 紹介状情報 -->
<!-- ReferralModule DTD Version 1.0 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT mmIRe:ReferralModule (mmIPi:PatientModule, mmIRe:occupation?,
mmIRe:referFrom,
                    mmIRe:title, mmIRe:greeting?,mmIRe:chiefComplaints,
                    mmIRe:clinicalDiagnosis?, mmIRe:pastHistory?,
mmIRe:familyHistory?,
                    mmIRe:presentIllness, mmIRe:testResults?,
mmISm:clinicalCourse?,
                    mmIRe:medication?, mmIRe:referPurpose, mmIRe:remarks?,
                    mmIRe:referToFacility, mmIRe:referToPerson?,
                    mmIRe:referToUnknownName?)>
<!ELEMENT mmIRe:occupation (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRe:referFrom (mmIPsi:PersonalizedInfo)>
<!ELEMENT mmIRe:title (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRe:greeting (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRe:chiefComplaints (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRe:clinicalDiagnosis (#PCDATA )>
<!ELEMENT mmIRe:pastHistory (#PCDATA | mmICm:extRef )*>

```

```

<!ELEMENT mmlRe:familyHistory (#PCDATA | mmlCm:extRef )*>
<!ELEMENT mmlRe:presentIllness (#PCDATA | mmlCm:extRef )*>
<!ELEMENT mmlRe:testResults (#PCDATA | mmlCm:extRef )*>
<!ELEMENT mmlRe:medication (#PCDATA | mmlCm:extRef )*>
<!ELEMENT mmlRe:referPurpose (#PCDATA) >
<!ELEMENT mmlRe:remarks (#PCDATA | mmlCm:extRef )*>
<!ELEMENT mmlRe:referToFacility (mmlFc:Facility, mmlDp:Department?) >
<!ELEMENT mmlRe:referToPerson (mmlPsi:PersonalizedInfo) >
<!ELEMENT mmlRe:referToUnknownName (#PCDATA) >

<!--*****-->
<!-- 予約請求モジュール -->
<!-- ClaimModule DTD Version 2.1 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT claim:ClaimModule (claim:information, claim:bundle+) >
<!ELEMENT claim:information (claim:appoint?, claim:patientDepartment?,
claim:patientWard?,
                mmlHi:insuranceClass?) >
<!ATTLIST claim:information  claim:status      CDATA  #REQUIRED
                            claim:orderTime   CDATA  #IMPLIED
                            claim:appointTime  CDATA  #IMPLIED
                            claim:registTime   CDATA  #IMPLIED
                            claim:performTime  CDATA  #IMPLIED
                            claim:admitFlag    CDATA  #REQUIRED
                            claim:timeClass    CDATA  #IMPLIED
                            claim:insuranceUid  CDATA  #IMPLIED
                            claim:defaultTableId CDATA  #IMPLIED >
<!ELEMENT claim:bundle (claim:className?, claim:administration?,
                        claim:admMemo?, claim:bundleNumber?, claim:item+,
claim:memo?) >
<!ATTLIST claim:bundle  claim:classCode    CDATA  #IMPLIED
                        claim:classCodeId  CDATA  #IMPLIED >
<!ELEMENT claim:appoint (claim:appName*, claim:memo?) >
<!ELEMENT claim:appName (#PCDATA) >
<!ATTLIST claim:appName  claim:appCode     CDATA  #IMPLIED
                        claim:appCodeId    CDATA  #IMPLIED >

```

```

<!ELEMENT claim:patientDepartment (mmIDp:Department) >
<!ELEMENT claim:patientWard (mmIDp:Department) >
<!ELEMENT claim:className (#PCDATA) >
<!ELEMENT claim:administration (#PCDATA) >
<!ATTLIST claim:administration claim:adminCode CDATA #IMPLIED
                                claim:adminCodeId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claim:admMemo (#PCDATA) >
<!ELEMENT claim:bundleNumber (#PCDATA) >
<!ELEMENT claim:item (claim:name, claim:number*, claim:duration?, claim:location*,
                    claim:film*, claim:event?, claim:memo?) >
<!ATTLIST claim:item claim:subclassCode CDATA #IMPLIED
                    claim:subclassCodeId CDATA #IMPLIED
                    claim:code CDATA #REQUIRED
                    claim:tableId CDATA #IMPLIED
                    claim:aliasCode CDATA #IMPLIED
                    claim:aliasTableId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claim:name (#PCDATA) >
<!ELEMENT claim:number (#PCDATA) >
<!ATTLIST claim:number claim:numberCode CDATA #REQUIRED
                    claim:numberCodeId CDATA #REQUIRED
                    claim:unit CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claim:duration (#PCDATA) >
<!ELEMENT claim:location (#PCDATA) >
<!ELEMENT claim:film (claim:filmSize, claim:filmNumber) >
<!ELEMENT claim:event (#PCDATA) >
<!ATTLIST claim:event claim:eventStart CDATA #IMPLIED
                    claim:eventEnd CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claim:memo (#PCDATA) >
<!ELEMENT claim:filmSize (#PCDATA) >
<!ATTLIST claim:filmSize claim:sizeCode CDATA #IMPLIED
                    claim:sizeCodeId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claim:filmNumber (#PCDATA) >

<!--*****-->
<!-- 点数金額モジュール -->

```

```

<!-- ClaimAmountModule DTD Version 2.1 -->
<!--*****-->
<!ELEMENT claimA:ClaimAmountModule (claimA:amountInformation, claimA:bundle+) >
<!ELEMENT claimA:amountInformation (claimA:patientDepartment?, claimA:patientWard?,
mmIHi:insuranceClass?) >
<!ATTLIST claimA:amountInformation claimA:status CDATA #REQUIRED
claimA:oderTime CDATA #IMPLIED
claimA:appointTime CDATA #IMPLIED
claimA:registTime CDATA #IMPLIED
claimA:performTime CDATA #IMPLIED
claimA:accountTime CDATA #IMPLIED
claimA:admitFlag CDATA #REQUIRED
claimA:timeClass CDATA #IMPLIED
claimA:insuranceUid CDATA #IMPLIED
claimA:defaultTableId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claimA:bundle (claimA:className?, claimA:claimBundlePoint,
claimA:claimBundleRate, claimA:administration?,
claimA:admMemo?, claimA:bundleNumber?,
claimA:methodPoint?, claimA:materialPoint?,
claimA:drugPoint?,
claimA:ppsClass?, claimA:item+, claimA:memo?) >
<!ATTLIST claimA:bundle claimA:classCode CDATA #IMPLIED
claimA:classCodeId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claimA:patientDepartment (mmIDp:Department) >
<!ELEMENT claimA:patientWard (mmIDp:Department) >
<!ELEMENT claimA:className (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:claimBundlePoint (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:claimBundleRate (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:administration (#PCDATA) >
<!ATTLIST claimA:administration claimA:adminCode CDATA #IMPLIED
claimA:adminCodeId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claimA:admMemo (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:bundleNumber (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:methodPoint (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:materialPoint (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:drugPoint (#PCDATA) >

```



```

<!ELEMENT claimA:ppsClass (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:item (claimA:name, claimA:number*, claimA:claimPoint?,
                        claimA:claimRate, claimA:duration?,
                        claimA:location*, claimA:film*, claimA:event?, claimA:memo?)>
<!ATTLIST claimA:item claimA:subclassCode CDATA #IMPLIED
                      claimA:subclassCodeId CDATA #IMPLIED
                      claimA:code CDATA #REQUIRED
                      claimA:tableId CDATA #IMPLIED
                      claimA:aliasCode CDATA #IMPLIED
                      claimA:aliasTableId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claimA:name (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:number (#PCDATA) >
<!ATTLIST claimA:number claimA:numberCode CDATA #REQUIRED
                      claimA:numberCodeId CDATA #REQUIRED
                      claimA:unit CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claimA:claimPoint (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:claimRate (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:duration (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:location (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:film (claimA:filmSize, claimA:filmNumber) >
<!ELEMENT claimA:event (#PCDATA) >
<!ATTLIST claimA:event claimA:eventStart CDATA #IMPLIED
                      claimA:eventEnd CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claimA:memo (#PCDATA) >
<!ELEMENT claimA:filmSize (#PCDATA) >
<!ATTLIST claimA:filmSize claimA:sizeCode CDATA #IMPLIED
                      claimA:sizeCodeId CDATA #IMPLIED >
<!ELEMENT claimA:filmNumber (#PCDATA) >

]>

```

MML テーブル一覧

MML テーブル一覧

テーブル番号

MML0001 Check digit schema (チェックディジット方式 HL7-0061 準拠)

Value	Description
M10	Mod 10 algorithm
M11	Mod 11 algorithm

MML0002 Address Type (HL7-0190 準拠)

Value	Description
current	Current or Temporary
permanent	Permanent
mailing	Mailing
business	Business
office	Office
home	Home
birth	Birth
county	County of Origin

MML0003 Telecommunication Equipment Type (HL7table0202 準拠)

Value	Description
PH	Telephone
FX	Fax
MD	Modem
CP	Cellular Phone
BP	Beeper/Pager
Internet	Internet Address: Use only if telecommunication use code
X.400	X.400 email address: use only if telecommunication use co

MML0004 Extraction policy (抽出基準)

Value	Description
firstEncounter	初診時情報
laboratory	検査情報
prescription	処方箋
summary	作成対象期間の要約
random	特に基準なく抽出
nonExtracted	抽出をしていない
other	その他

MML0005 Content module type (記載内容モジュールの種別)

Value	Description
patientInfo	patient module
healthInsurance	health insurance module
registeredDiagnosis	registered diagnosis module
lifestyle	lifestyle module
baseClinic	base clinic module
firstClinic	first clinic module
progressCourse	progress course module
surgery	surgery module
summary	summary module
claim	予約請求モジュール
claimAmount	点数金額モジュール
referral	紹介状モジュール
test	検歴情報モジュール
report	報告書モジュール

MML0006 Access (アクセス権者)

Value	Description
all	全てのアクセス者
creatorFacility	文書の記載者と同じ施設のもの
creatorDepartment	文書の記載者と同じ診療科のもの
creator	文書の記載者
patient	患者
doctor	医師
nurse	看護婦
dentist	歯科医師

MML0007 Generation purpose(文書詳細種別)

Value	Description
record	診療記録
recordAdmission	入院時診療記録
recordInpatient	入院中診療経過記録
recordConsult	紹介時診療記録 (状態, 処方, 検査値等)
recordDischarge	退院時診療記録 (状態, 処方, 検査値等)
recordOutpatient	外来診療記録
legalRecord	法的義務に基づく診療記録
consult	紹介状
report	返書報告書
reportRadiology	放射線報告書
reportPathology	病理報告書
reportTest	検歴報告書
summary	要約
summaryAdmission	要約 (入院時)
summaryPreoperation	要約 (術前)
summaryPostoperation	要約 (術後)
summaryMid	要約 (中間)
summaryDischarge	要約 (退院時)
summaryOutpatient	要約 (外来)

disclosure	患者診療情報開示用
informedConsent	患者説明文書
study	研究用記録
other	その他
claim	医事情報

MML0008 Document relation (関連文書との関係)

Value	Description
origin	parent 文書は原因で ,本文書はその結果である .
oldEdition	parent 文書は訂正前文書で ,本文書はその訂正後文書である .
order	parent 文書はオーダーで ,本文書はそのオーダー結果である .
consult	parent 文書はコンサルト(質問 ,依頼)で ,本文書はその返答である .
originalDiagnosis	parent 文書は変遷前病名で ,本文書はその変遷後病名である .
diagnosis	parent 文書は病名で ,本文書はその関連情報である .
surgery	parent 文書は手術記録情報で ,本文書はその関連情報である .
patient	parent 文書は患者情報で ,本文書はその関連情報である .
surgery	parent 文書は手術記録情報で ,本文書はその関連情報である .
patient	parent 文書は患者情報で ,本文書はその関連情報である .
healthInsurance	parent 文書は健康保険で ,本文書はその関連情報である .
detail	parent 文書は詳細情報で ,本文書はその要約である .
simpleLink	parent 文書は本文書の参照情報である .

MML0009 Other ID type (その他の ID 種別)

Value	Description
temporaryPatientId	緊急時の患者本人の仮 ID
spouseId	配偶者の ID
motherId	母親の ID
fatherId	父親の ID

childId	子供の ID
relativId	親戚の ID
roommatId	同居人の ID
friendId	知人の ID
representativId	代理人の ID
emergencyContactId	緊急連絡者の ID
coWorkerId	職場の関係者の ID

MML0010 Sex (性別)

Value	Description
female	Female
male	Male
other	Other
unknown	Unknown

MML0011 Marital Status (婚姻状態 ,HL7table0002 準拠)

Value	Description
separated	Separated
divorced	Divorced
married	Married
single	Single
widowed	Widowed

MML0012 Diagnosis category 1

Value	Description
mainDiagnosis	主病名
complication	合併 (併存) 症
drg	診断群名 (DRG)

MML0013 Diagnosis category 2

Value	Description
academicDiagnosis	学術診断名
claimingDiagnosis	医事病名

MML0014 Diagnosis category 3

Value	Description
clinicalDiagnosis	臨床診断名
pathologicalDiagnosis	病理診断名
laboratoryDiagnosis	検査診断名
operativeDiagnosis	手術診断名

MML0015 Diagnosis category 4

Value	Description
confirmedDiagnosis	確定診断
suspectedDiagnosis	疑い病名

MML0016 Outcome (転帰)

Value	Description
died	死亡
worsening	悪化
unchanged	不変
recovering	回復
fullyRecovered	全治
sequelae	続発症 (の発生)
end	終了
pause	中止

continued	継続
transfer	転医
transferAcute	転医(急性病院へ)
transferChronic	転医(慢性病院へ)
home	自宅等へ退院
unknown	不明

MML0017 Allergy Severity (アレルギー反応程度)

Value	Description
severe	Severe
moderate	Moderate
mild	Mild
noReaction	No allergic reaction

MML0018 ABO blood type (ABO 式血液型)

Value	Description
a	A 型
b	B 型
o	O 型
ab	AB 型

MML0019 Rho(D) blood type (Rho(D)式血液型)

Value	Description
rhD+	Rho(D)+型
rhD-	Rho(D)-型

MML0020 Relative code (続柄コード)

Value	Description
-------	-------------

self	本人
wife	妻
husband	夫
brother	兄弟
sister	姉妹
cousin	いとこ
secondCousin	はとこ
mother	母
father	父
aunt	おば
uncle	おじ
grandMother	祖母
grandFather	祖父
greatGrandMother	曾祖母
greatGrandFather	曾祖父
daughter	娘
son	息子
grandDaughter	孫娘
grandSon	孫息子
greatGrandDaughter	曾孫娘
greatGrandSon	曾孫息子
other	その他

補足 1 : 義理の「関係」の場合は ,Value の末尾に 「InLaw 」を追加する .

補足 2 注釈が必要な場合は ,mmlFcl:familyHistoryItem 内の mmlFcl:memo にテキスト入力
例 腹違いの兄 .同居中の遠縁のもの .

MML0021 Type of surgery (手術区分)

Value	Description
elective	待期手術
emergent	緊急手術

MML0022 Classification of surgical staffs (手術スタッフ区分)

Value	Description
operator	執刀者
assistant	手術助手
scrubNurse	器械出し看護婦(士)
perfusionist	体外循環等担当者
other	その他

MML0023 Classification of anesthesiologists (麻酔医区分)

Value	Description
anesthesiologist	麻酔者
assistant	麻酔助手
supervisor	麻酔監督者

MML0024 ID type (ID 区分)

Value	Description
national	全国統一 ID
local	地域 ID
facility	施設内 ID

MML0025 Name representation code (表記コード, HL7table4000 準拠)

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji)
A	Alphabetic (i.e., Default or single-byte)
P	Phonetic((i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc.)

MML0026 Creator license code (記録者分類および医療資格コード)

Value	Description
-------	-------------

doctor	医師
dentist	歯科医師
nurse	看護婦
assistantNurse	准看護婦
lab	臨床検査技師
rad	レントゲン技師
pharmacist	薬剤師
pt	理学療法士
ot	作業療法士
psy	精神保険福祉士
cps	臨床心理技術者
nutritionist	栄養士
dentalHygienist	歯科衛生士
dentalTechnician	歯科技工士
clinicalEngineer	臨床工学士
careManager	介護支援専門員
other	その他の医療従事者
acupuncturist	鍼灸師
patient	患者およびその代理人

MML0027 Facility ID type (施設 ID 区分)

Value	Description
ca	認証局 (Certification Authority) 発行 ID
insurance	保険医療機関コード
monbusho	文部省大学附属病院施設区分
JMARI	日本医師会総合政策研究機構コード

MML0028 Medical Department ID type (医科診療科コード)

Value	Description
01	内科
02	精神科
03	神経科
04	神経内科

05	呼吸器科
06	消化器科
07	胃腸科
08	循環器科
09	小児科
10	外科
11	整形外科
12	形成外科
13	美容外科
14	脳神経外科
15	呼吸器外科
16	心臓血管外科
17	小児外科
18	皮膚ひ尿器科
19	皮膚科
20	ひ尿器科
21	性病科
22	こう門科
23	産婦人科
24	産科
25	婦人科
26	眼科
27	耳鼻いんこう科
28	気管食道科
29	理学診療科
30	放射線科
31	麻酔科
32	人工透析科
33	心療内科
34	アレルギー
35	リウマチ
36	リハビリ
A1	鍼灸

MML0029 Department ID type

Value	Description
medical	医科診療科コード(MML0028 参照)
dental	歯科診療科コード(MML0030 参照)
facility	施設内 (ユーザー定義)診療科コード

MML0030 Dental Department ID type (歯科診療科コード)

Value	Description
01	歯科
02	小児歯科
03	矯正歯科
04	歯科口腔外科

MML0031 Insurance Class (保健種別)

Value	Description
01	政府管掌
02	船員
03	日雇
04	日雇 特例
06	組合
07	自衛官等
31	国家共済
32	地方共済
33	警察共済
34	教職共済
00	国保
10	結予 34条
11	桔予 35条

12	生活保護
13	戦傷療養
14	戦傷更生
15	身障更生
16	児童育成
17	児童療養
18	原爆認定
19	原爆一般
20	精神 29条
21	精神 32条
22	麻薬
23	母子養育
27	老人保険
41	老人 県
42	老人 市
51	特定疾患
52	小児慢性
53	児童保護
67	退職者
63	特定健保
72	国家特定
73	地方特定
74	警察特定
75	教職特定
Z1	自費 1
Z2	自費 2
Z3	自費 3

MML0032 Pay Ratio Type (負担方法コード)

Value	Description
val	意味
fix	定額負担
ratio	割合負担

MML0033 Medical Role

Value	Description
laboratoryTest	検体検査
endoScopy	内視鏡検査
xRay	単純レントゲン写真
upperGi	上部消化管造影検査
baEnema	バリウム注腸検査
ctScan	CT スキャン
mri	MRI
riInVivo	RI 画像検査
angioGraphy	血管造影
otherRadiology	その他の放射線学的検査
echo	エコー
ecg	心電図
eeg	脳波
emg	筋電図
pcg	心音図
pulmonaryFunction	肺機能検査
otherPhysiologicalTest	その他の生理学的検査
prescription	処方箋
vitalSign	熱型表
physicalExam	理学所見 (図など)
anesthesiaCourse	麻酔経過表
pathology	病理検査 (画像など)
surgicalFigure	手術記録図
referencePaper	参考文献
referenceFigure	参考図
treatment	処置 (指示, 記録など)
other	上記に含まれないもの

MML0034 アクセス許可区分

Value	Description
-------	-------------

none	すべてのアクセスを不許可
read	参照を許可
write	参照，修正を許可
delete	参照，削除を許可
all	参照，修正，削除を許可

MML0035 施設アクセス権定義

Value	Description
all	全施設
creator	記載者の施設
experience	診療歴のある施設
individual	施設 ID 個別指定

MML0036 個人アクセス権定義

Value	Description
all	全てのアクセス者
creator	記載者本人
patient	被記載者 (患者) 本人
individual	個人 ID 個別指定

Medical Markup Language Part II

Data Exchange Specification

Contents

- 本仕様について
- データ制御方式
- MML データ交換制御内容
- MML データ交換用 PI コマンド仕様
 - Processing Instruction の出現位置
- MML Processing Instruction コマンド解説
 - mmlAppend
 - mmlDelete
 - mmlQuery
 - mmlResult
 - mmlItemResult
- データ照会要求の運用例
 - 1 . データ照会要求 (文書リストの要求)
 - 2 . 文書リストの返答
 - 3 . データ照会要求 (文書本文の要求)
 - 4 . 文書の返答

本仕様について

本仕様は MML インスタンスデータの電子システム間での交換方式を示す。MML インスタンス内に、以下に記述しているデータ制御のための何らかの命令を示すデータが存在しない場合は、そのインスタンスはシステム間でやり取りされた電文データではないことを意味する。

本仕様は、後述する追加、削除、照会を定義するものであって、低位の通信プロトコルを定めるものではない。従って、通信に関しては、ftp, http, smtp, off-line media など、コ

ーザの事情に応じて選択することが出来る。これらの通信方法については、ユーザの運用に任せ、本仕様では規定しない。

データ制御方式

MML データを相互に交換するための制御方式として、MML インスタンスに対する操作はインスタンス内に埋め込まれた Processing Instruction で定義する。MML を処理するプロセッサ（以後、MML Processor と記す）は、この Processing Instruction を解釈可能とする。

MML データ交換制御内容

MML データ交換制御内容として以下の 3 つを定める。

- MML データの追加
- MML データの削除
- MML データの照会

MML データ交換用 PI コマンド仕様

MML データ交換における Processing Instruction コマンドの一覧は下記の通りである。

Processing Instruction	説明
mmlQuery	MML データの照会要求
mmlAppend	MML データの追加要求
mmlDelete	MML データの削除要求
mmlResult	MML データの返答
mmlItemResult	MmlModuleItem データの返答

Processing Instruction の出現位置

- mmlQuery, mmlAppend, mmlDelete の各コマンドは MML インスタンス内に 1 回のみ出現する。出現位置は、<Mml>タグと<MmlHeader>の間に出現するものとする。
- mmlResult は<Mml>タグの次に出現する。
- mmlItemResult は、各<MmlModuleItem>と<docInfo>タグの間に出現する。

例：

```
-----
<Mml>
  <?mmlQuery type="patient"
    startDate="1999-07-03" endDate="1999-07-10"
    reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <MmlHeader>
    省略
  </MmlHeader>
    省略
</Mml>
-----
```

MML Processing Instruction コマンド解説

mmlAppend

MML データの追加要求するときに使用するコマンドとする。

Append コマンドには、1 つの追加フィールド「reqId」が必要とされる。

「reqId」フィールドはリクエストのユニーク番号を付加する。このフィールドにより、データのリクエスト側は、返ってきた Result 情報がどのリクエストに対する内容かを確認できる。ユニーク番号の形式は UUID とする。(UUID はハイフンを含めた形式とする)

例：

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている。

```
-----
<Mml>
<?mmlAppend reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <MmlHeader>
    <masterId>
      <mmlCm:Id
        mmlCm:type="facility"
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"
        mmlCm:checkDigit="5"
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
        12345678
      </mmlCm:Id
    </masterId>
  </MmlHeader>
</Mml>
-----
```

```
                </mmlCm:Id>
            </masterId>
</MmlHeader>
<MmlBody>
    <MmlModuleItem type="registerdDiagnosis">
        :
        :
    </MmlModuleItem>
    <MmlModuleItem type="lifestyle">
        :
        :
    </MmlModuleItem>
    <MmlModuleItem type="healthInsurance">
        :
        :
    </MmlModuleItem>
</MmlBody>
</Mml>
```

mmlDelete

MML データの削除要求するとき使用するコマンドとする。

Delete コマンドには、1 つの追加フィールド「reqId」が必要とされる。「reqId」の形式は、前述の mmlAppend と同様。

削除の対象は、文書 ID によって 指定する。すなわち、<MmlModuleItem>にある <docInfo> 内の docId に対応するものとする。

本規格書では、削除要求を受けた MML Processor が、データをどのように処理するかは規定しない。ただし、電子保存文書の真正性を保証するためには、実体を消去するのではなく、ユーザーインターフェイス上非表示にするに留めることが望ましいと考えられる。

例：

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている。

```
<Mml>
  <?mmlDelete reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <MmlHeader>
    <masterId>
      <mmlCm:Id
        mmlCm:type="facility"
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"
        mmlCm:checkDigit="5"
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
        12345678
      </mmlCm:Id>
    </masterId>
  </MmlHeader>
  <MmlBody>
    <MmlModuleItem type="healthInsurance">
      <docInfo>
        <docId>
          <uid>9df7faa0-b095-11d3-9083-00c02611b018</uid>
        </docId>
      </docInfo>
    </MmlModuleItem>
  </MmlBody>
</Mml>
```

mmlQuery

何らかの MML データの抽出要求時に使用するコマンドとして、mmlQuery を使用する。Query コマンドには、2 つの必須フィールドと 2 つのオプションフィールドが必要とされる。

Type (必須)

「type」フィールドの値に基づいて、リクエストする交換データを規定することができる。type の形式は以下の 3 種類とする。

type= " patient " -----一患者における各 Body データ（文書全体）の要求と返答
type= " list " -----一患者における MmlModuleItem 内容のリスト（docInfo 文書ヘッダ
情報）の要求
type= " statistics " ---- 統計情報の要求と返答（本仕様では、このタイプを予約すること
のみを規定する。）

「type」フィールドは以下のように規定される。

- type= " patient " の場合
 - <MmlHeader>内の<masterId>に書かれている内容をもとにデータを返す。該当データがない（要求された患者の情報がない場合）場合は Result 電文の status にエラーが返る。
- type= " list " の場合
 - <MmlHeader>内の<masterId>に書かれている内容をもとに MmlModuleItem の docInfo（文書ヘッダ）を返す。
- type= ' statistics ' の場合
 - header 部分の masterId には文字列「anonymous」を入れてリクエストする。本仕様では、type= ' statistics “ を統計情報抽出用として予約するのみとする。統計情報抽出についてのインターフェースは本仕様では規定しない。今後の仕様検討で統計情報抽出についてのインターフェースを規定する。

reqId（必須）

「reqId」の形式は、前述の mmlAppend と同様とする。

startDate , endDate（オプション）

「startDate」、「endDate」は抽出したいデータの期間を指定する。ここで記述される日付形式は、Part I で規定されている日付形式とする。「startDate」、「endDate」が省略された場合、すべての期間を表す。「startDate」が省略された場合は、「endDate」までの期間とし、「endDate」が省略されている場合は、「startDate」から現在までを意味する。

要求文書の指定（モジュール種別指定）

mmlQuery では、照会要求を行う対象をモジュール種別を指定することにより行うことができる。すなわち、<MmlBody>エレメントの<MmlModuleItem>の属性「type」に要求したいデータのタイプをセットして、<MmlModuleItem>エレメントを空要素形式として送信する。

要求文書の指定 (文書 ID の指定)

mmlQuery では、照会要求を行う文書の文書 ID を指定することにより要求を行うことができる。<docInfo>情報内の<docId>内の<uid>に要求したいデータの Id を設定して送信する。

要求文書の指定(グループ ID の指定)

mmlQuery では、照会要求を行う一連の文書のグループ ID を指定することにより要求を行うことができる。<docInfo>情報内の<docId>内の<groupId>に要求したいデータの Id を設定して送信する。

例：診断履歴情報の文書リスト要求 (文書ヘッダのみの要求)

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている。

```
-----  
<Mml>  
  <?mmlQuery type="list" reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>  
  <MmlHeader>  
    <masterId>  
      <mmlCm:Id  
        mmlCm:type="facility"  
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"  
        mmlCm:checkDigit="5"  
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >  
        12345678  
      </mmlCm:Id>  
    </masterId>  
  </MmlHeader>  
  <MmlBody>  
    <MmlModuleItem type="registerdDiagnosis"/>  
  </MmlBody>  
</Mml>
```

例：診断履歴，生活習慣，健康保険情報の文書要求 (文書全体)

期間を 2000-01-01 から 2001-12-31 とする。

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている。

```
<Mml>
  <?mmlQuery type="patient" reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"
    startDate="2000-01-01" endDate="2001-12-31" ?>
  <MmlHeader>
    <masterId>
      <mmlCm:Id
        mmlCm:type="facility"
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"
        mmlCm:checkDigit="5"
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
        12345678
      </mmlCm:Id>
    </masterId>
  </MmlHeader>
  <MmlBody>
    <MmlModuleItem type="registerdDiagnosis"/>
    <MmlModuleItem type="lifestyle"/>
    <MmlModuleItem type="healthInsurance"/>
  </MmlBody>
</Mml>
```

例：文書 ID による文書要求（文書全体）

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている。

```
<Mml>
  <?mmlQuery type="patient" reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <MmlHeader>
    <masterId>
      <mmlCm:Id
        mmlCm:type="facility"
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"
        mmlCm:checkDigit="5"
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
        12345678
      </mmlCm:Id>
```



```

        </masterId>
    </MmlHeader>
<MmlBody>
    <MmlModuleItem>
        <docInfo>
            <docId>
                <uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8</uid>
            </docId>
        </docInfo>
    </MmlModuleItem>
</MmlBody>

```

例：グループ ID による一連の文書要求（文書全体）

uid は空要素とする．

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている．

```

<Mml>
  <?mmlQuery type="patient" reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <MmlHeader>
    <masterId>
      <mmlCm:Id
        mmlCm:type="facility"
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"
        mmlCm:checkDigit="5"
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
        12345678
      </mmlCm:Id>
    </masterId>
  </MmlHeader>
<MmlBody>
  <MmlModuleItem>
    <docInfo>
      <docId>
        <uid/>
        <groupId >

```

```
0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8
</groupId>
</docId>
</docInfo>
</MmlModuleItem>
</MmlBody>
```

mmlResult

MML データの Query, Append, Delete に対する返信結果に使用されるコマンドとする。
上記 3 つのコマンドの返信電文としてこのアクションを設定して電文を返す。

mmlResult コマンドには、4 つの追加フィールド「status」,「continue」,「partNo」,「reqId」
が必要とされる。「reqId」の形式は、前述の query と同様。

「reqId」は前述の mmlAppend,mmlDelete,mmlQuery でリクエストされた電文への結果
電文であることを区別できるよう、送られてきたときに渡された「reqId」をセットして返
す。

「status」には、前述の mmlAppend,mmlDelete,mmlQuery でリクエストされたコマン
ドで reqId に対応した電文の受信が成功したかどうかを返す。成功の場合は「success」,
失敗の場合は、「failed」が小文字の文字列で返される。オプションのフィールドとして、
「errorReason」というフィールドを返すことができる。「errorReason」は、「status」が
「failed」の場合のエラーになった理由を返すことができる。

errorRason の値としては下記の内容が定義されている。値はすべて下記で規定された大文
字の文字列とする。

エラー値	説明
SYSTEMERROR	何らかの受信システム側のシステムエラー
HEADERINVALID	<MmlHeader>情報が不正
NOTSUPPORTED	リクエストされた電文の処理をサポートし ていない
REQUESTDENIED	リクエストされた電文の処理は拒絶された (現在サービスが停止中等)

「continue」はこの電文ですべてのデータが返ったかどうかを返す。「continue= “ true ”」
で引き続き、この電文以外に同じ reqId の電文があることを示す。

「continue= " false "」はこの電文で reqId の要求に対する最後の電文であることを示す。
「partNo」は、電文が複数に分かれるときに使われる通し番号をいれて返す。「partNo」は0から始まる数字を入れて返す。
以下にその例を示す。

例：照会要求は受信され、「成功」であったが、診断履歴情報は存在しなかったため、モジュール単位での要求は「失敗」であった例

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている。

```
-----
<Mml>
  <?mmlResult status="success" continue="false" partNo="0"
    reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <MmlHeader>
    <masterId>
      <mmlCm:Id
        mmlCm:type="facility"
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"
        mmlCm:checkDigit="5"
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
        12345678
      </mmlCm:Id>
    </masterId>
  </MmlHeader>
  <MmlBody>
    <MmlModuleItem type="registeredDiagnosis">
      <?mmlItemResult status="failed" errorRason="NOTHINGDATA"
        reqid=" 0aae5960-667c-11d3-9751-00105a67"?>
    </MmlModuleItem>
  </MmlBody>
</Mml>
-----
```

mmlItemResult

MML データの Query, Append, Delete に対する各 MmlModuleItem の結果を返すときに使用する。

上記 3 つのコマンドの返信電文としてこのアクションを設定して電文を返す。

mmlItemResult コマンドには、2 つの追加フィールド「status」、 「reqId」が必要とされる。「reqId」の形式は、前述の query と同様。

「reqId」は前述の mmlAppend,mmlDelete,mmlQuery でリクエストされた電文への結果電文であることを区別できるよう、送られてきたときに渡された「reqId」をセットして返す。

「status」には、各 MmlModuleItem の内容について成功したかどうかを返す。成功の場合は「success」、失敗の場合は、「failed」の各文字列が小文字で返される。オプションのフィールドとして、「errorReason」というフィールドを返すことができる。「errorReason」は、「status」が「failed」の場合のエラーになった理由を返すことができる。

errorReason の値としては下記の内容が定義されている。値はすべて下記で規定された大文字の文字列とする。

エラー値	説明
SYSTEMERROR	何らかのシステムエラー
HEADERINVALID	<MmlHeader>情報が不正
NOTHINGDATA	返すデータが存在しない
ACCESSDENIED	該当データにはセキュリティー上アクセスできない
NOTSUPPORTED	リクエストされた電文の処理をサポートしていない

mmlItemResult コマンドは、<MmlBody>中の各<MmlModuleItem>タグの最初の子要素の要素より前に存在し、そのアイテムが正しく処理されたかどうかの結果が入る。

以下に例として、3 つの<MmlModuleItem>を 1 つの電文でリクエストする例と、その返答電文で、電文は正しく認識されたが、MmlModuleItem の lifestyle の情報はデータ取得成功で返信し、その他の 2 つの内容が返す情報が存在しなかったときの返信電文の例をしめす。

例：リクエスト電文例

注：解説に直接関係のない必須要素や必須属性が省略されている。

<Mml>

<?mmlQuery type="patient" reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>

```
<MmlHeader>
  <masterId>
    <mmlCm:Id
      mmlCm:type="facility"
      mmlCm:checkDigitSchema="M10"
      mmlCm:checkDigit="5"
      mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
        12345678
    </mmlCm:Id>
  </masterId>
</MmlHeader>
<MmlBody>
  <MmlModuleItem type="registeredDiagnosis"/>
  <MmlModuleItem type="lifestyle"/>
  <MmlModuleItem type="healthInsurance"/>
</MmlBody>
</Mml>
```

例：返信電文例

注：解説に直接関係のない必須エレメントや必須属性が省略されている。

```
<Mml>
  <?mmlResult status="success" continue="false" partNo="0"
    reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <MmlHeader>
    <masterId>
      <mmlCm:Id
        mmlCm:type="facility"
        mmlCm:checkDigitSchema="M10"
        mmlCm:checkDigit="5"
        mmlCm:tableId="JPN453010100003" >
          12345678
        </mmlCm:Id>
    </masterId>
```

</MmlHeader>

<MmlBody>

<MmlModuleItem type="registerdDiagnosis">

<?mmlItemResult status="failed" errorReason="NOTHINGDATA"
reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>

</MmlModuleItem>

<MmlModuleItem type="lifestyle">

<?mmlItemResult
status="success"
reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>

<docInfo>

:

</docInfo>

<content>

<mmlLs:LifestyleModule>

<mmlLs:occupation> forester

</mmlLs:occupation>

<mmlLs:tobacco>

20 cigarettes per day for 30 years

</mmlLs:tobacco>

<mmlLs:alcohol>4 dl of sake per day

</mmlLs:alcohol>

</mmlLs:LifestyleModule>

</content>

</MmlModuleItem>

<MmlModuleItem type="healthInsurance">

<?mmlItemResult status="failed" errorRason="NOTHINGDATA"
reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>

</MmlModuleItem>

</MmlBody>

</Mml>

データ照会要求の運用例

電文送信側の mmlQuery コマンドに対し、必ずコマンド受信側は照会要求に対する結果電文 (mmlResult がはいった電文) を返さなければならない。

データ照会要求においては、照会要求するデータが文書のリストであるか本文も含めたものであるか、対象期間、要求するデータの種別、要求するデータの文書 ID あるいはグループ ID が指定可能である。これらを実装するに当たって、想定される一連の送受信シーケンスは次のようになる。

- 1 . データ照会要求 (文書リストの要求)
- 2 . 文書リストの返答
- 3 . データ照会要求 (文書本文の要求)
- 4 . 文書の返答

1 . データ照会要求 (文書リストの要求)

要求を受信する側にどのようなデータが存在するかは、通常不明である。よって、最初は照会対象文書の種別 (モジュール種別) , 期間を限定した上で、リストを要求するのが運用上好ましいと考えられる。

例：リクエスト電文例

経過記録情報(progressCourse) , 初診時特有情報(firstClinic) を要求 . 期間は2000-01-01 から2000-12-31まで .

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>

<!-- リストを要求するパターン -->

<Mml version="2.3" createDate="2001-10-23T01:22:39"

xmlns="http://www.medxml.net/MML"

xmlns:xhtml="http://www.w3.org/1999/xhtml"

xmlns:mmlCm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0"

xmlns:mmlNm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0"

xmlns:mmlFc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0"

xmlns:mmlDp="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0"

xmlns:mmlAd="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0"
 xmlns:mmlPh="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0"
 xmlns:mmlPsi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0"
 xmlns:mmlCi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0"
 xmlns:mmlPi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/PatientInfo/1.0"
 xmlns:mmlBc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/BaseClinic/1.0"
 xmlns:mmlFcl="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0"
 xmlns:mmlHi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/HealthInsurance/1.1"
 xmlns:mmlLs="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Lifestyle/1.0"
 xmlns:mmlPc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0"
 xmlns:mmlRd="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/RegisteredDiagnosis/1.0"
 xmlns:mmlSg="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Surgery/1.0"
 xmlns:mmlSm="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Summary/1.0"
 xmlns:mmlLb="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0"
 xmlns:mmlRp="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/report/1.0"
 xmlns:mmlRe="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Referral/1.0"
 xmlns:mmlSc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Security/1.0"
 xmlns:claim="http://www.medxml.net/claim/claimModule/2.1"
 xmlns:claimA="http://www.medxml.net/claim/claimAmountModule/2.1">
 <?mmlQuery type="list" reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e7"
 startDate="2000-01-01" endDate="2000-12-31"?>
 <MmlHeader>
 <mmlCi:CreatorInfo>
 <mmlPsi:PersonalizedInfo>
 <mmlCm:Id mmlCm:type="local"
 mmlCm:tableId="MML0024">45012345671</mmlCm:Id>
 <mmlPsi:personName>
 <mmlNm:Name mmlNm:repCode="I" mmlNm:tableId="MML0025">
 <mmlNm:fullName>吉原 賢二</mmlNm:fullName>
 </mmlNm:Name>
 </mmlPsi:personName>
 <mmlFc:Facility>
 <mmlFc:name mmlFc:repCode="I" mmlFc:tableId="MML0025">
 吉原医院</mmlFc:name>
 <mmlCm:Id mmlFc:type="JMARI"
 mmlCm:tableId="MML0027">JPN452015100001</mmlCm:Id>


```

</mmlFc:Facility>
<mmlDp:Department>
  <mmlDp:name mmlDp:repCode="1" mmlDp:tableId="MML0025">
    内科</mmlDp:name>
  <mmlCm:Id mmlCm:type="medical"
    mmlCm:tableId="MML0028">01</mmlCm:Id>
</mmlDp:Department>
</mmlPsi:PersonalizedInfo>
<mmlCi:creatorLicense mmlCi:tableId="MML0026">doctor</mmlCi:creatorLicense>
</mmlCi:CreatorInfo>
<masterId>
  <mmlCm:Id mmlCm:type="facility" mmlCm:tableId="MML0024">P-100</mmlCm:Id>
</masterId>
<toc>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0
    </tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0</tocItem>
</toc>
</MmlHeader>
<MmlBody>
  <MmlModuleItem type="progressCourse"/>
  <MmlModuleItem type="firstClinic"/>
</MmlBody>
</Mml>

```

2 . 文書リストの返答

文書リスト要求に対して、文書リスト（該当する文書の docInfo）が返される。

例：返答電文例

経過記録情報 (progressCourse) と初診時特有情報 (firstClinic) の文書リスト (docInfo) が返される .

```
-----
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<!-- リスト要求に回答するパターン -->
<Mml version="2.3" createDate="2001-10-23T01:22:39"
  xmlns="http://www.medxml.net/MML"
  xmlns:xhtml="http://www.w3.org/1999/xhtml"
  xmlns:mmlCm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0"
  xmlns:mmlNm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0"
  xmlns:mmlFc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0"
  xmlns:mmlDp="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0"
  xmlns:mmlAd="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0"
  xmlns:mmlPh="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0"
  xmlns:mmlPsi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0"
  xmlns:mmlCi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0"
  xmlns:mmlPi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/PatientInfo/1.0"
  xmlns:mmlBc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/BaseClinic/1.0"
  xmlns:mmlFcl="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0"
  xmlns:mmlHi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/HealthInsurance/1.1"
  xmlns:mmlLs="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Lifestyle/1.0"
  xmlns:mmlPc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0"
  xmlns:mmlRd="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/RegisteredDiagnosis/1.0"
  xmlns:mmlSg="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Surgery/1.0"
  xmlns:mmlSm="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Summary/1.0"
  xmlns:mmlLb="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0"
  xmlns:mmlRp="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/report/1.0"
  xmlns:mmlRe="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Referral/1.0"
  xmlns:mmlSc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Security/1.0"
  xmlns:claim="http://www.medxml.net/claim/claimModule/2.1"
  xmlns:claimA="http://www.medxml.net/claim/claimAmountModule/2.1">
<?mmlResult status="success" continue="false" partNo="0"
  reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e7"?>
<MmlHeader>
  <mmlCi:CreatorInfo>
```

```

<mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICm:Id mmICm:type="local" mmICm:tableId="MML0024">45000000009</mmICm:Id>
  <mmIPsi:personName>
    <mmINm:Name mmINm:repCode="A" mmINm:tableId="MML0025">
      <mmINm:fullName>Dolphin Network Center</mmINm:fullName>
    </mmINm:Name>
  </mmIPsi:personName>
</mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICi:creatorLicense mmICi:tableId="MML0026">other</mmICi:creatorLicense>
</mmICi:CreatorInfo>
<masterId>
  <mmICm:Id mmICm:type="local" mmICm:tableId="MML0024">45012345660</mmICm:Id>
</masterId>
<toc>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0</tocItem>
</toc>
</MmlHeader>
<MmlBody>
  <MmlModuleItem>
    <?mmlItemResult
      status="success"
      reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e7"?>
    <docInfo contentModuleType="progressCourse">
      <securityLevel>
        <accessRight permit="all">
          <mmlSc:facility>
            <mmlSc:facilityName mmlSc:facilityCode="creator"

```

```
        mmIsc:tableId="MML0031" />
    </mmIsc:facility>
</accessRight>
<accessRight permit="read">
    <mmIsc:facility>
        <mmIsc:facilityName mmIsc:facilityCode="experience"
            mmIsc:tableId="MML0031" />
    </mmIsc:facility>
</accessRight>
</securityLevel>
<title generationPurpose="record">経過記録情報</title>
<docId>
    <uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e1</uid>
    <groupId>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e0</groupId>
</docId>
<confirmDate>2001-10-23T01:22:39</confirmDate>
<mmIci:CreatorInfo>
    <mmIPsi:PersonalizedInfo>
        <mmICm:Id mmICm:type="local"
            mmICm:tableId="MML0024">45012345682</mmICm:Id>
        <mmIPsi:personName>
            <mmINm:Name mmINm:repCode="I" mmINm:tableId="MML0025">
                <mmINm:fullName>荒木 博幸</mmINm:fullName>
            </mmINm:Name>
        </mmIPsi:personName>
        <mmIFc:Facility>
            <mmIFc:name mmIFc:repCode="I" mmIFc:tableId="MML0025">
                宮崎医科大学附属病院</mmIFc:name>
            <mmICm:Id mmICm:type="JMARI"
                mmICm:tableId="MML0027">JPN453010100003</mmICm:Id>
        </mmIFc:Facility>
        <mmIDp:Department>
            <mmIDp:name mmIDp:repCode="I" mmIDp:tableId="MML0025">
                内科</mmIDp:name>
            <mmICm:Id mmICm:type="medical" mmICm:tableId="MML0028">01</mmICm:Id>
        </mmIDp:Department>
```

```
</mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICi:creatorLicense mmICi:tableId="MML0026">doctor</mmICi:creatorLicense>
</mmICi:CreatorInfo>
<extRefs>
  <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
    mmICm:href="schema-1.jpg" />
  <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
    mmICm:href="schema-3.jpg" />
</extRefs>
</docInfo>
</MmlModuleItem>
<MmlModuleItem>
  <?mmlItemResult
    status="success"
    reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e7"?>
  <docInfo contentModuleType="firstClinic">
    <securityLevel>
      <accessRight permit="all">
        <mmISc:facility>
          <mmISc:facilityName mmISc:facilityCode="creator"
            mmISc:tableId="MML0031" />
        </mmISc:facility>
      </accessRight>
      <accessRight permit="read">
        <mmISc:facility>
          <mmISc:facilityName mmISc:facilityCode="experience"
            mmISc:tableId="MML0031" />
        </mmISc:facility>
      </accessRight>
    </securityLevel>
    <title generationPurpose="record">初診時特有情報</title>
    <docId>
      <uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e2</uid>
      <groupId>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e0</groupId>
    </docId>
    <confirmDate>2001-10-23T01:22:39</confirmDate>
```

```

<mmICi:CreatorInfo>
  <mmIPsi:PersonalizedInfo>
    <mmICm:Id mmICm:type="local"
      mmICm:tableId="MML0024">45012345682</mmICm:Id>
    <mmIPsi:personName>
      <mmINm:Name mmINm:repCode="I" mmINm:tableId="MML0025">
        <mmINm:fullName>荒木 博幸</mmINm:fullName>
      </mmINm:Name>
    </mmIPsi:personName>
    <mmIFc:Facility>
      <mmIFc:name mmIFc:repCode="I" mmIFc:tableId="MML0025">
        宮崎医科大学附属病院</mmIFc:name>
      <mmICm:Id mmICm:type="JMARI"
        mmICm:tableId="MML0027">JPN453010100003</mmICm:Id>
    </mmIFc:Facility>
    <mmIDp:Department>
      <mmIDp:name mmIDp:repCode="I" mmIDp:tableId="MML0025">
        内科</mmIDp:name>
      <mmICm:Id mmICm:type="medical" mmICm:tableId="MML0028">01</mmICm:Id>
    </mmIDp:Department>
  </mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICi:creatorLicense mmICi:tableId="MML0026">doctor</mmICi:creatorLicense>
</mmICi:CreatorInfo>
<extRefs/>
</docInfo>
</MmlModuleItem>
</MmlBody>
</Mml>

```

3 . データ照会要求 (文書本文の要求)

返された文書リスト (該当する文書の docInfo) を元に , 文書 ID (docId の uid もしくは groupId) を指定して文書本文を要求する .

例 : リクエスト電文例

2つの文書

<uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e1</uid>

<uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e2</uid>

を要求 .

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>

<!-- uidでボディを要求するパターン -->

<Mml version="2.3" createDate="2001-10-23T01:22:39"

xmlns="http://www.medxml.net/MML"

xmlns:xhtml="http://www.w3.org/1999/xhtml"

xmlns:mmlCm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0"

xmlns:mmlNm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0"

xmlns:mmlFc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0"

xmlns:mmlDp="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0"

xmlns:mmlAd="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0"

xmlns:mmlPh="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0"

xmlns:mmlPsi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0"

xmlns:mmlCi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0"

xmlns:mmlPi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/PatientInfo/1.0"

xmlns:mmlBc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/BaseClinic/1.0"

xmlns:mmlFcl="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0"

xmlns:mmlHi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/HealthInsurance/1.1"

xmlns:mmlLs="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Lifestyle/1.0"

xmlns:mmlPc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0"

xmlns:mmlRd="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/RegisteredDiagnosis/1.0"

xmlns:mmlSg="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Surgery/1.0"

xmlns:mmlSm="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Summary/1.0"

xmlns:mmlLb="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0"

xmlns:mmlRp="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/report/1.0"

xmlns:mmlRe="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Referral/1.0"

xmlns:mmlSc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Security/1.0"

xmlns:claim="http://www.medxml.net/claim/claimModule/2.1"

xmlns:claimA="http://www.medxml.net/claim/claimAmountModule/2.1">

<?mmlQuery type="patient" reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8" ?>

<MmlHeader>

<mmlCi:CreatorInfo>

```
<mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICm:Id mmICm:type="local" mmICm:tableId="MML0024">45012345671</mmICm:Id>
  <mmIPsi:personName>
    <mmINm:Name mmINm:repCode="I" mmINm:tableId="MML0025">
      <mmINm:fullName>吉原 賢二</mmINm:fullName>
    </mmINm:Name>
  </mmIPsi:personName>
  <mmIFc:Facility>
    <mmIFc:name mmIFc:repCode="I" mmIFc:tableId="MML0025">吉原医院</mmIFc:name>
    <mmICm:Id mmIFc:type="JMARI"
      mmICm:tableId="MML0027">JPN452015100001</mmICm:Id>
  </mmIFc:Facility>
  <mmIDp:Department>
    <mmIDp:name mmIDp:repCode="I" mmIDp:tableId="MML0025">内科</mmIDp:name>
    <mmICm:Id mmICm:type="medical" mmICm:tableId="MML0028">01</mmICm:Id>
  </mmIDp:Department>
</mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICi:creatorLicense mmICi:tableId="MML0026">doctor</mmICi:creatorLicense>
</mmICi:CreatorInfo>
<masterId>
  <mmICm:Id mmICm:type="facility" mmICm:tableId="MML0024">P-100</mmICm:Id>
</masterId>
<toc>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0</tocItem>
</toc>
</MmlHeader>
<MmlBody>
```



```

<MmlModuleItem>
  <docInfo contentModuleType="progressCourse">
    <securityLevel>
      <accessRight permit="all">
        <mmlSc:facility>
          <mmlSc:facilityName mmlSc:facilityCode="creator"
            mmlSc:tableId="MML0031"/>
        </mmlSc:facility>
      </accessRight>
      <accessRight permit="read">
        <mmlSc:facility>
          <mmlSc:facilityName mmlSc:facilityCode="experience"
            mmlSc:tableId="MML0031"/>
        </mmlSc:facility>
      </accessRight>
    </securityLevel>
    <title generationPurpose="record">経過記録情報</title>
    <docId>
      <uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e1</uid>
    </docId>
    <confirmDate>2001-10-23T01:22:39</confirmDate>
    <mmlCi:CreatorInfo>
      <mmlPsi:PersonalizedInfo>
        <mmlCm:Id mmlCm:type="local"
          mmlCm:tableId="MML0024">45012345682</mmlCm:Id>
        <mmlPsi:personName>
          <mmlNm:Name mmlNm:repCode="I" mmlNm:tableId="MML0025">
            <mmlNm:fullName>荒木 博幸</mmlNm:fullName>
          </mmlNm:Name>
        </mmlPsi:personName>
        <mmlFc:Facility>
          <mmlFc:name mmlFc:repCode="I" mmlFc:tableId="MML0025">
            宮崎医科大学附属病院</mmlFc:name>
          <mmlCm:Id mmlCm:type="JMARI"
            mmlCm:tableId="MML0027">JPN453010100003</mmlCm:Id>
        </mmlFc:Facility>

```

```
<mmIDp:Department>
  <mmIDp:name mmIDp:repCode="I" mmIDp:tableId="MML0025">
    内科</mmIDp:name>
  <mmICm:Id mmICm:type="medical" mmICm:tableId="MML0028">01</mmICm:Id>
</mmIDp:Department>
</mmIPsi:PersonalizedInfo>
<mmICi:creatorLicense mmICi:tableId="MML0026">doctor</mmICi:creatorLicense>
</mmICi:CreatorInfo>
<extRefs>
  <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
    mmICm:href="schema-1.jpg" />
  <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
    mmICm:href="schema-3.jpg" />
</extRefs>
</docInfo>
</MmlModuleItem>
<MmlModuleItem>
  <docInfo contentModuleType="firstClinic">
    <securityLevel>
      <accessRight permit="all">
        <mmISc:facility>
          <mmISc:facilityName mmISc:facilityCode="creator"
            mmISc:tableId="MML0031" />
        </mmISc:facility>
      </accessRight>
      <accessRight permit="read">
        <mmISc:facility>
          <mmISc:facilityName mmISc:facilityCode="experience"
            mmISc:tableId="MML0031" />
        </mmISc:facility>
      </accessRight>
    </securityLevel>
    <title generationPurpose="record">初診時特有情報</title>
    <docId>
      <uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e2</uid>
    </docId>
  </MmlModuleItem>

```

```

<confirmDate>2001-10-23T01:22:39</confirmDate>
<mmIci:CreatorInfo>
  <mmIPsi:PersonalizedInfo>
    <mmICm:Id mmICm:type="local"
      mmICm:tableId="MML0024">45012345682</mmICm:Id>
    <mmIPsi:personName>
      <mmINm:Name mmINm:repCode="I" mmINm:tableId="MML0025">
        <mmINm:fullName>荒木 博幸</mmINm:fullName>
      </mmINm:Name>
    </mmIPsi:personName>
    <mmIFc:Facility>
      <mmIFc:name mmIFc:repCode="I" mmIFc:tableId="MML0025">
        宮崎医科大学附属病院</mmIFc:name>
      <mmICm:Id mmICm:type="JMARI"
        mmICm:tableId="MML0027">JPN453010100003</mmICm:Id>
    </mmIFc:Facility>
    <mmIDp:Department>
      <mmIDp:name mmIDp:repCode="I" mmIDp:tableId="MML0025">
        内科</mmIDp:name>
      <mmICm:Id mmICm:type="medical" mmICm:tableId="MML0028">01</mmICm:Id>
    </mmIDp:Department>
  </mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmIci:creatorLicense mmIci:tableId="MML0026">doctor</mmIci:creatorLicense>
</mmIci:CreatorInfo>
<extRefs/>
</docInfo>
</MmlModuleItem>
</MmlBody>
</Mml>

```

4 . 文書の返答（文書本文の要求）

要求された文書 ID（docId の uid もしくは groupId）に基づき文書を返す。

例：返答電文例

2つの文書

<uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e1</uid>

<uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e2</uid>

を返答 .

<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>

<!-- uidによるボディ要求に応答するパターン -->

<Mml version="2.3" createDate="2001-10-23T01:22:39"

xmlns="http://www.medxml.net/MML"

xmlns:xhtml="http://www.w3.org/1999/xhtml"

xmlns:mmlCm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0"

xmlns:mmlNm="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0"

xmlns:mmlFc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0"

xmlns:mmlDp="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0"

xmlns:mmlAd="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0"

xmlns:mmlPh="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0"

xmlns:mmlPsi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0"

xmlns:mmlCi="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0"

xmlns:mmlPi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/PatientInfo/1.0"

xmlns:mmlBc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/BaseClinic/1.0"

xmlns:mmlFcl="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0"

xmlns:mmlHi="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/HealthInsurance/1.1"

xmlns:mmlLs="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Lifestyle/1.0"

xmlns:mmlPc="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0"

xmlns:mmlRd="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/RegisteredDiagnosis/1.0"

xmlns:mmlSg="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Surgery/1.0"

xmlns:mmlSm="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Summary/1.0"

xmlns:mmlLb="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/test/1.0"

xmlns:mmlRp="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/report/1.0"

xmlns:mmlRe="http://www.medxml.net/MML/ContentModule/Referral/1.0"

xmlns:mmlSc="http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Security/1.0"

xmlns:claim="http://www.medxml.net/claim/claimModule/2.1"

xmlns:claimA="http://www.medxml.net/claim/claimAmountModule/2.1">

<?mmlResult status="success" continue="false" partNo="0"

reqId="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8" ?>

<MmlHeader>

```
<mmIci:CreatorInfo>
  <mmIPsi:PersonalizedInfo>
    <mmICm:Id mmICm:type="local" mmICm:tableId="MML0024">45000000009</mmICm:Id>
    <mmIPsi:personName>
      <mmINm:Name mmINm:repCode="A" mmINm:tableId="MML0025">
        <mmINm:fullName>Dolphin Network Center</mmINm:fullName>
      </mmINm:Name>
    </mmIPsi:personName>
  </mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmIci:creatorLicense mmIci:tableId="MML0026">other</mmIci:creatorLicense>
</mmIci:CreatorInfo>
<masterId>
  <mmICm:Id mmICm:type="local" mmICm:tableId="MML0024">45012345660</mmICm:Id>
</masterId>
<toc>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Common/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Name/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Facility/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Department/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Address/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/Phone/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/PersonalizedInfo/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/SharedComponent/CreatorInfo/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/ContentModule/ProgressCourse/1.0</tocItem>
  <tocItem>http://www.medxml.net/MML/ContentModule/FirstClinic/1.0</tocItem>
</toc>
</MmlHeader>
<MmlBody>
  <MmlModuleItem>
    <?mmlItemResult
      status="success"
      reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
    <docInfo contentModuleType="progressCourse">
      <securityLevel>
        <accessRight permit="all">
          <mmISc:facility>
```

```
        <mmIsc:facilityName mmIsc:facilityCode="creator"
          mmIsc:tableId="MML0031"/>
      </mmIsc:facility>
    </accessRight>
    <accessRight permit="read">
      <mmIsc:facility>
        <mmIsc:facilityName mmIsc:facilityCode="experience"
          mmIsc:tableId="MML0031"/>
      </mmIsc:facility>
    </accessRight>
  </securityLevel>
  <title generationPurpose="record">経過記録情報</title>
  <docId>
    <uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e1</uid>
    <groupId>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e0</groupId>
  </docId>
  <confirmDate>2001-10-23T01:22:39</confirmDate>
  <mmIci:CreatorInfo>
    <mmIPsi:PersonalizedInfo>
      <mmICm:Id mmICm:type="local"
        mmICm:tableId="MML0024">45012345682</mmICm:Id>
      <mmIPsi:personName>
        <mmINm:Name mmINm:repCode="I" mmINm:tableId="MML0025">
          <mmINm:fullName>荒木 博幸</mmINm:fullName>
        </mmINm:Name>
      </mmIPsi:personName>
      <mmIFc:Facility>
        <mmIFc:name mmIFc:repCode="I" mmIFc:tableId="MML0025">
          宮崎医科大学附属病院</mmIFc:name>
        <mmICm:Id mmICm:type="JMARI"
          mmICm:tableId="MML0027">JPN453010100003</mmICm:Id>
      </mmIFc:Facility>
      <mmIDp:Department>
        <mmIDp:name mmIDp:repCode="I" mmIDp:tableId="MML0025">
          内科</mmIDp:name>
        <mmICm:Id mmICm:type="medical" mmICm:tableId="MML0028">01</mmICm:Id>
```

```
</mmIDp:Department>
</mmIPsi:PersonalizedInfo>
<mmICi:creatorLicense mmICi:tableId="MML0026">doctor</mmICi:creatorLicense>
</mmICi:CreatorInfo>
<extRefs>
  <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
    mmICm:href="schema-1.jpg" />
  <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
    mmICm:href="schema-3.jpg" />
</extRefs>
</docInfo>
<content>
  <mmIPc:ProgressCourseModule>
    <mmIPc:FreeExpression>
      <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
        mmICm:href="schema-1.jpg" />
      <mmICm:extRef mmICm:contentType="image/jpeg" mmICm:title="Schema Image"
        mmICm:href="schema-3.jpg" />
      基本料<xhtml:br/>
      ・初診（診療所）<xhtml:br/>
      ・初診（休日）加算<xhtml:br/>
      X 1<xhtml:br/>
      RP<xhtml:br/>
      ・メリアクト錠 100mg 3錠<xhtml:br/>
      ・ロキソート錠 60mg 3錠<xhtml:br/>
      分 3 X 1 TD<xhtml:br/>
      注 射<xhtml:br/>
      ・点滴注射<xhtml:br/>
      ・生理食塩液 50mL 1袋<xhtml:br/>
      ・ミノペン点滴静注用 100mg 1瓶<xhtml:br/>
      X 1<xhtml:br/>
      検体検査<xhtml:br/>
      ・末梢血液一般<xhtml:br/>
      ・CRP（定量）<xhtml:br/>
      ・血液学的検査判断料<xhtml:br/>
      ・免疫学的検査判断料<xhtml:br/>
```

```
X 1<xhtml:br/>
  画像診断<xhtml:br/>
  ・単純撮影（イ）の写真診断<xhtml:br/>
  ・単純撮影（撮影）<xhtml:br/>
  ・大角 1枚<xhtml:br/>
X 1<xhtml:br/>
</mmIpc:FreeExpression>
</mmIpc:ProgressCourseModule>
</content>
</MmlModuleItem>
<MmlModuleItem>
  <?mmlItemResult
    status="success"
    reqid="0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e8"?>
  <docInfo contentModuleType="firstClinic">
    <securityLevel>
      <accessRight permit="all">
        <mmlSc:facility>
          <mmlSc:facilityName mmlSc:facilityCode="creator"
            mmlSc:tableId="MML0031"/>
        </mmlSc:facility>
      </accessRight>
      <accessRight permit="read">
        <mmlSc:facility>
          <mmlSc:facilityName mmlSc:facilityCode="experience"
            mmlSc:tableId="MML0031"/>
        </mmlSc:facility>
      </accessRight>
    </securityLevel>
    <title generationPurpose="record">初診時特有情報</title>
    <docId>
      <uid>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e2</uid>
      <groupId>0aae5960-667c-11d3-9751-00105a6792e0</groupId>
    </docId>
    <confirmDate>2001-10-23T01:22:39</confirmDate>
    <mmlCi:CreatorInfo>
```



```

<mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICm:Id mmICm:type="local"
    mmICm:tableId="MML0024">45012345682</mmICm:Id>
  <mmIPsi:personName>
    <mmINm:Name mmINm:repCode="I" mmINm:tableId="MML0025">
      <mmINm:fullName>荒木 博幸</mmINm:fullName>
    </mmINm:Name>
  </mmIPsi:personName>
  <mmIFc:Facility>
    <mmIFc:name mmIFc:repCode="I" mmIFc:tableId="MML0025">
      宫崎医科大学附属病院</mmIFc:name>
    <mmICm:Id mmICm:type="JMARI"
      mmICm:tableId="MML0027">JPN453010100003</mmICm:Id>
  </mmIFc:Facility>
  <mmIDp:Department>
    <mmIDp:name mmIDp:repCode="I" mmIDp:tableId="MML0025">
      内科</mmIDp:name>
    <mmICm:Id mmICm:type="medical" mmICm:tableId="MML0028">01</mmICm:Id>
  </mmIDp:Department>
</mmIPsi:PersonalizedInfo>
  <mmICi:creatorLicense mmICi:tableId="MML0026">doctor</mmICi:creatorLicense>
</mmICi:CreatorInfo>
<extRefs>
</extRefs>
</docInfo>
<content>
  <mmIFcl:FirstClinicModule>
    <mmIFcl:familyHistory>
      <mmIFcl:familyHistoryItem>
        <mmIFcl:relation>father</mmIFcl:relation>
        <mmIRd:RegisterdDiagnosisModule>
          <mmIRd:diagnosis mmIRd:code="C169-.007"
            mmIRd:system="ICD10">gastric cancer</mmIRd:diagnosis>
          <mmIRd:endDate>1989-08-25</mmIRd:endDate>
          <mmIRd:outcome>died</mmIRd:outcome>
        </mmIRd:RegisterdDiagnosisModule>

```

```
<mmIFcl:age>P72Y</mmIFcl:age>
<mmIFcl:memo>gastrectomy was performed</mmIFcl:memo>
</mmIFcl:familyHistoryItem>
<mmIFcl:familyHistoryItem>
  <mmIFcl:relation>motherInLaw</mmIFcl:relation>
  <mmIRd:RegisterdDiagnosisModule>
    <mmIRd:diagnosis mmIRd:code="I219-.005" mmIRd:system="ICD10">
      myocardial infarction</mmIRd:diagnosis>
    <mmIRd:startDate>1984-05-25</mmIRd:startDate>
    <mmIRd:endDate>1984-06-20</mmIRd:endDate>
    <mmIRd:outcome>recovering</mmIRd:outcome>
  </mmIRd:RegisterdDiagnosisModule>
  <mmIFcl:age>P69Y</mmIFcl:age>
  <mmIFcl:memo>mother of patient's wife</mmIFcl:memo>
</mmIFcl:familyHistoryItem>
</mmIFcl:familyHistory>
<mmIFcl:childhood>
  <mmIFcl:birthInfo>
    <mmIFc:Facility>
      <mmIFc:name mmIFc:repCode="A" mmIFc:tableId="MML0025">
        New Millenium Medical College Hospital</mmIFc:name>
      <mmICm:Id mmICmtype="insurance"
        mmICmtableId="MML0027">12345</mmICm:Id>
    </mmIFc:Facility>
    <mmIFcl:deliveryWeeks>P40W</mmIFcl:deliveryWeeks>
    <mmIFcl:deliveryMethod>cesarean section</mmIFcl:deliveryMethod>
    <mmIFcl:bodyWeight mmIFcl:unit="g">3270</mmIFcl:bodyWeight>
    <mmIFcl:bodyHeight mmIFcl:unit="cm">50.2</mmIFcl:bodyHeight>
    <mmIFcl:chestCircumference
      mmIFcl:unit="cm">32.8</mmIFcl:chestCircumference>
    <mmIFcl:headCircumference
      mmIFcl:unit="cm">33.5</mmIFcl:headCircumference>
    <mmIFcl:memo>Apgar score 8 (5 minutes after delivery)</mmIFcl:memo>
  </mmIFcl:birthInfo>
  <mmIFcl:vaccination>
    <mmIFcl:vaccinationItem>
```

```
<mmIFcl:vaccine>polio</mmIFcl:vaccine>
<mmIFcl:injected>>true</mmIFcl:injected>
<mmIFcl:age>P6M</mmIFcl:age>
<mmIFcl:memo>first administration</mmIFcl:memo>
</mmIFcl:vaccinationItem>
<mmIFcl:vaccinationItem>
  <mmIFcl:vaccine>polio</mmIFcl:vaccine>
  <mmIFcl:injected>>true</mmIFcl:injected>
  <mmIFcl:age>P1Y6M</mmIFcl:age>
  <mmIFcl:memo>second administration</mmIFcl:memo>
</mmIFcl:vaccinationItem>
</mmIFcl:vaccination>
</mmIFcl:childhood>
<mmIFcl:pastHistory>
  <mmIFcl:pastHistoryItem>
    <mmIFcl:timeExpression>6 years old</mmIFcl:timeExpression>
    <mmIFcl:eventExpression>appendectomy</mmIFcl:eventExpression>
  </mmIFcl:pastHistoryItem>
  <mmIFcl:pastHistoryItem>
    <mmIFcl:timeExpression>5 years ago (1994)</mmIFcl:timeExpression>
    <mmIFcl:eventExpression>hypertension</mmIFcl:eventExpression>
  </mmIFcl:pastHistoryItem>
</mmIFcl:pastHistory>
<mmIFcl:chiefComplaints>palpitations</mmIFcl:chiefComplaints>
<mmIFcl:presentIllnessNotes>The patient was a 61-year-old mildly hypertensive
man, and was seen at the hypertensive clinic for evaluation of irregular heart rhythm. He was
relatively asymptomatic except for occasional palpitations. He was not taking any medication.
</mmIFcl:presentIllnessNotes>
  </mmIFcl:FirstClinicModule>
</content>
</MmIModuleItem>
</MmIBody>
</MmI>
```
